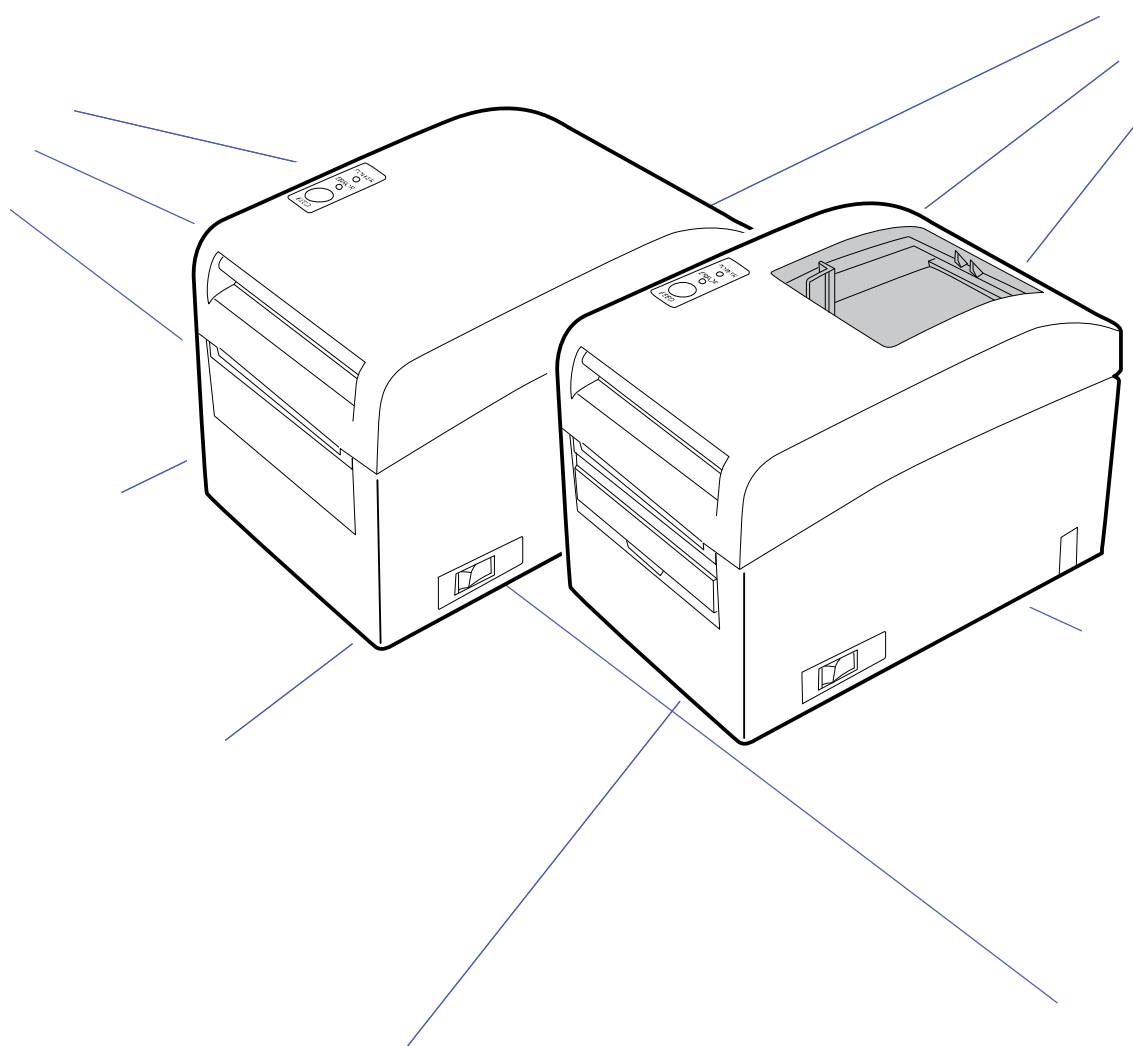


MultiCoder 300S2Dシリーズ

ソフトウェアマニュアル



商標について

NEC、NEC ロゴは日本電気株式会社の登録商標です。

MultiCoder は NEC エンベデッドプロダクツ株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IBM、AT は米国 International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

OS の表記について

このマニュアルでは OS を以下のように略して表記しています。

Windows 10 は Microsoft Windows 10 Home operating system、Microsoft Windows 10 Pro operating system、および Microsoft Windows 10 Enterprise operating system の略です。

Windows 8.1 は Microsoft Windows 8.1 operating system、Microsoft Windows 8.1 Pro operating system、および Microsoft Windows 8.1 Enterprise operating system の略です。

Windows 8 は Microsoft Windows 8 operating system、Microsoft Windows 8 Pro operating system および Microsoft Windows 8 Enterprise operating system の略です。

Windows 7 は Microsoft Windows 7 Ultimate operating system および Microsoft Windows 7 Enterprise operating system、Microsoft Windows 7 Professional operating system、Microsoft Windows 7 Home Premium operating system、Microsoft Windows 7 Starter operating system の略です。

Windows Vista は Microsoft Windows Vista Ultimate operating system および Microsoft Windows Vista Enterprise operating system、Microsoft Windows Vista Business operating system、Microsoft Windows Vista Home Premium operating system、Microsoft Windows Vista Home Basic operating system の略です。

Windows XP は Microsoft Windows XP Home Edition operating system および Microsoft Windows XP Professional operating system の略です。

Windows 2000 は Microsoft Windows 2000 Professional operating system および Microsoft Windows 2000 Server operating system の略です。

Windows Server 2012 R2 は、Microsoft Windows Server 2012 R2 operating system, Standard および Microsoft Windows Server 2012 R2 operating system, Essentials の略です。

Windows Server 2012 は、Microsoft Windows Server 2012 operating system, Standard および Microsoft Windows Server 2012 operating system, Essentials の略です。

Windows Server 2008 R2 は、Microsoft Windows Server 2008 R2 operating system, Standard および Microsoft Windows Server 2008 R2 operating system, Enterprise の略です。

Windows Server 2008 は、Microsoft Windows Server 2008 operating system, Standard および Microsoft Windows Server 2008 operating system, Enterprise の略です。

Windows Server 2003 は、Microsoft Windows Server 2003 operating system, Standard Edition および Microsoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Edition、Microsoft Windows Server 2003 R2 operating system, Standard Edition、Microsoft Windows Server 2003 R2 operating system, Enterprise Edition の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NEC の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については 4 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびは NEC のプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本マニュアルは、NEC ラベルプリンター「MultiCoder 300S2DX シリーズ」、「MultiCoder 300S2DC シリーズ」（以降、「本プリンター」または「MultiCoder 300S2DX」、「MultiCoder 300S2DC」と呼びます）を正しくお使いいただくために使用するソフトウェアの手引き書です。

なお、ユーザーズマニュアルでは、MultiCoder 300S2DX／MultiCoder 300S2DC を初めてお使いになる時の手順や日常の保守が記載されています。併せてご利用ください。

マニュアルの構成

本マニュアルの構成は次のとおりです。

第 1 章 プリンタードライバー

本プリンターのプリンタードライバーのインストール方法、およびプリンタードライバーを使った印刷の手順や印刷の詳細な設定方法について説明しています。

第 2 章 リモートパネル

リモートパネルのインストール方法、およびリモートパネルの使い方や設定の変更方法について説明しています。

第 3 章 ステータスマニター

ステータスマニターのインストール方法、およびステータスマニターの使い方について説明しています。

第 4 章 プリンタードライバー一括設定ツール

プリンタードライバー一括設定ツールの使い方について説明します。

ソフトウェアマニュアルの使い方

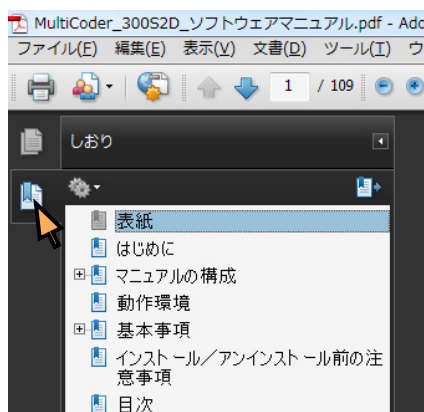
このソフトウェアマニュアルは、目的のページを検索しやすいように、しおりやサムネールが設定してあります。ここではしおりやサムネールの使い方、印刷方法などを Adobe Reader を使用して簡単に説明します。Adobe Reader の詳しい説明についてはヘルプメニューの [Adobe Reader のヘルプ] をご覧ください。

目的のページを表示する

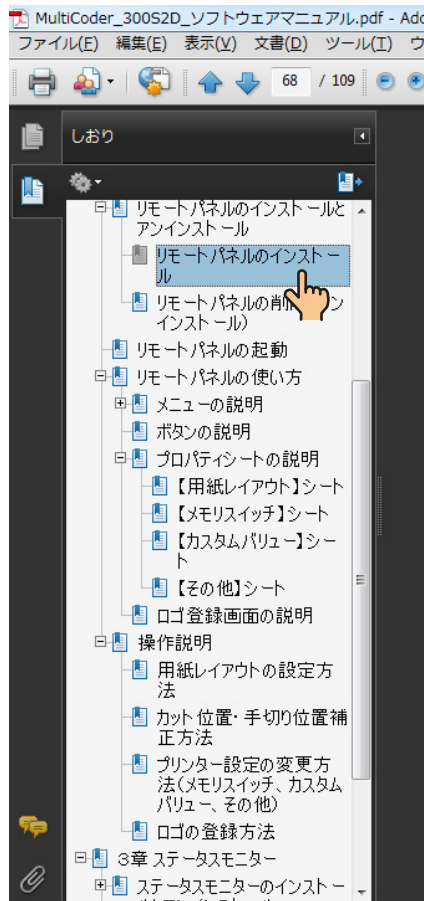
[しおり]、[サムネール] のナビゲーション機能を使って目的のページを表示します。

しおりを使う

しおりは目次のようなものです。しおりを表示させると全体の内容が一覧でき、そこから見たいページを選ぶこともできます。



1. [しおり] タブ  をクリックします。

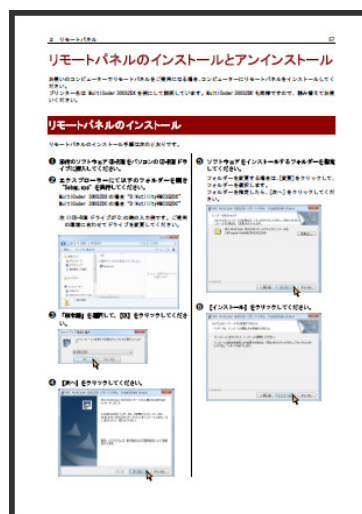


2. 右クリックして [手のひら] ツールを選択します。

3. 表示させたいしおりをクリックします。

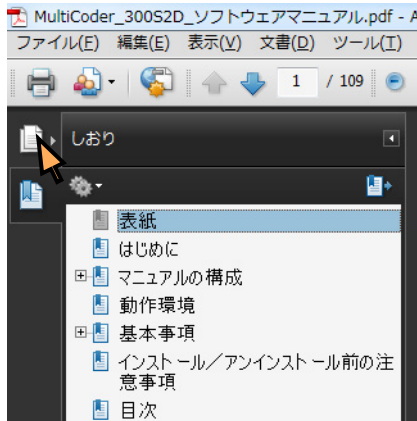
しおりの上へ [手のひら] ツールを移動すると [指さし] の形になるので、その場所をクリックしてください。選んだしおりのページが表示されます。

階層化された項目は、項目名の左側に [+]、[-] の記号が表示されます。その下の階層は [+] をクリックすると表示し、[-] をクリックすると非表示になります。

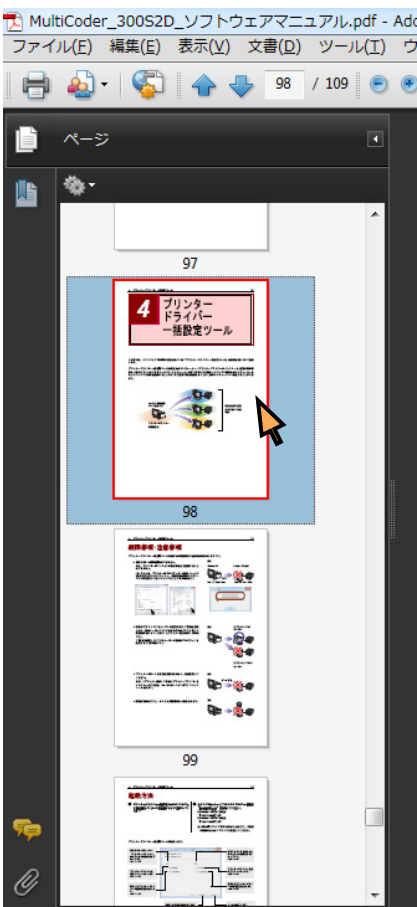


サムネールを使う

サムネールはそのページの全体のイメージを小さく表示したものです。表示したいページを見つけ、クリックすることで目的のページを表示することができます。

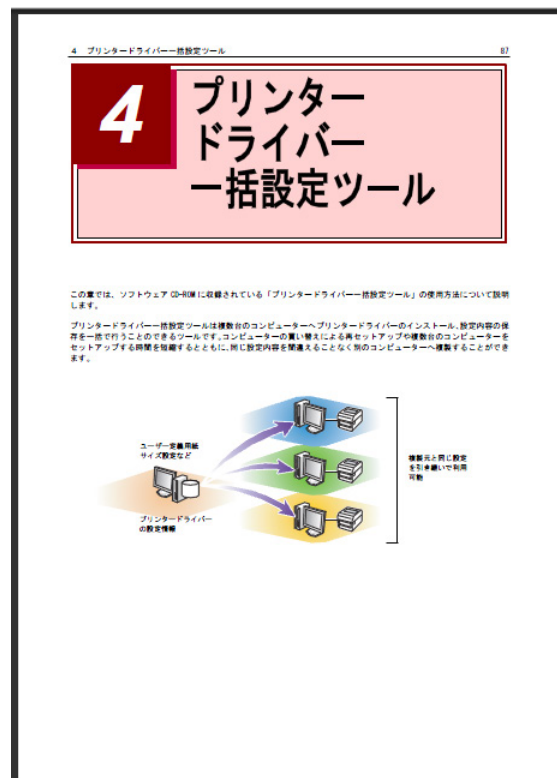


1. [ページ] タブ  をクリックします。



2. 表示させたいページのサムネールをクリックします。

サムネールの上へ[手のひら]ツールを移動すると[矢印]の形になるので、その場所をクリックしてください。選んだページが表示されます。



動作環境

本ソフトウェアは、以下の環境でご利用になれます。

◆ ハードウェア

以下に示すインターフェースを備え、対象のオペレーティングシステム (OS) が動作するパーソナルコンピューター。

- RS-232C インターフェース
- IEEE1284 準拠パラレルインターフェース
- USB インターフェース
- LAN インターフェース

◆ オペレーティングシステム (OS)

- Microsoft Windows 2000 日本語版 (*1)
- Microsoft Windows XP Professional 日本語版 (*2)
- Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版 (*2)
- Microsoft Windows Vista Enterprise 日本語版 (*3)
- Microsoft Windows Vista Business 日本語版 (*3)
- Microsoft Windows Vista Ultimate 日本語版 (*3)
- Microsoft Windows Vista Home Premium 日本語版 (*3)
- Microsoft Windows Vista Home Basic 日本語版 (*3)
- Microsoft Windows 7 Ultimate 日本語版 (*4)
- Microsoft Windows 7 Enterprise 日本語版 (*4)
- Microsoft Windows 7 Professional 日本語版 (*4)
- Microsoft Windows 7 Home Premium 日本語版 (*4)
- Microsoft Windows 7 Starter 日本語版 (*4)
- Microsoft Windows 8 日本語版 (*5)
- Microsoft Windows 8 Pro 日本語版 (*5)
- Microsoft Windows 8 Enterprise 日本語版 (*5)
- Microsoft Windows 8.1 日本語版 (*6)
- Microsoft Windows 8.1 Pro 日本語版 (*6)
- Microsoft Windows 8.1 Enterprise 日本語版 (*6)
- Microsoft Windows 10 Home 日本語版 (*7)
- Microsoft Windows 10 Pro 日本語版 (*7)
- Microsoft Windows 10 Enterprise 日本語版 (*7)
- Microsoft Windows Server 2003, Enterprise Edition 日本語版 (*8)
- Microsoft Windows Server 2003, Standard Edition 日本語版 (*8)
- Microsoft Windows Server 2003, R2 Enterprise Edition 日本語版 (*8)
- Microsoft Windows Server 2003, R2 Standard Edition 日本語版 (*8)
- Microsoft Windows Server 2008, Enterprise 日本語版 (*9)
- Microsoft Windows Server 2008, Standard 日本語版 (*9)
- Microsoft Windows Server 2008, R2 Enterprise 日本語版 (*10)
- Microsoft Windows Server 2008, R2 Standard 日本語版 (*10)
- Microsoft Windows Server 2012, Standard 日本語版 (*11)
- Microsoft Windows Server 2012, Essentials 日本語版 (*11)
- Microsoft Windows Server 2012, R2 Standard 日本語版 (*12)
- Microsoft Windows Server 2012, R2 Essentials 日本語版 (*12)

プリンタードライバー、リモートパネル、ステータスマニターは 64 ビットの Windows オペレーティングシステムへも対応しております。

なお、本説明書では、各製品を以下のように略記しています。

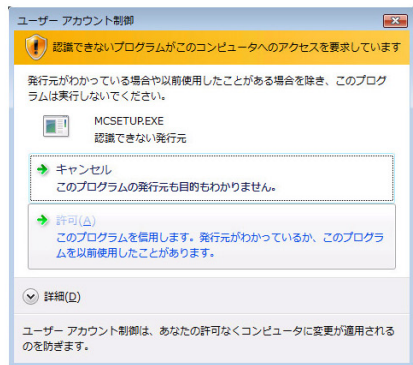
- | | |
|--------------------|------------------------------|
| *1 : Windows 2000 | *7 : Windows 10 |
| *2 : Windows XP | *8 : Windows Server 2003 |
| *3 : Windows Vista | *9 : Windows Server 2008 |
| *4 : Windows 7 | *10 : Windows Server 2008 R2 |
| *5 : Windows 8 | *11 : Windows Server 2012 |
| *6 : Windows 8.1 | *12 : Windows Server 2012 R2 |

基本事項

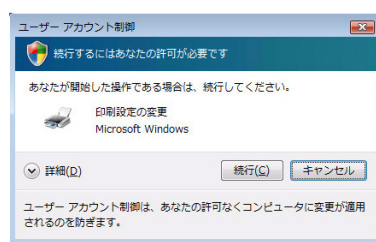
Windows の基本事項について説明します。

ユーザーアカウント制御

操作中に「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示された場合は、表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または「許可」（または「続行」）の操作をして先に進んでください。



ソフトウェアCD-ROMをセットしたときの表示例



コンピューターの管理者の場合の表示例



標準ユーザーの場合の表示例

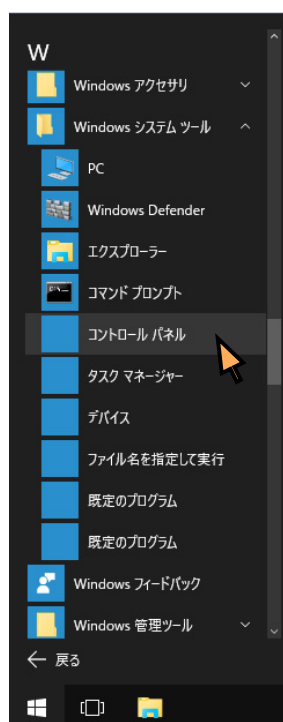
「標準ユーザー」のアカウントで「ファイル」メニューの配下にある「プロパティ」を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。

プリンターフォルダーを表示するには

プリンターを表示する方法はOSによって異なります。

Windows 10 の場合

- ① 「スタートボタン」－「Windows システムツール」－「コントロールパネル」をクリックします。



- ② 「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。



Windows 8.1、Windows 8、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012 の場合

- ① デスクトップ画面で、マウスカーソルを右下へ移動し、メニューバーを表示させて、[設定]アイコンをクリックします。
さらに、設定メニューバーの[コントロールパネル]をクリックします。



- ② [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。



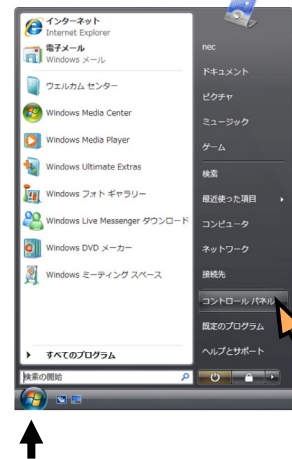
Windows 7、Windows Server 2008 R2 の場合

- ① デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタンをクリックします。
- ② [デバイスとプリンター] をクリックします。



Windows Vista、Windows Server 2008 の場合

- ① デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタンをクリックします。
- ② [コントロールパネル] をクリックします。



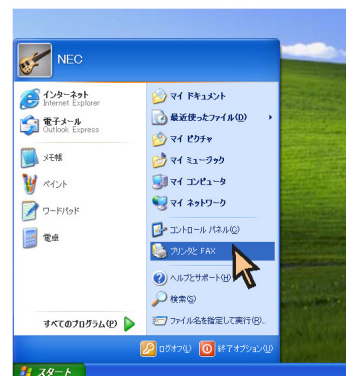
- ③ Windows Vista の場合は、[ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。



Windows Server 2008 の場合は、[プリンタ] をクリックします。

Windows XP Professional、Windows Server 2003 の場合

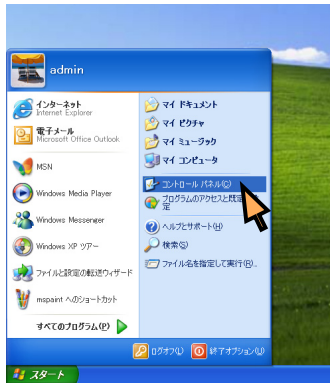
- ① [スタート] の [プリンタと FAX] をクリックします。



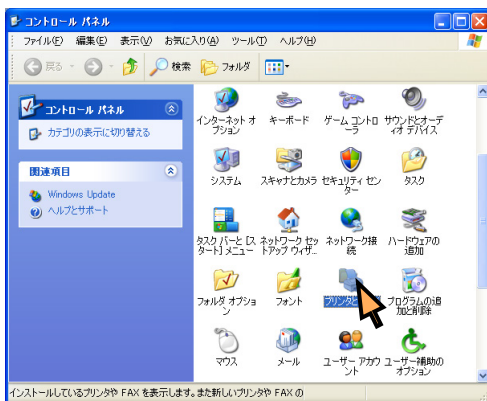
Windows XP Professional
での画面例

Windows XP Home Edition の場合

- ① [スタート] から [コントロールパネル] をクリックします。

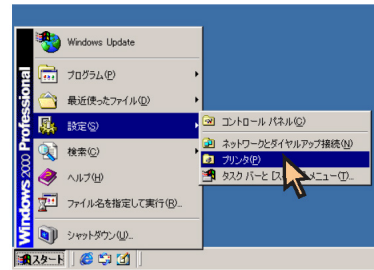


- ② [プリンタとFAX] をダブルクリックします。



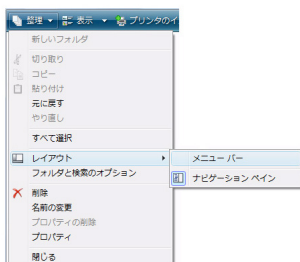
Windows 2000 の場合

- ① [スタート] の [設定] から [プリンタ] をクリックします。



その他

Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008 をお使いのコンピュータで、[ファイル] メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理] メニューから [レイアウト] を選び、[メニューバー] をクリックしてチェックマークを付けてください。



コンピュータのキーボードの<Alt>キーを一度押すと、メニューバーをいったん表示させることもできます。

インストール／アンインストール前の注意事項

本プリンターに添付のソフトウェア CD-ROM に収録されたプリンターソフトウェアのインストールまたはアンインストールをする前の注意事項について説明します。

基本的な操作およびセットアップについては各 OS に添付のマニュアルなどをご覧ください。

- 他のユーザーがお使いのコンピューターにログオンしている場合、プリンターソフトウェアのインストールは行えません。各ユーザーに切り替えてログオフしてからインストールを行ってください。
- プリンターソフトウェアをインストール（またはアンインストール）する場合は、実施者が「コンピューターの管理者」である必要があります。
- プリンターソフトウェアをインストール（またはアンインストール）する場合は、実施者が「Administrators」「DomainAdmins」または「Power User」グループのメンバーである必要があります。どのメンバーでもない場合は、インストール（またはアンインストール）を行うことはできません。
- プリンタードライバーをインストール（またはアンインストール）する前にすべてのアプリケーションを終了させてください。
- プリンタードライバーは印刷中にアンインストールを行うことはできません。印刷が終了してからアンインストールを行ってください。

目次

はじめに	iii	ユーザー定義用紙を登録する	34
マニュアルの構成	iii	プリンタードライバーにユーザー	
ソフトウェアマニュアルの使い方	iv	定義用紙を登録する手順	36
目的のページを表示する	iv	印刷の詳細設定	37
動作環境	vi	[印刷設定] ダイアログボックスを開く	37
基本事項	vii	[スタート] ボタンを使って呼び出す	37
ユーザーアカウント制御	vii	アプリケーションから呼び出す	37
プリンターフォルダーを表示するには	vii	[印刷設定] ダイアログボックスで	
その他	ix	詳細設定を行う	37
インストール／アンインストール前の		[用紙] シート	38
注意事項	x	[用紙カットと紙送り] ダイアログ	
1 章 プリンタードライバー	1	ボックス	42
プリンタードライバーのインストール	2	[グラフィクス] シート	45
LAN モデルの場合の注意	3	[オペレーション] シート	47
Windows プリンタードライバーの		[バーコード] シート	50
インストール	4	プリンタードライバーの注意事項	59
インストールを始める前に	4	プリンタードライバーの設定に関する	
Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、		注意事項	59
Windows Server 2012 R2、		バーコード・2次元コードに関する	
Windows Server 2012 の		注意事項	60
インストール手順	6	2 章 リモートパネル	61
Windows 7、Windows Server 2008 R2 の		リモートパネルのインストールと	
インストール手順	8	アンインストール	62
Windows Vista、Windows Server 2008 の		リモートパネルのインストール	62
インストール手順	10	リモートパネルの削除	
Windows XP、Windows Server 2003 の		(アンインストール)	64
インストール手順	12	リモートパネルの起動	65
Windows 2000 のインストール手順	14	リモートパネルの使い方	66
Windows プリンタードライバーの		メニューの説明	67
アンインストール	16	[ファイル] メニュー	67
Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、		[設定] メニュー	68
Windows Server 2012 R2、		[ヘルプ] メニュー	69
Windows Server 2012 の		ボタンの説明	69
アンインストール手順	16	プロパティシートの説明	70
Windows 7、Windows Server 2008 R2 の		[用紙レイアウト] シート	70
アンインストール手順	18	[メモリスイッチ] シート	72
Windows Vista、Windows Server 2008 の		[カスタムバリュー] シート	74
アンインストール手順	20	[その他] シート	76
Windows XP、Windows Server 2003 の		ロゴ登録画面の説明	77
アンインストール手順	22	操作説明	78
Windows 2000 のアンインストール手順	23	用紙レイアウトの設定方法	78
印刷の手順	24	カット位置・手切り位置補正方法	79
プロパティダイアログボックスで		プリンター設定の変更方法 (メモリ	
詳細設定を行う	25	スイッチ、カスタムバリュー、その他)	80
印刷先の変更	28	ロゴの登録方法	81
USB インターフェースへの切り替え	29	3 章 ステータスマニター	83
LAN インターフェースへの切り替え	30	ステータスマニターのインストールと	
パラレルインターフェースへの切り替え	31	アンインストール	84
RS-232C インターフェースへの切り替え	32	ステータスマニターのインストール	84

ステータスマニターの削除 (アンインストール)	86
----------------------------------	----

ステータスマニターの機能	87
ステータスマニターに関する注意事項 ..	87
ステータスマニターの起動	88
ステータス表示ウィンドウ	89
アイコン表示	90
アイコン表示時のマウス操作	90
ステータスマニター状態表示一覧表	91

4章 プリンタードライバー 一括設定ツール

92

制限事項・注意事項	93
-----------------	----

起動方法	94
------------	----

準 備	95
プリンターの追加	95
プリンター設定の取得	97

展 開	99
プリンターの追加	99
プリンター設定の更新	99

索 引	101
-----------	-----

1

プリンター ドライバー

プリンタードライバーは、本プリンターで印刷を行うために必要なソフトウェアです。ここでは以下について説明します。

- プリンタードライバーのインストール 2 ページ
- 印刷の手順 24 ページ
- プロパティダイアログボックスで詳細設定を行う 25 ページ
- 印刷先の変更 28 ページ
- ユーザー定義用紙を登録する 34 ページ
- 印刷の詳細設定 37 ページ
- プリンタードライバーの注意事項 59 ページ

プリンタードライバーのインストール

装置に添付の「ソフトウェア CD-ROM」を使ってお使いになるコンピュータにソフトウェアをインストールする手順およびアンインストールをする手順について説明します。

本プリンターのプリンターソフトウェアは、このプリンターと接続されている PC98-NX シリーズを含む IBM PC/AT 互換機（DOS/V 対応機）にインストールすることができます（NEC の PC-9800 シリーズにはインストールできません）。

また、お使いのコンピュータには次の Windows OS がインストールされている必要があります。

- Windows 10 日本語版
- Windows 8.1 日本語版
- Windows 8 日本語版
- Windows 7 日本語版
- Windows Vista 日本語版
- Windows XP 日本語版
- Windows Server 2012 R2 日本語版
- Windows Server 2012 日本語版
- Windows Server 2008 R2 日本語版
- Windows Server 2008 日本語版
- Windows Server 2003 日本語版
- Windows 2000 日本語版



チェック

USB インターフェース接続において、OS のアップグレードの組み合わせによっては、正常に動作しない場合があります。また、PC-9821 シリーズの USB インターフェース接続には対応していません。

LAN モデルの場合の注意

LAN モデルのプリンターにプリンタードライバーをインストールする手順は次の順序で進めます。

順番	作 業	使用する CD-ROM	参照先
1	プリントサーバーのセットアップ (Quick Setup)	「プリントサーバーソフトウェア CD-ROM」	プリントサーバーソフトウェアマニュアル
2	プリントサーバーの詳細なセット アップ (Web Setup)	不要	プリントサーバーソフトウェアマニュアル
3	PR-Port Manager のインストール	「プリントサーバーソフトウェア CD-ROM」	プリントサーバーソフトウェアマニュアル
4	ポートの作成	不要	プリントサーバーソフトウェアマニュアル
5	プリンタードライバーのインスト ール	「ソフトウェア CD-ROM」	次ページ

「Quick Setup」「Web Setup」および「PR-Port Manager」のインストールとポートのセットアップについては、プリントサーバーソフトウェア CD-ROM に収められているプリントサーバーソフトウェアマニュアルを参照してください。

Windows プリンタードライバーのインストール

プリンター名は MultiCoder 300S2DX を例にして説明しています。MultiCoder 300S2DC も同様ですので、読み替えてお使いください。

インストールを始める前に

- ・プリンターにロール紙をセットしてください。
 - ・トップカバーが閉じていることを確認してください。
 - ・インターフェースケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- 以上を確認してから、プリンターの電源を入れてください。

● プリンタードライバーのバージョンアップをする場合

既に NEC MultiCoder 300S2DX プリンタードライバーがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

削除方法は、「Windows プリンタードライバーのアンインストール」(16 ページ) を参照してください。

● “新しいハードウェアの検出ウィザード” が表示された場合

USB インターフェース接続時には、プリンターの電源を入れると新しいハードウェアが自動的に検出されることがあります。以下の手順に沿って操作を行ってください。

【Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012 の場合】

- ① 「デバイス設定」(プログレスバー) がタスクバー(画面下)に表示されますが、自動的に終了されますので、表示が消えたことを確認してください。

【Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 の場合】

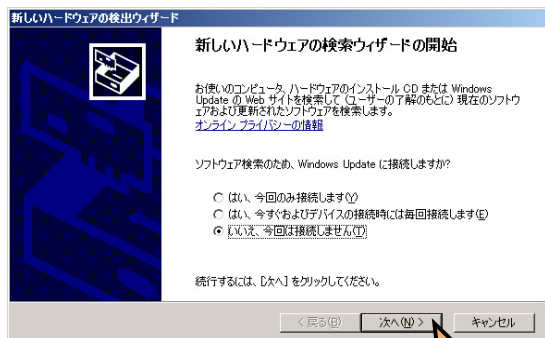
- ① 「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています。」のメッセージがバルーン表示(画面右下)されますが、特に操作は不要です。
- ② 最後に「デバイスを使用する準備ができました」の表示がされて終了となります。
- ③ バルーン表示をクリックすると「プリンターが接続されていません」のメッセージが表示されます。[閉じる]をクリックしてください。

【Windows XP の場合】

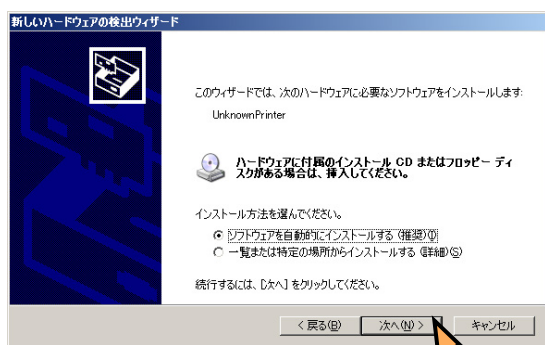
- ① 「新しいハードウェアが見つかりました」がバルーン表示(画面右下)されますが自動的に終了されますので、表示が消えたことを確認してください。

【Windows Server 2003 (または Windows XP) の場合】

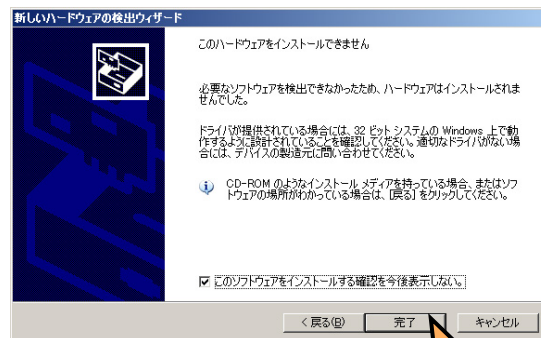
- ① 「いいえ、今回は接続しません」をチェックして、[次へ]をクリックしてください。



- ② 「ソフトウェアを自動的にインストールする」をチェックして、[次へ]をクリックしてください。



- ③ 「このソフトウェアをインストールする確認を今後表示しない。」をチェックして、[完了]をクリックしてください。



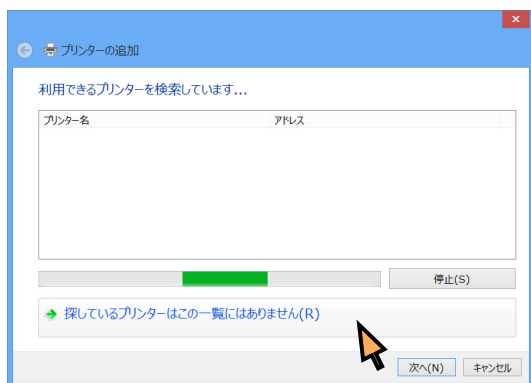
- ④ 「このハードウェアをインストールできません」の表示がされて終了となります。

【Windows 2000 の場合】

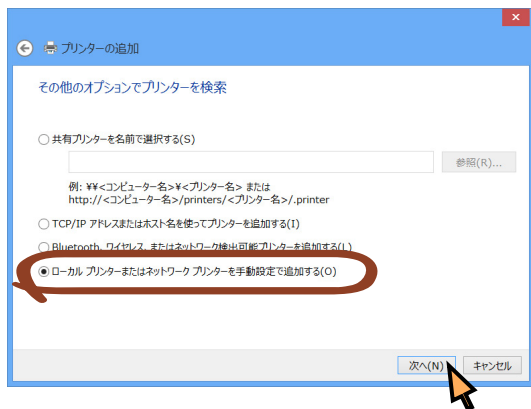
- ① 「新しいハードウェアが見つかりました」が画面中央に表示されますが自動的に終了されますので、表示が消えたことを確認してください。

Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、 Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012 のインストール手順

- ① コンピューターの電源を ON にし、コンピューターを起動します。
- ② ソフトウェア CD-ROM をドライブにセットします。
- ③ [デバイスとプリンター]を開きます。
- ④ [プリンターの追加]をクリックし、プリンターの追加を開始します。
[利用できるプリンタを探しています...]が表示されたら、[探しているプリンターはこの一覧にはありません]をクリックします。



- ⑤ [ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する]を選択し、[次へ]をクリックします。



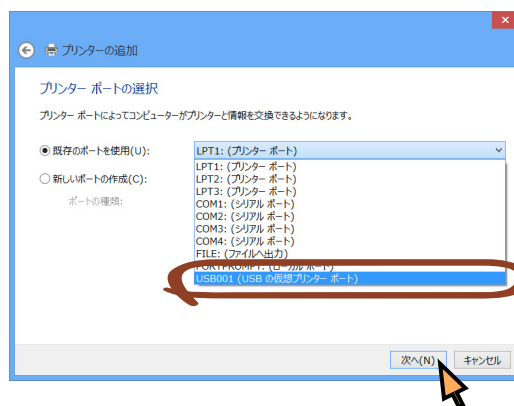
- ⑥ [既存のポートを使用]のプルダウンメニューから、プリンターが接続されているポートを選択し、[次へ]をクリックします。

USB インターフェースの場合は、「USBxxx」を選択してください。複数の USB ポートが表示される場合は、番号が大きいポートを選択してください。

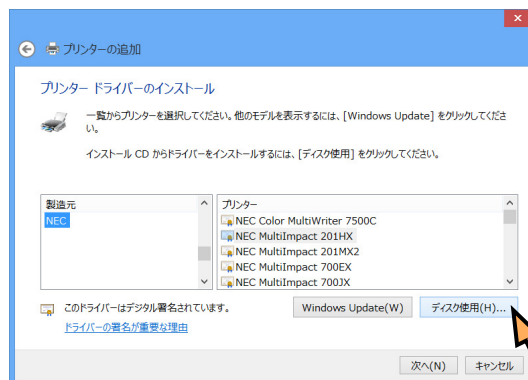
パラレルインターフェースの場合は、「LPTx」を選択してください。

RS-232C インターフェースの場合は、「COMx」を選択してください。

LAN インターフェースの場合は、あらかじめ設定した PR-Port Manager Port を選択してください。



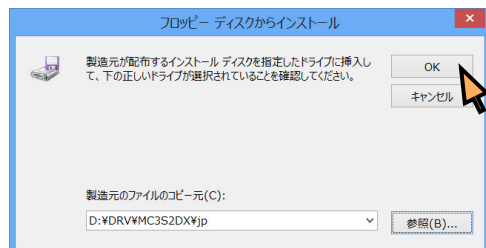
- ⑦ [ディスク使用]をクリックします。



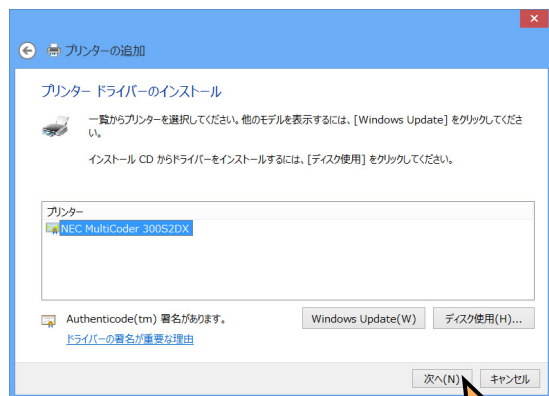
- ⑧ [製造元のファイルのコピー元]に「D:¥DRV¥MC3S2DX¥JP」を指定し、[OK]をクリックします。

MultiCoder 300S2DC の場合は「D:¥DRV¥MC3S2DC¥JP」

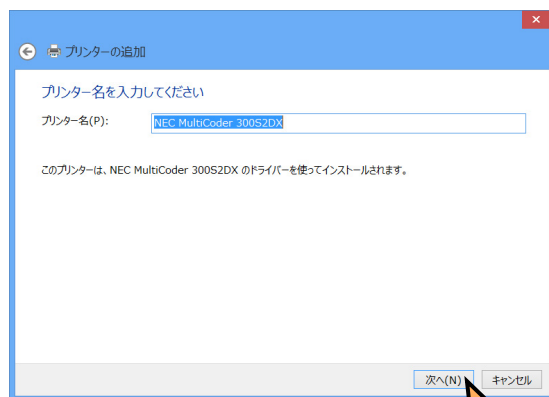
“D:¥” はソフトウェア CD-ROM をセットしたドライブとなりますので、それぞれの環境に合わせて読み替えてください。



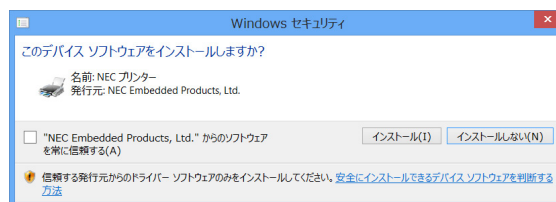
- ⑨ 「NEC MultiCoder 300S2DX」を選択し、[次へ]をクリックします。



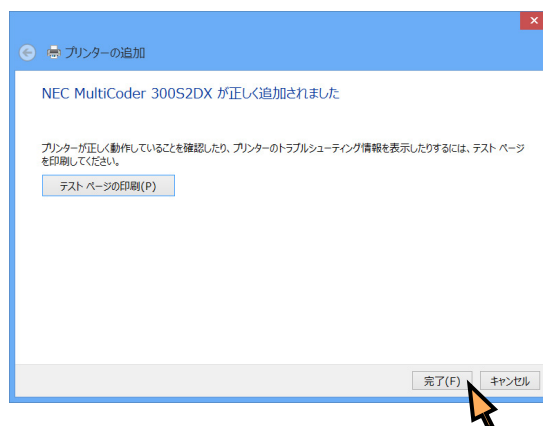
- ⑩ プリンター名を入力して[次へ]をクリックします。



- ⑪ 以下の画面が表示された場合は、[インストール]をクリックします。



- ⑫ [完了]をクリックします。

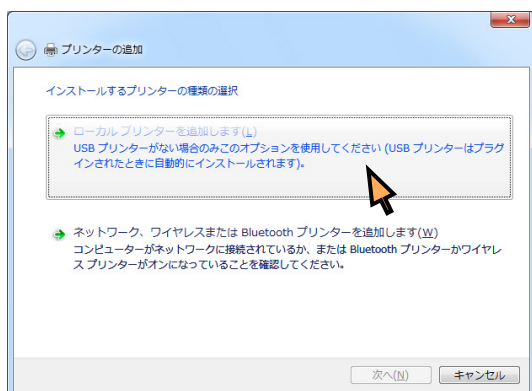


- ⑬ インストールが完了すると、追加したプリンターが [デバイスとプリンター] に表示されます。

- ⑭ Windows を再起動してください。

Windows 7、Windows Server 2008 R2 のインストール手順

- ① コンピューターの電源を ON にし、コンピューターを起動します。
- ② ソフトウェア CD-ROM をドライブにセットします。
- ③ [デバイスとプリンター]を開きます。
- ④ [プリンターの追加]をクリックし、プリンターの追加を開始します。
- ⑤ [ローカルプリンターを追加します]をクリックします。



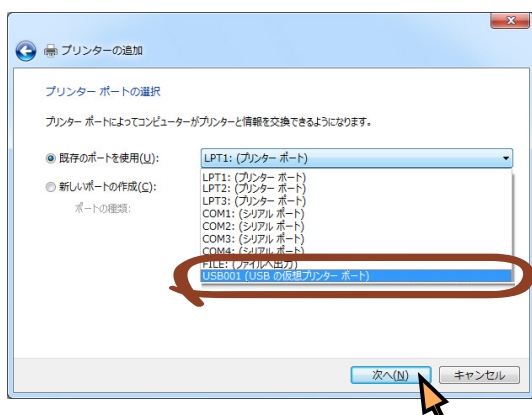
- ⑥ [既存のポートを使用]のプルダウンメニューから、プリンターが接続されているポートを選択し、[次へ]をクリックします。

USB インターフェースの場合は、「USBxxx」を選択してください。複数の USB ポートが表示される場合は、番号が大きいポートを選択してください。

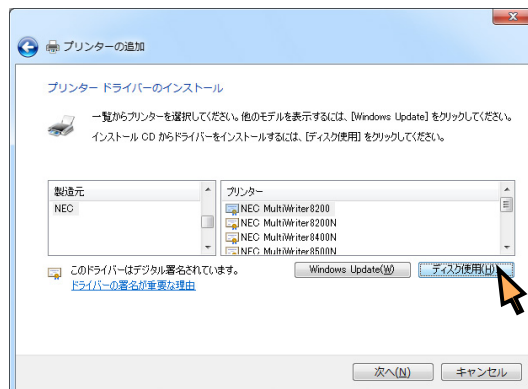
パラレルインターフェースの場合は、「LPTx」を選択してください。

RS-232C インターフェースの場合は、「COMx」を選択してください。

LAN インターフェースの場合は、あらかじめ設定した PR-Port Manager Port を選択してください。



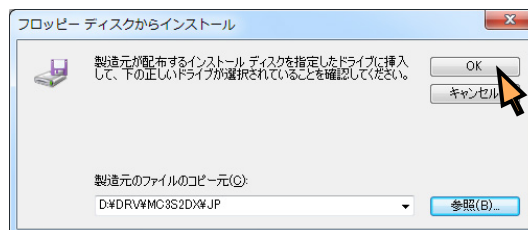
- ⑦ [ディスク使用]をクリックします。



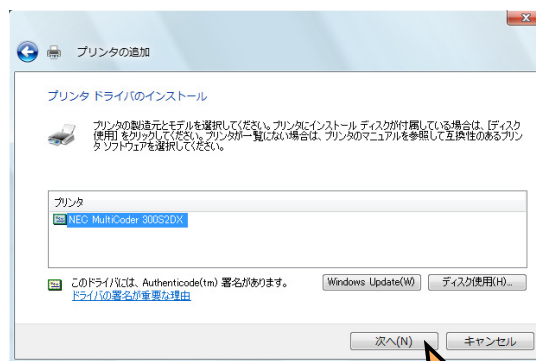
- ⑧ [製造元のファイルのコピー元]に「D:¥DRV¥MC3S2DX¥JP」を指定し、[OK]をクリックします。

MultiCoder 300S2DC の場合は「D:¥DRV¥MC3S2DC¥JP」

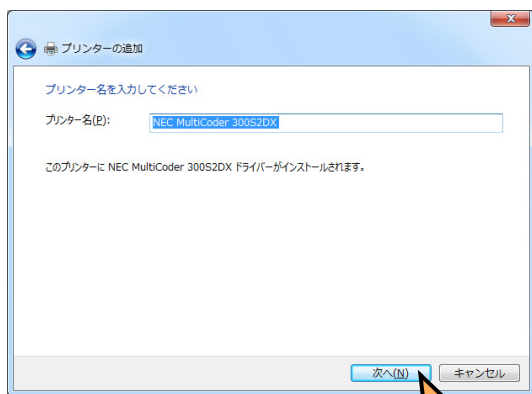
“D:¥” はソフトウェア CD-ROM をセットしたドライブとなりますので、それぞれの環境に合わせて読み替えてください。



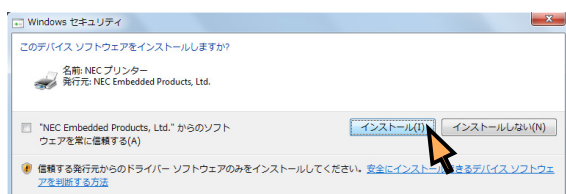
- ⑨ 「NEC MultiCoder 300S2DX」を選択し、[次へ]をクリックします。



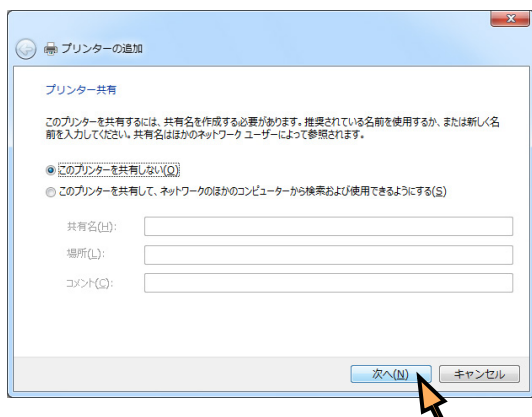
- ⑩ プリンター名を入力して[次へ]をクリックします。



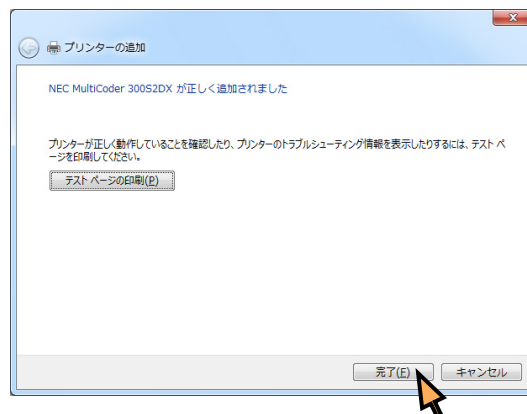
- ⑪ 以下の画面が表示された場合は、[インストール]をクリックします。



- ⑫ ネットワーク上で他のユーザーと共有するかを選択し、[次へ]をクリックします。



- ⑬ [完了]をクリックします。

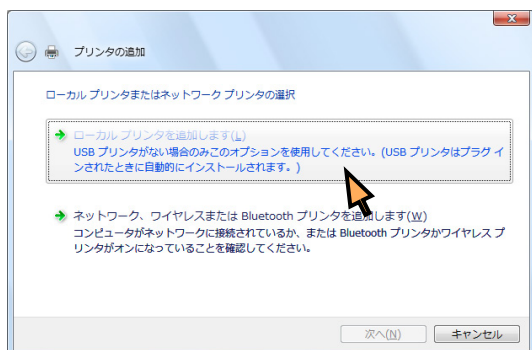


- ⑭ インストールが完了すると、追加したプリンターが [デバイスとプリンター] に表示されます。

- ⑮ Windows を再起動してください。

Windows Vista、Windows Server 2008 のインストール手順

- ① コンピューターの電源を ON にし、コンピューターを起動します。
- ② ソフトウェア CD-ROM をドライブにセットします。
- ③ [プリンタ]を開きます。
- ④ [プリンタのインストール]をクリックし、プリンタの追加を開始します。
- ⑤ [ローカルプリンタを追加します]をクリックします。



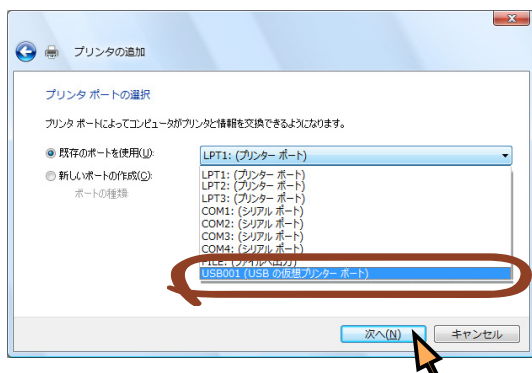
- ⑥ [既存のポートを使用]のプルダウンメニューから、プリンターが接続されているポートを選択し、[次へ]をクリックします。

USB インターフェースの場合は、「USBxxx」を選択してください。複数の USB ポートが表示される場合は、番号が大きいポートを選択してください。

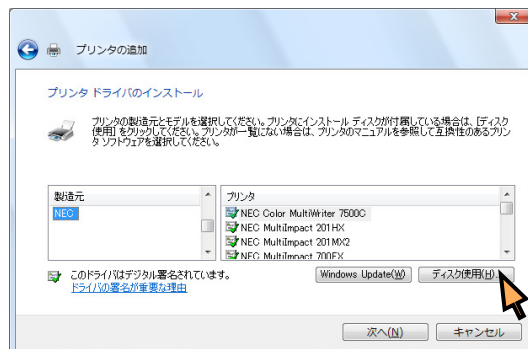
パラレルインターフェースの場合は、「LPTx」を選択してください。

RS-232C インターフェースの場合は、「COMx」を選択してください。

LAN インターフェースの場合は、あらかじめ設定した PR-Port Manager Port を選択してください。



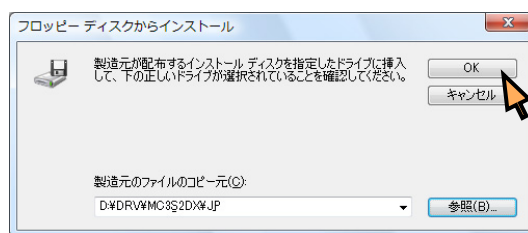
- ⑦ [ディスク使用]をクリックします。



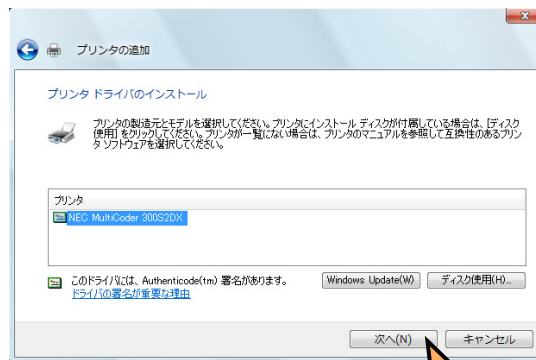
- ⑧ [製造元のファイルのコピー元]に「D:¥DRV¥MC3S2DX¥JP」を指定し、[OK]をクリックします。

MultiCoder 300S2DC の場合は「D:¥DRV¥MC3S2DC¥JP」

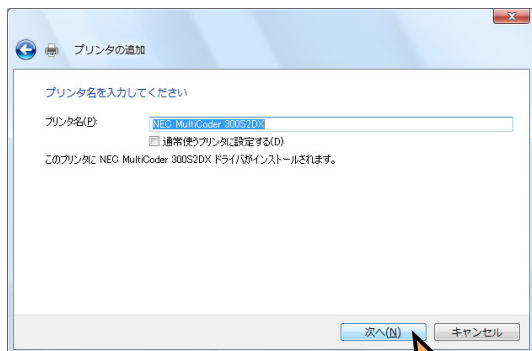
“D:¥” はソフトウェア CD-ROM をセットしたドライブとなりますので、それぞれの環境に合わせて読み替えてください。



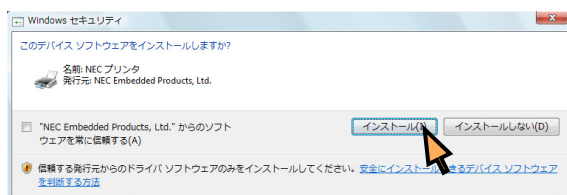
- ⑨ 「NEC MultiCoder 300S2DX」を選択し、[次へ]をクリックします。



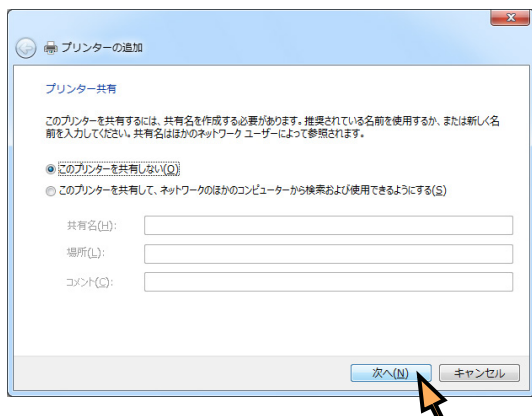
- ⑩ プリンタの名称を入力し、通常使うプリンタとして使うかを選択し、[次へ]をクリックします。



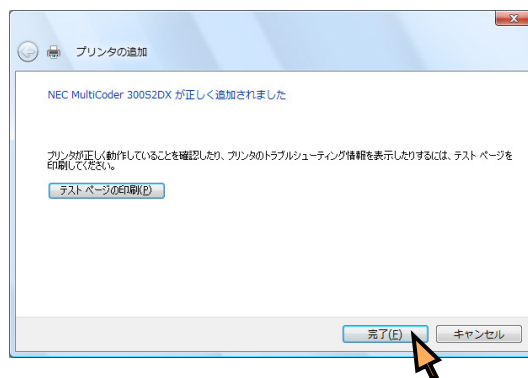
- ⑪ 以下の画面が表示された場合は、[インストール]をクリックします。



- ⑫ ネットワーク上で他のユーザーと共有するかを選択し、[次へ]をクリックします。



- ⑬ [完了]をクリックします。

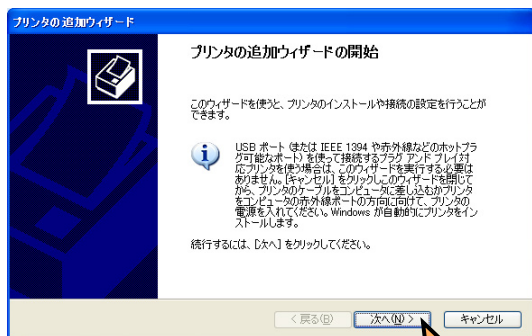


- ⑭ インストールが完了すると、追加したプリンターが[プリンタ]に表示されます。

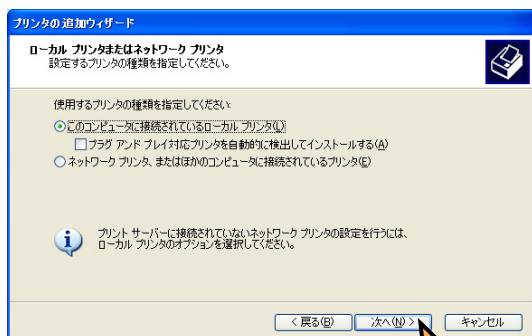
- ⑮ Windows を再起動してください。

Windows XP、Windows Server 2003 のインストール手順

- ① コンピューターの電源を ON にし、コンピューターを起動します。
- ② ソフトウェア CD-ROM をドライブにセットします。
- ③ [プリンタと FAX]を開きます。
- ④ [プリンタのインストール]をクリックし、プリンタの追加ウィザードを開始します。
- ⑤ [次へ]をクリックします。



- ⑥ [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。
[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックは外してください。



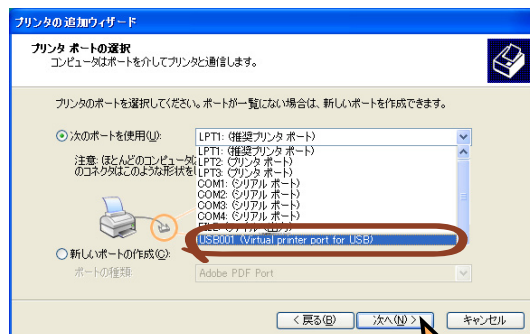
- ⑦ [次のポートを使用]のプルダウンメニューから、プリンタが接続されているポートを選択し、[次へ]をクリックします。

USB インターフェースの場合は、「USBxxx」を選択してください。複数の USB ポートが表示される場合は、番号が大きいポートを選択してください。

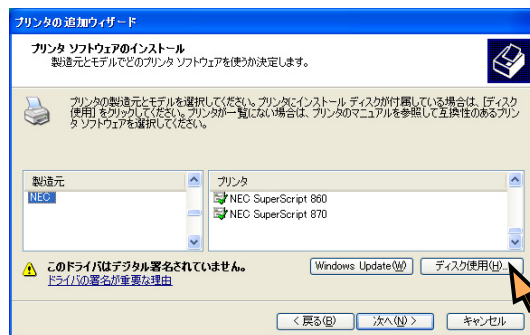
パラレルインターフェースの場合は、「LPTx」を選択してください。

RS-232C インターフェースの場合は、「COMx」を選択してください。

LAN インターフェースの場合は、あらかじめ設定した PR-Port Manager Port を選択してください。



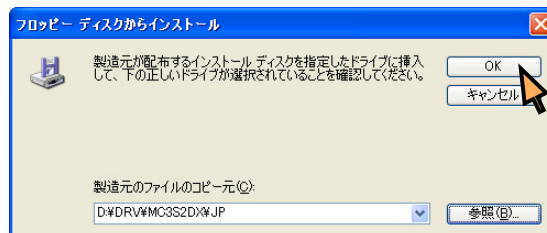
- ⑧ [ディスク使用]をクリックします。



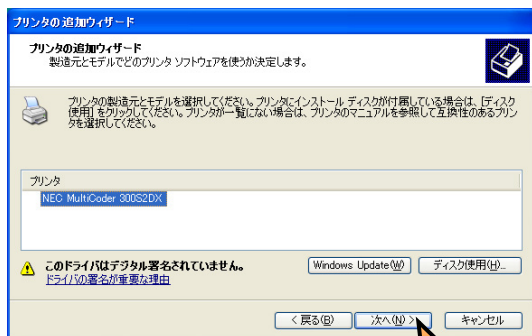
- ⑨ [製造元のファイルのコピー元]に「D:¥DRV¥MC3S2DX¥JP」を指定し、[OK]をクリックします。

MultiCoder 300S2DC の場合は「D:¥DRV¥MC3S2DC¥JP」

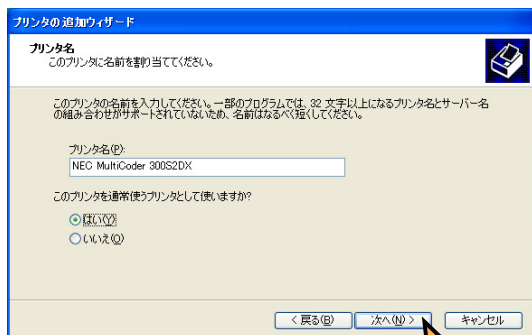
“D:¥”はソフトウェア CD-ROM をセットしたドライブとなりますので、それぞれの環境に合わせて読み替えてください。



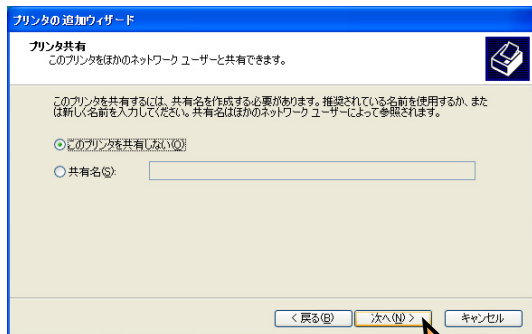
- ⑩ 「NEC MultiCoder 300S2DX」を選択し、[次へ]をクリックします。



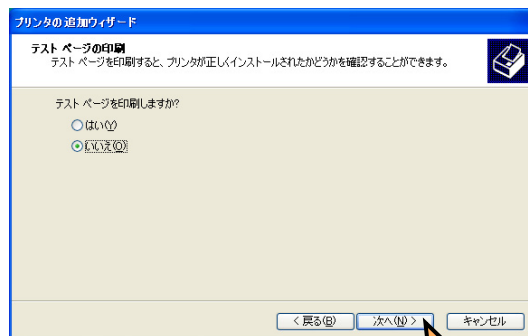
- ⑪ プリンタの名称を入力し、通常使うプリンタとして使うかを選択し、[次へ]をクリックします。



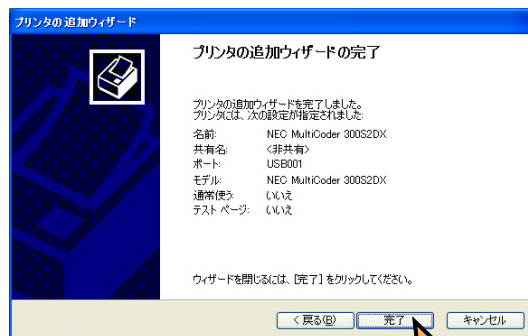
- ⑫ ネットワーク上で他のユーザーと共有するかを選択し、[次へ]をクリックします。



- ⑬ [いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。



- ⑭ 設定が正しいことを確認して[完了]をクリックします。



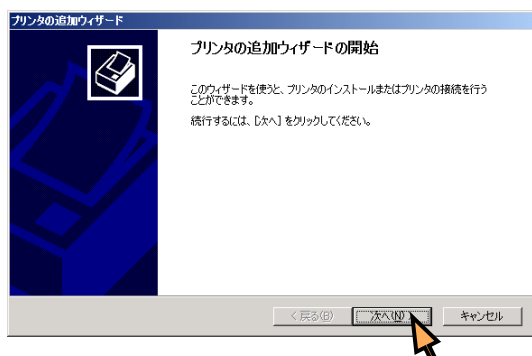
- ⑮ ファイルのコピーが開始されます。

- ⑯ インストールが完了すると、追加したプリンターが[プリンタとFAX]に表示されます。

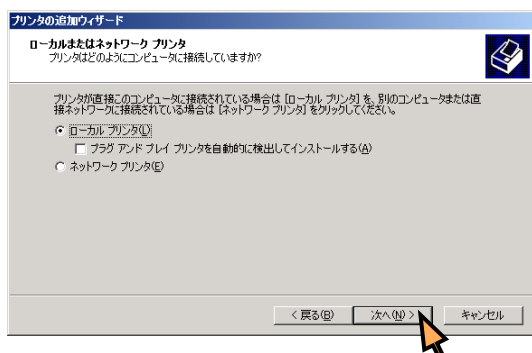
- ⑰ Windows を再起動してください。

Windows 2000 のインストール手順

- ① コンピューターの電源を ON にし、コンピューターを起動します。
- ② ソフトウェア CD-ROM をドライブにセットします。
- ③ [プリンタ]を開きます。
- ④ [プリンタの追加]をクリックし、プリンタの追加ウィザードを開始します。
- ⑤ [次へ]をクリックします。



- ⑥ [ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。
[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックは外してください。



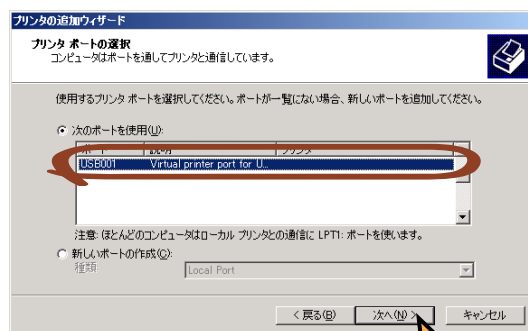
- ⑦ [次のポートを使用]のプルダウンメニューから、プリンタが接続されているポートを選択し、[次へ]をクリックします。

USB インターフェースの場合は、「USBxxx」を選択してください。複数の USB ポートが表示される場合は、番号が大きいポートを選択してください。

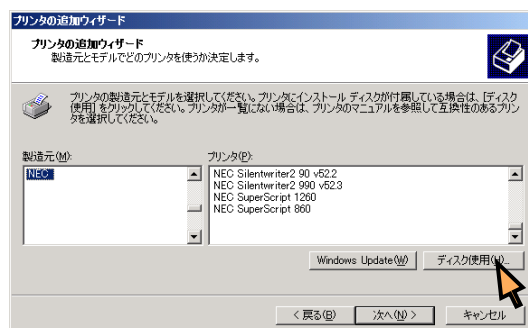
パラレルインターフェースの場合は、「LPTx」を選択してください。

RS-232C インターフェースの場合は、「COMx」を選択してください。

LAN インターフェースの場合は、あらかじめ設定した PR-Port Manager Port を選択してください。



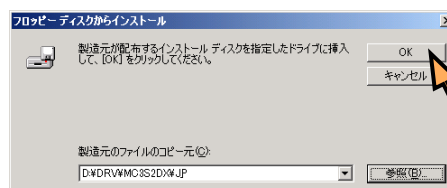
- ⑧ [ディスク使用]をクリックします。



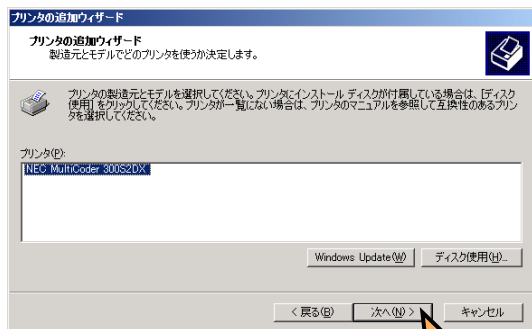
- ⑨ [製造元のファイルのコピー元]に「D:¥DRV¥MC3S2DX¥JP」を指定し、[OK]をクリックします。

MultiCoder 300S2DC の場合は「D:¥DRV¥MC3S2DC¥JP」

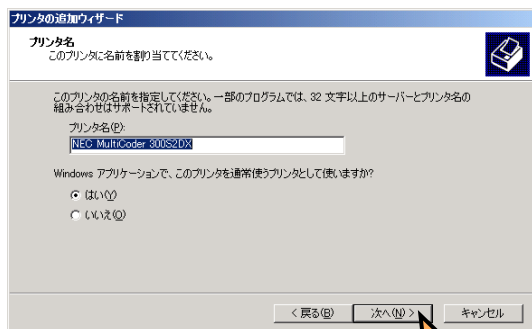
“D:¥” はソフトウェア CD-ROM をセットしたドライブとなりますので、それぞれの環境に合わせて読み替えてください。



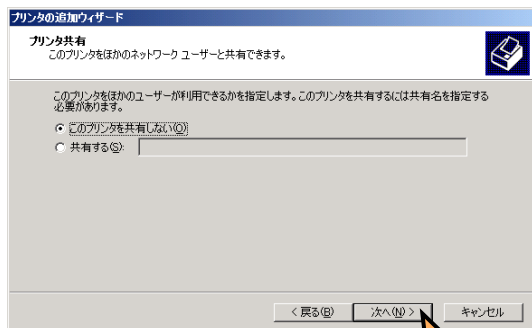
- ⑩ 「NEC MultiCoder 300S2DX」を選択し、[次へ]をクリックします。



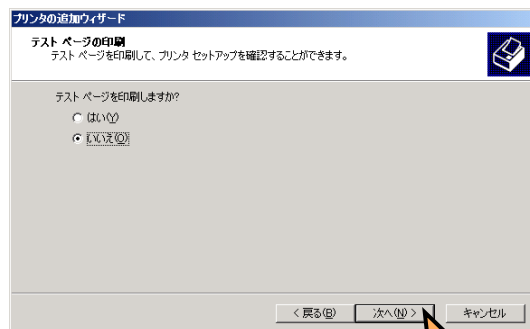
- ⑪ プリンタの名称を入力し、通常使うプリンタとして使うかを選択し、[次へ]をクリックします。



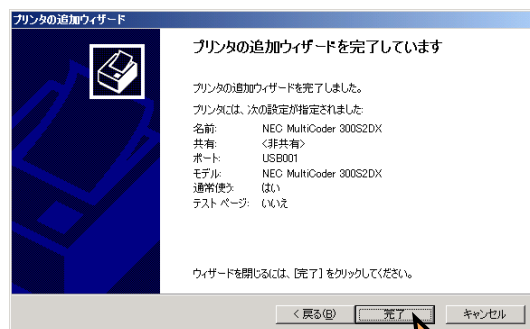
- ⑫ ネットワーク上で他のユーザーと共有するかを選択し、[次へ]をクリックします。



- ⑬ [いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。



- ⑭ 設定が正しいことを確認して[完了]をクリックします。



- ⑮ インストールが完了すると、追加したプリンターが[プリンタ]に表示されます。

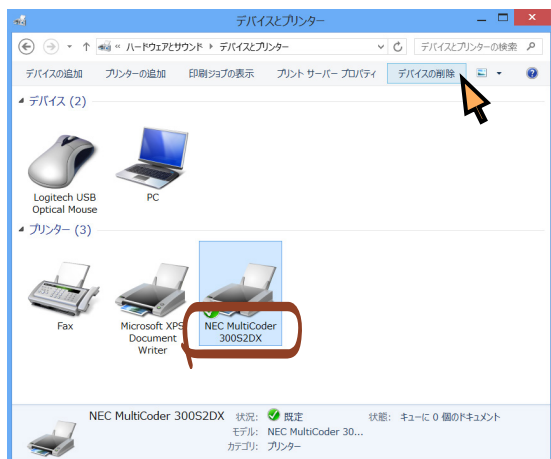
- ⑯ Windows を再起動してください。

Windows プリンタードライバーのアンインストール

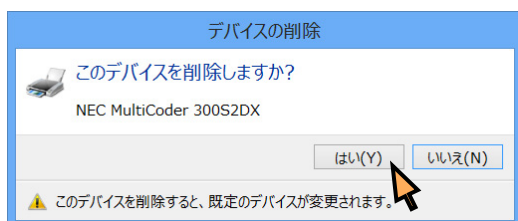
Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、 Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012 のアンインストール手順

① [デバイスとプリンター]を開きます。

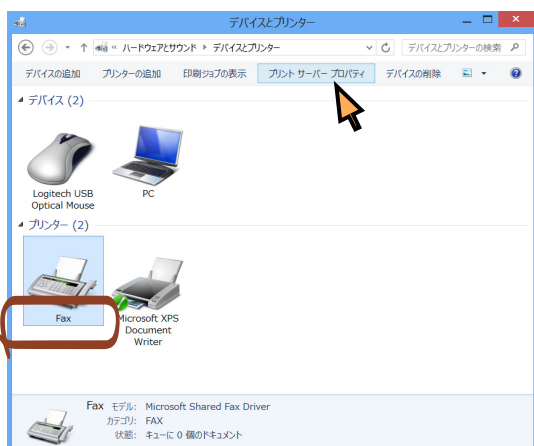
② [デバイスとプリンター]内にある「NEC MultiCoder 300S2DX」を選択し、[デバイスの削除]を選択します。



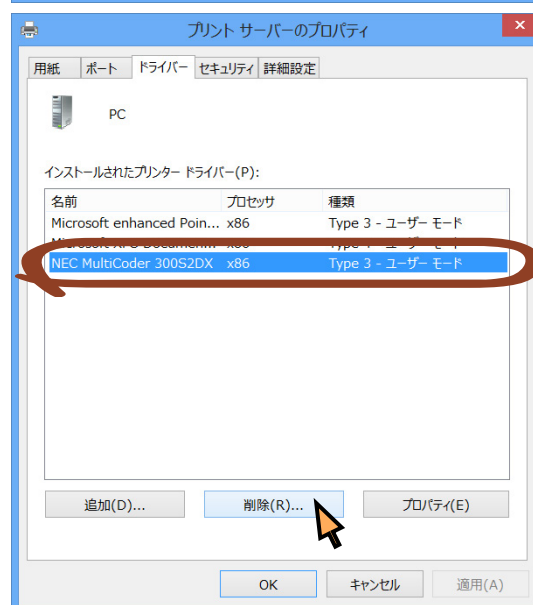
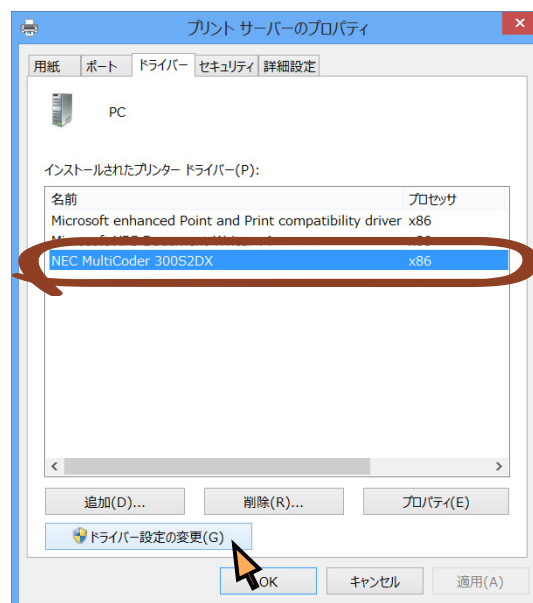
③ 「このデバイスを削除しますか？ NEC MultiCoder 300S2DX」画面が表示されますので[はい]を選択します。



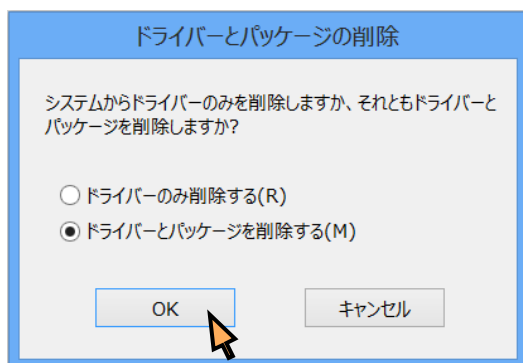
④ [デバイスとプリンター]内の残っているプリンターか FAX を選択し、[プリントサーバープロパティ]を選択します。



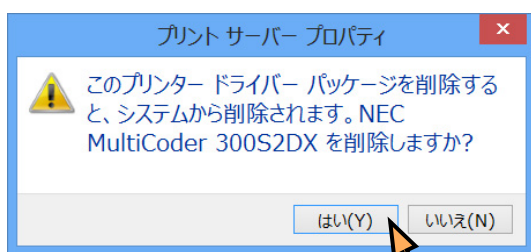
⑤ [ドライバー]タブをクリックし、「インストールされたプリンタードライバー」リストから「NEC MultiCoder 300S2DX」を選択し[削除]ボタンをクリックします。
[ドライバー設定の変更]ボタンが表示されている場合は、[ドライバー設定の変更]をクリックし、管理者権限で、[削除]を行ってください。



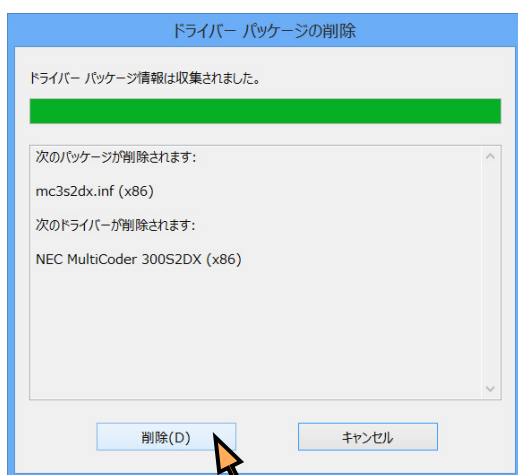
- ⑥ [ドライバーとパッケージの削除]画面が表示されますので、[ドライバーとドライバーパッケージを削除する]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



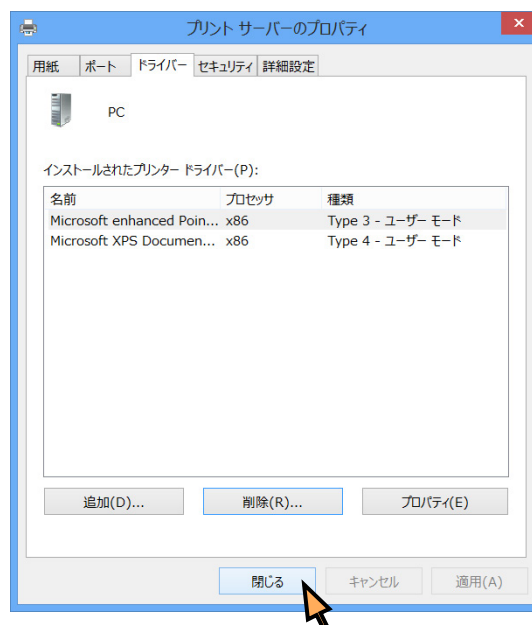
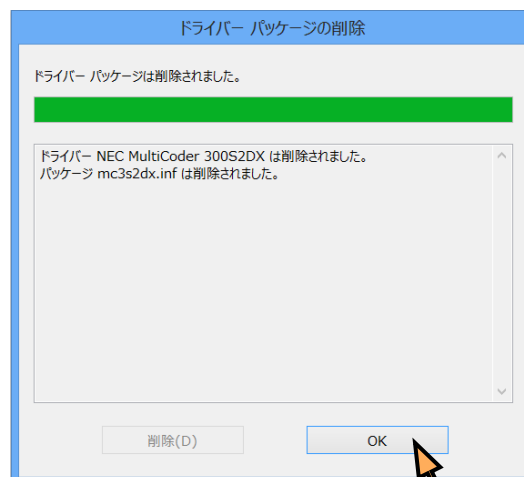
- ⑦ 「このプリンタードライバーパッケージを削除すると、システムから削除されます。NEC MultiCoder 300S2DX を削除しますか？」画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。



- ⑧ [ドライバーパッケージの削除]画面が表示されますので、[削除]ボタンをクリックします。



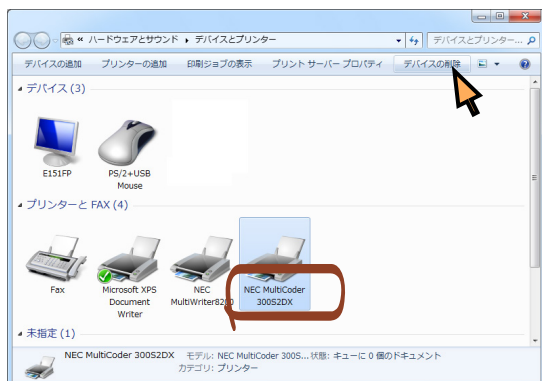
- ⑨ ドライバーの削除が終わったら[OK]をクリックし、[閉じる]ボタンをクリックして[プリントサーバーのプロパティ]ダイアログを終了します。



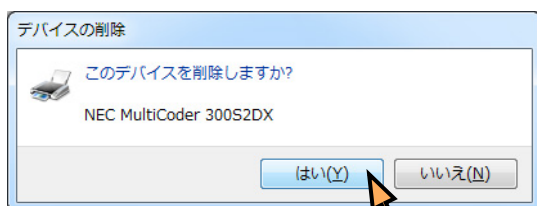
- ⑩ プリンターの電源を OFF にして、パソコンを再起動します。

Windows 7、Windows Server 2008 R2 のアンインストール手順

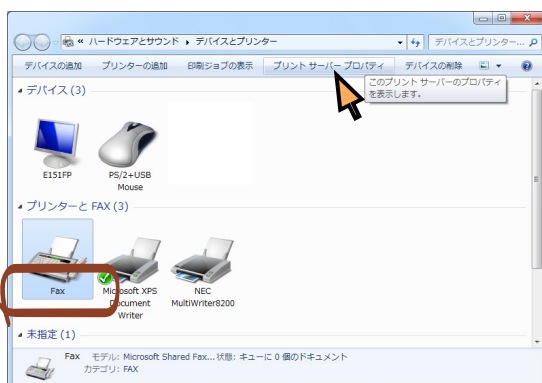
- ① [デバイスとプリンター]を開きます。
- ② [デバイスとプリンター]内にある「NEC MultiCoder 300S2DX」を選択し、[デバイスの削除]を選択します。



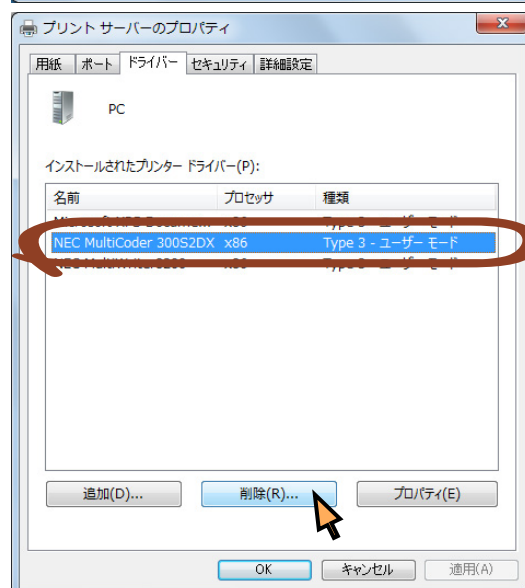
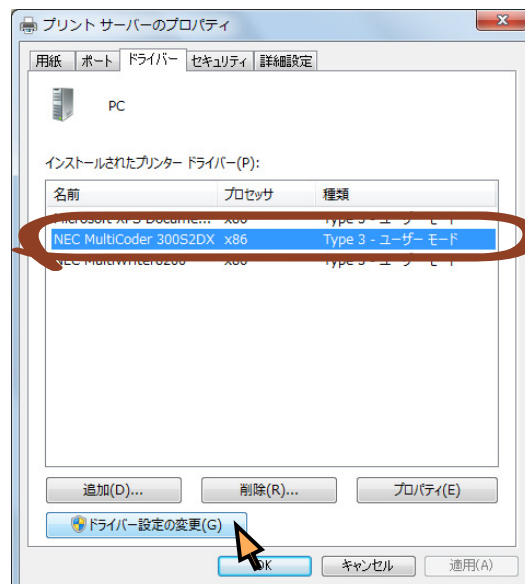
- ③ 「このデバイスを削除しますか？ NEC MultiCoder 300S2DX」画面が表示されますので[はい]を選択します。



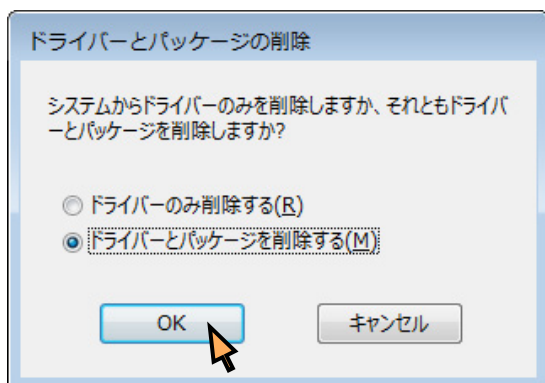
- ④ [デバイスとプリンター]内の残っているプリンターか FAX を選択し、[プリントサーバープロパティ]を選択します。



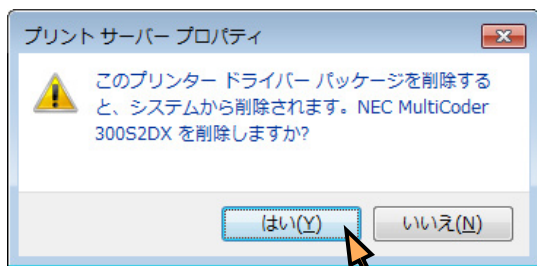
- ⑤ [ドライバー]タブをクリックし、「インストールされたプリンタードライバー」リストから「NEC MultiCoder 300S2DX」を選択し[削除]ボタンをクリックします。
[ドライバー設定の変更]ボタンが表示されている場合は、[ドライバー設定の変更]をクリックし、管理者権限で、[削除]を行ってください。



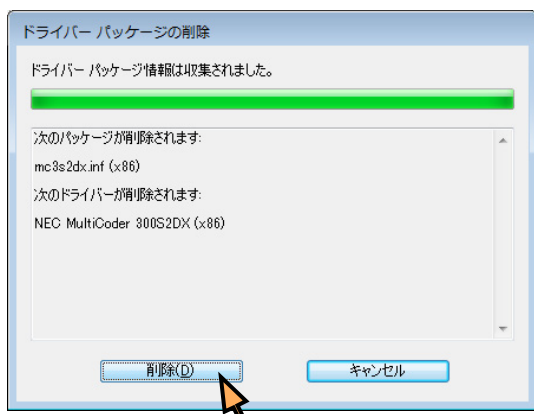
- ⑥ [ドライバーとパッケージの削除]画面が表示されますので、[ドライバーとドライバーパッケージを削除する]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



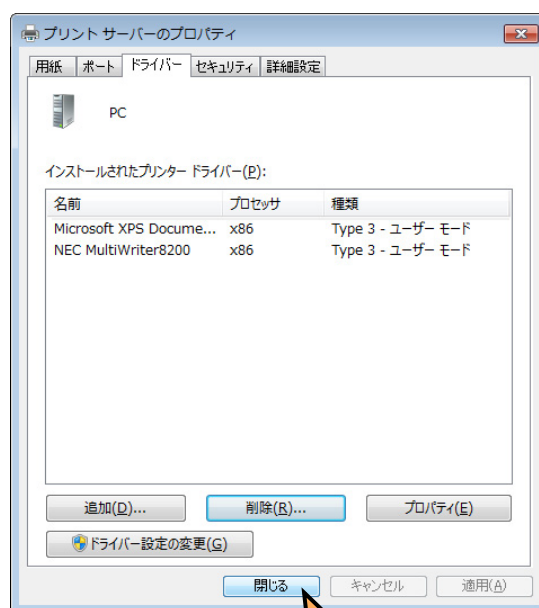
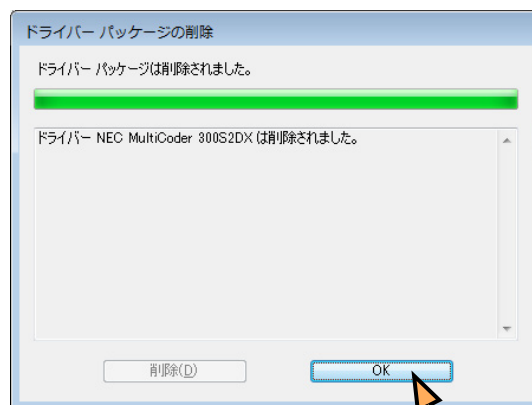
- ⑦ 「このプリンタードライバーパッケージを削除すると、システムから削除されます。NEC MultiCoder 300S2DX を削除しますか？」画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。



- ⑧ [ドライバーパッケージの削除]画面が表示されますので、[削除]ボタンをクリックします。



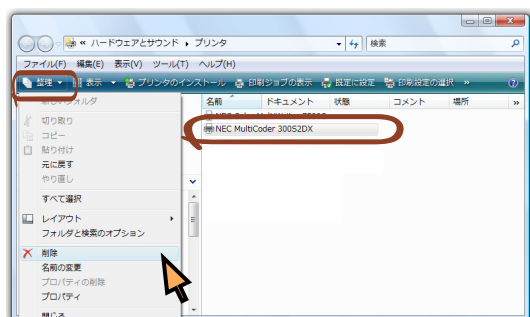
- ⑨ ドライバーの削除が終わったら[OK]をクリックし、[閉じる]ボタンをクリックして[プリントサーバーのプロパティ]ダイアログを終了します。



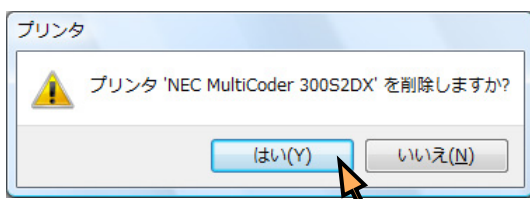
- ⑩ プリンターの電源を OFF にして、パソコンを再起動します。

Windows Vista、Windows Server 2008 のアンインストール手順

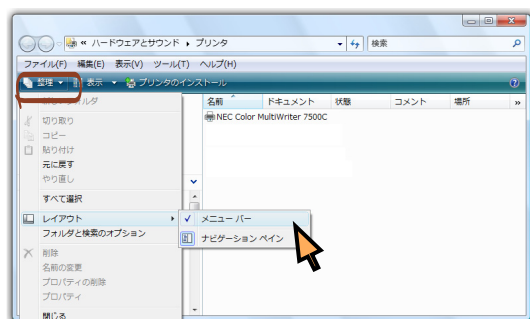
- ① [プリンタ]を開きます。
- ② [プリンタフォルダー]内にある「NEC MultiCoder 300S2DX」を選択し、[整理]→[削除]を選択します。



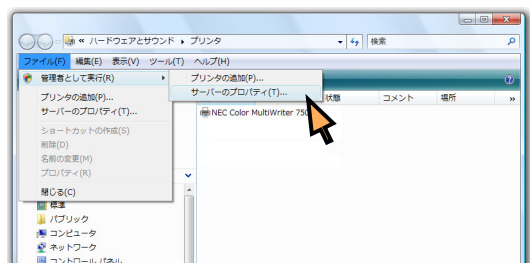
- ③ 「プリンタ'NEC MultiCoder 300S2DX'を削除しますか？」画面が表示されますので[はい]を選択します。



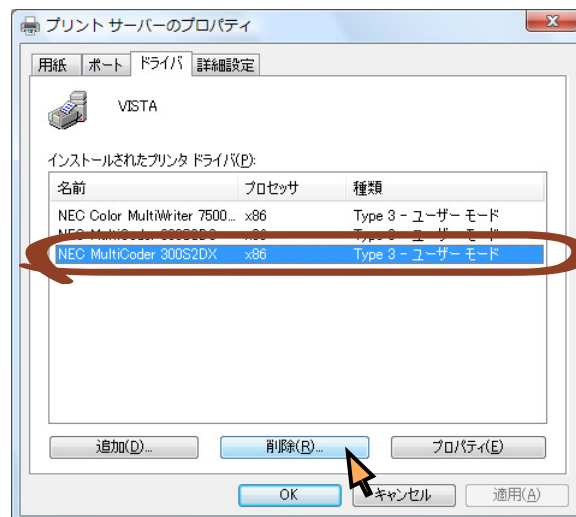
- ④ [整理]→[レイアウト]→[メニューバー]を選択します。



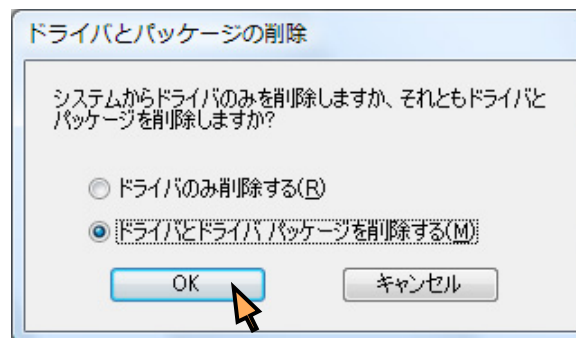
- ⑤ [ファイル]→[管理者として実行]→[サーバーのプロパティ]を選択します。



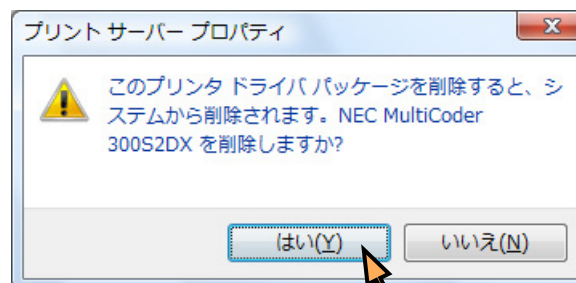
- ⑥ [ドライバー]タブをクリックし、「インストールされたプリンタドライバ」リストから「NEC MultiCoder 300S2DX」を選択し[削除]ボタンをクリックします。



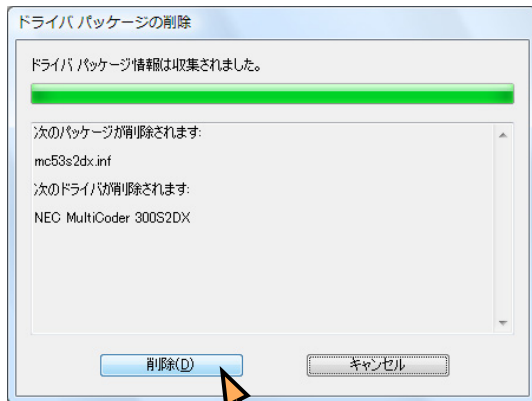
- ⑦ [ドライバとパッケージの削除]画面が表示されますので、[ドライバとドライバーパッケージを削除する]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



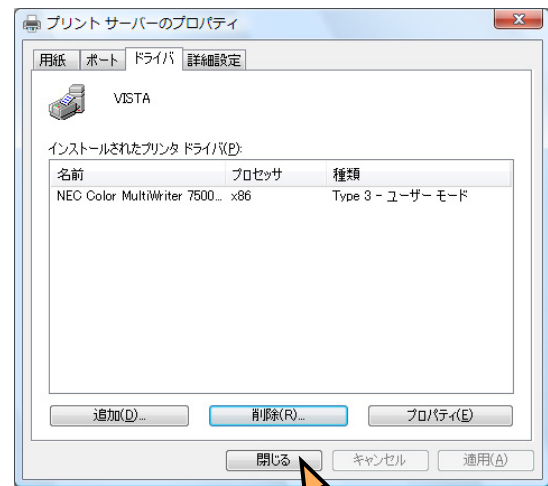
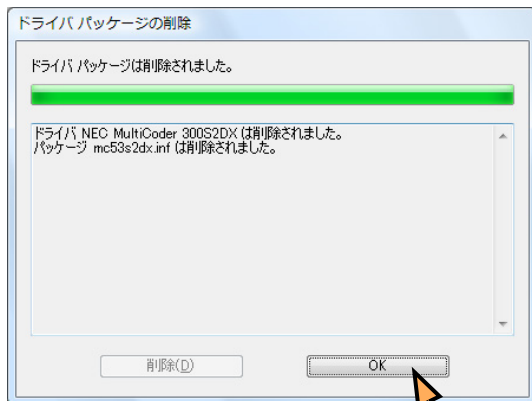
- ⑧ 「このプリンタドライバパッケージを削除すると、システムから削除されます。NEC MultiCoder 300S2DXを削除しますか？」画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。



- ⑨ [ドライバパッケージの削除]画面が表示されますので、[削除]ボタンをクリックします。



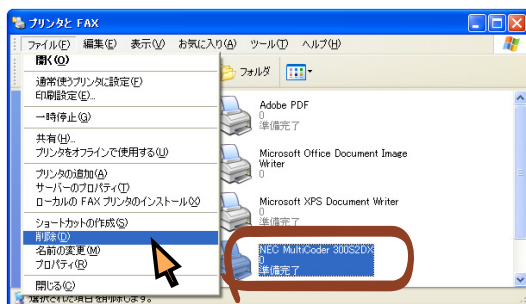
- ⑩ ドライバーの削除が終わったら[OK]をクリックし、[閉じる]ボタンをクリックして[プリントサーバーのプロパティ]ダイアログを終了します。



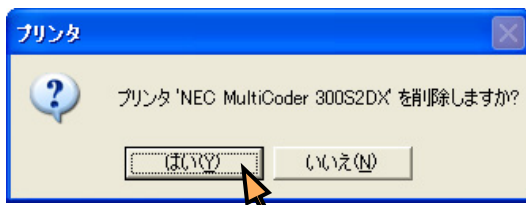
- ⑪ プリンターの電源を OFF にして、パソコンを再起動します。

Windows XP、Windows Server 2003 のアンインストール手順

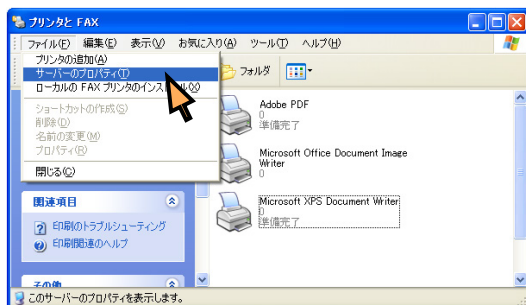
- ① [プリンタと FAX]を開きます。
- ② 「プリンタと FAX」内にある「NEC MultiCoder 300S2DX」を選択し、[ファイル]→[削除]を選択します。



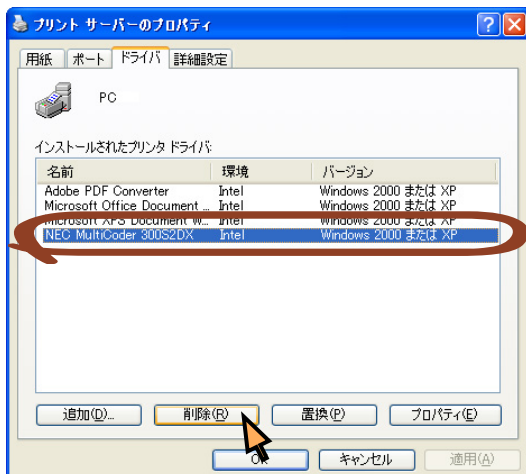
- ③ 「プリンタ」NEC MultiCoder 300S2DX」を削除しますか？」画面が表示されますので[はい]を選択します。



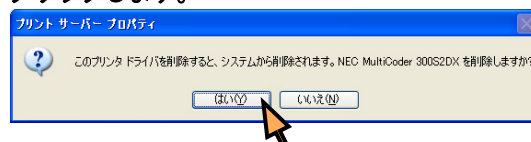
- ④ [ファイル]→[サーバーのプロパティ]を選択します。



- ⑤ [ドライバ]タブをクリックし、「インストールされたプリンタードライバー」リストから「NEC MultiCoder 300S2DX」を選択し[削除]ボタンをクリックします。



- ⑥ 「このプリンタドライバを削除すると、システムから削除されます。NEC MultiCoder 300S2DX を削除しますか？」画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。



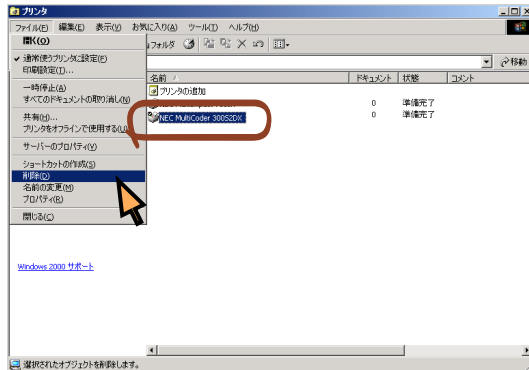
- ⑦ ドライバーの削除が終わったら[OK]をクリックし、[閉じる]ボタンをクリックして[プリントサーバーのプロパティ]ダイアログを終了します。



- ⑧ プリンターの電源を OFF にして、パソコンを再起動します。

Windows 2000 のアンインストール手順

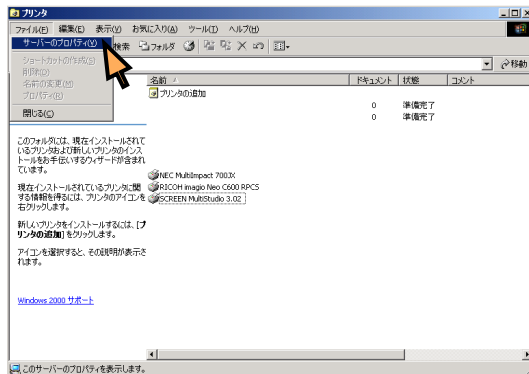
- ① [プリンタ]を開きます。
- ② 「プリンタフォルダー」内にある「NEC MultiCoder 300S2DX」を選択し、[ファイル]→[削除]を選択します。



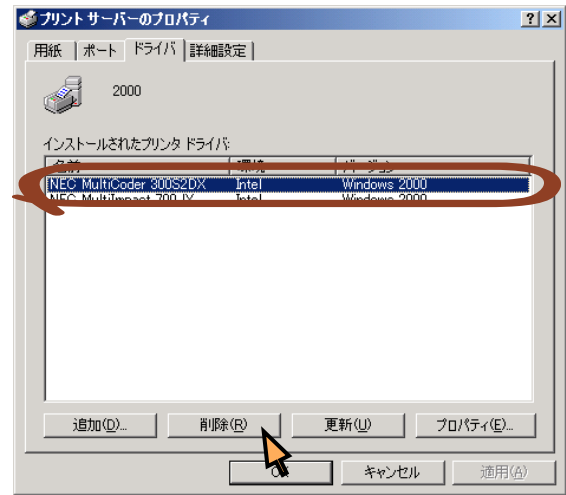
- ③ 「プリンタ'NEC MultiCoder 300S2DX'を削除してもよろしいですか？」画面が表示されますので[はい]を選択します。



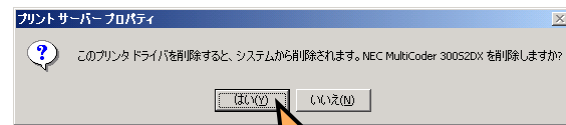
- ④ [ファイル]→[サーバーのプロパティ]を選択します。



- ⑤ [ドライバ]タブをクリックし、「インストールされたプリンタドライバ」リストから「NEC MultiCoder 300S2DX」を選択し[削除]ボタンをクリックします。



- ⑥ 「このプリンタドライバを削除すると、システムから削除されます。NEC MultiCoder 300S2DX を削除しますか？」画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。



- ⑦ ドライバーの削除が終わったら、[閉じる]ボタンをクリックして[プリントサーバーのプロパティ]ダイアログを終了します。



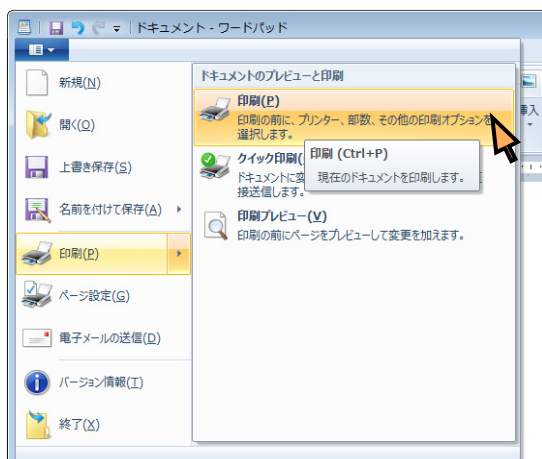
- ⑧ プリンターの電源を OFF にして、パソコンを再起動します。

印刷の手順

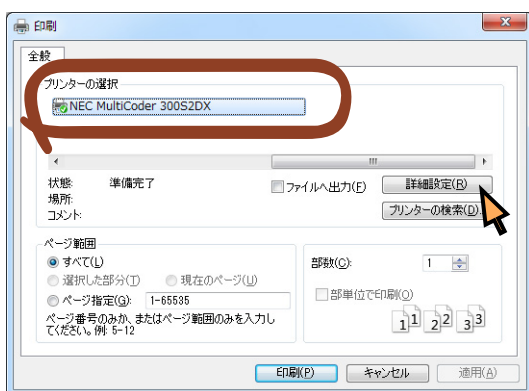
ここでは、Windows 7 の「ワードパッド」を使用した場合を例にとって印刷手順を説明します。ワードパッドの使い方についてはワードパッドのヘルプを参照してください。また、お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる場合があります。

- ① ワードパッドを起動して作成済みの帳票を選び、[印刷] をクリックします。

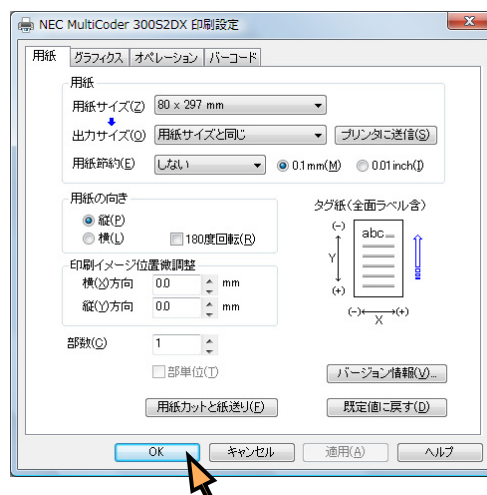
[印刷] ダイアログボックスが開きます。



- ② [プリンターの選択] に「NEC MultiCoder 300S2DX」が表示されていることを確認して[詳細設定] をクリックします。

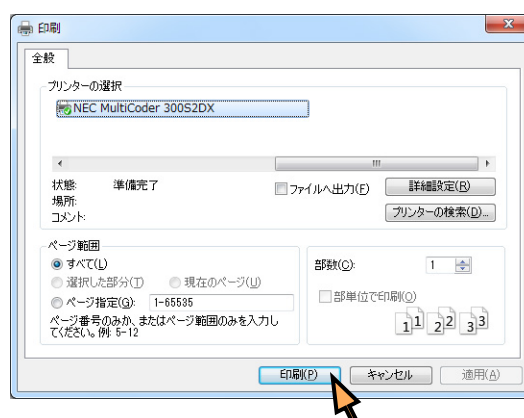


- ③ 用紙サイズなど印刷の設定をして [OK] をクリックします。



- ④ [印刷] をクリックします。

印刷が開始されます。

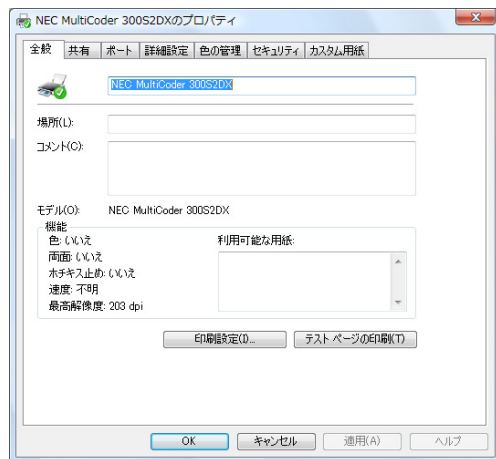


プロパティダイアログボックスで詳細設定を行う

[プロパティ]ダイアログボックスで設定できる方法について、各プロパティシートごとに説明します。
詳細はダイアログボックス右上の[?]ボタンをクリックした後、続けて項目をクリックすることにより表示されるヘルプでも説明されています。*1

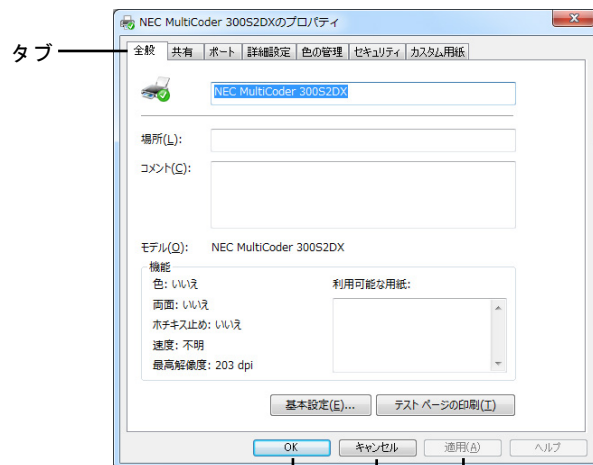
MultiCoder 300S2DX のプロパティダイアログボックスを例にとって説明します。
MultiCoder 300S2DC と選択できるメニューが異なる機能がある場合は個別に説明しています。

プリンターのポートや共有などに関する設定をするダイアログボックスです。次の7枚のプロパティシートから構成されています。



- ・ [全般] シート
- ・ [共有] シート
- ・ [ポート] シート
- ・ [詳細設定] シート
- ・ [色の管理] シート *1
- ・ [セキュリティ] シート *1
- ・ [カスタム用紙] シート

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また各プロパティシート共通に使用されているボタンには以下のような機能があります。



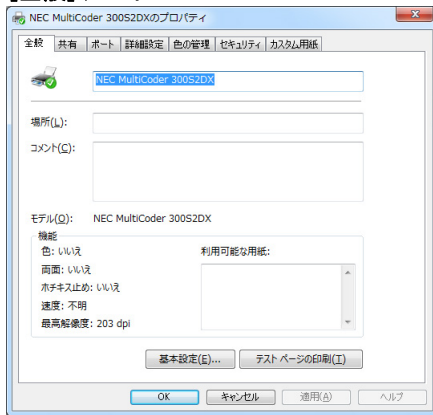
すべての設定を有効にし、
設定を終了します。

現在開いているプロパティシート
内の設定に変更します。

すべての設定を無効にし、変更以前
の状態で設定を終了します。

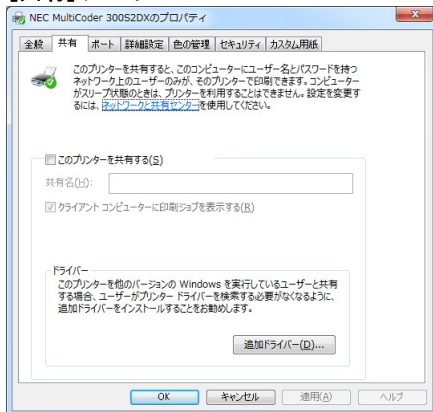
*1 ご使用の OS や設定によって表示されないことがあります。

[全般] シート



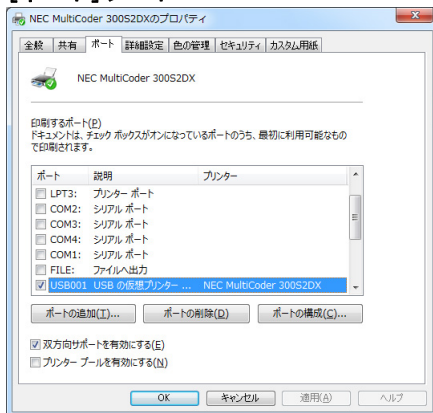
[場所]や[コメント]には印刷の際の参照となる情報を登録しておくことができます。また、プリンターの持つ機能の一覧や印刷設定ダイアログボックスの表示、テストページの印刷などもできます。

[共有] シート



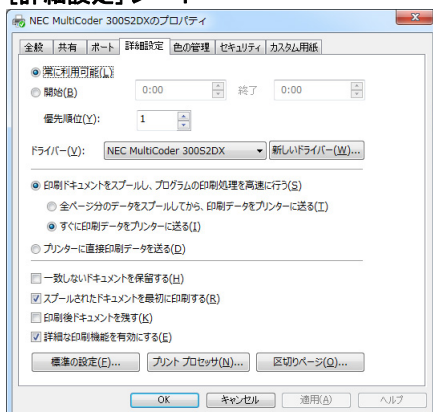
プリンターをネットワーク上の「共有プリンタ」として使用する際にこのシートで設定します。

[ポート] シート



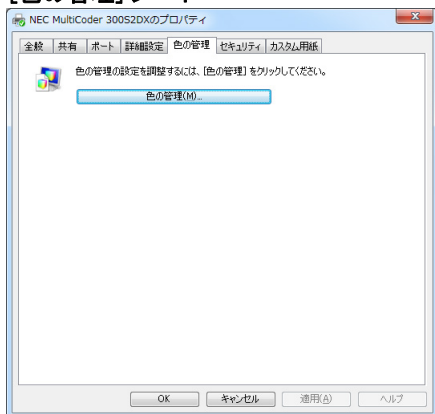
プリンターとコンピュータの接続方法（パラレルポートや USB、ネットワーク）を変更した際などにこのシートで接続先（ポート）の指定をします。「印刷先の変更」（28 ページ）で詳しい手順を説明しています。

[詳細設定] シート



通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。特に説明のない限り、初期状態の設定でご利用ください。

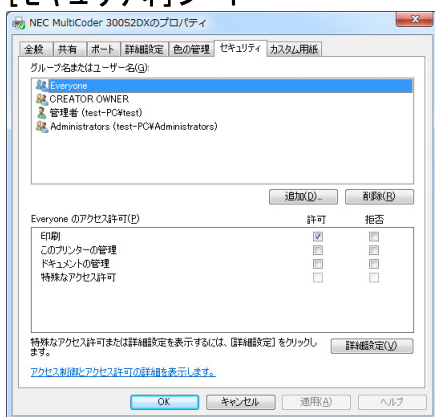
[色の管理]シート



通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

ご使用の OS や設定によって表示されないことがあります。
MultiCoder 300S2D シリーズはカラー印刷に対応していません。

[セキュリティ]シート



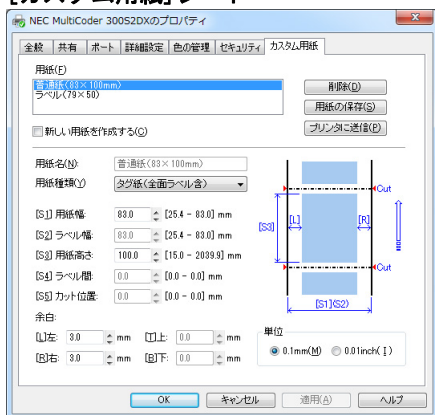
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

ご使用の OS や設定によって表示されないことがあります。



変更の内容によっては印刷の権限を失うなどがあります。変更する前にシステム管理者にお問い合わせの上、設定してください。

[カスタム用紙]シート



印刷する用紙に合わせて、サイズ、種類などを設定し名称をつけてプリンタードライバーに登録します。ユーザー定義用紙に登録する（34ページ）で詳しい手順を説明しています。

印刷先の変更

本プリンターは次のインターフェースをサポートしています。

- USB インターフェース (USBnnn nnn は任意の数字) 29 ページ
- LAN インターフェース (PR-Port Manager) 30 ページ
- パラレルインターフェース (LPT1) 31 ページ
- RS-232C インターフェース (COMn n は任意の数字) 32 ページ

上記のカッコ内に示す「ポート (印刷先)」はプリンタードライバーのインストールの際に登録されます。プリンターの接続先を変更した場合は、プリンターのプロパティダイアログボックスでもポートの設定を変更する必要があります。ここでは Windows 7 日本語版の環境でインストール済みのプリンタードライバーの印刷先を変更する方法について説明します。その他の OS も同じ手順で変更できます (異なる部分については該当する部分で説明を加えています)。

✓ チェック

- 印刷先は添付のソフトウェア CD-ROM を使ったプリンタードライバーのインストール手順の中で設定することもできます。詳しくは「プリンタードライバーのインストール」(2 ページ)を参照してください。
- PR-Port Manager はプリントサーバーソフトウェア CD-ROM からインストールを行ってください。

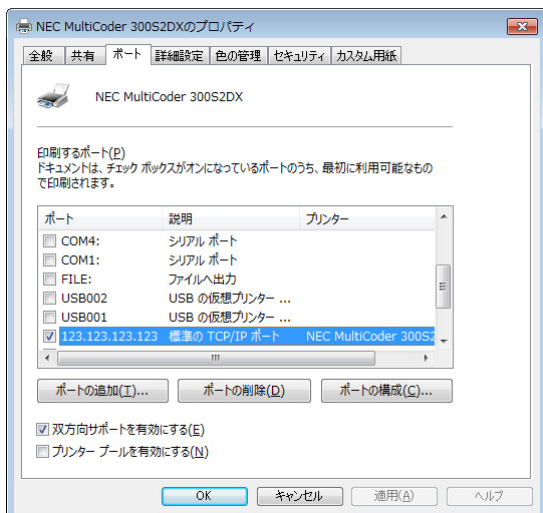
USB インターフェースへの切り替え

プリンタードライバーをインストールする際に接続先を LAN にした設定を USB に切り替える手順です。

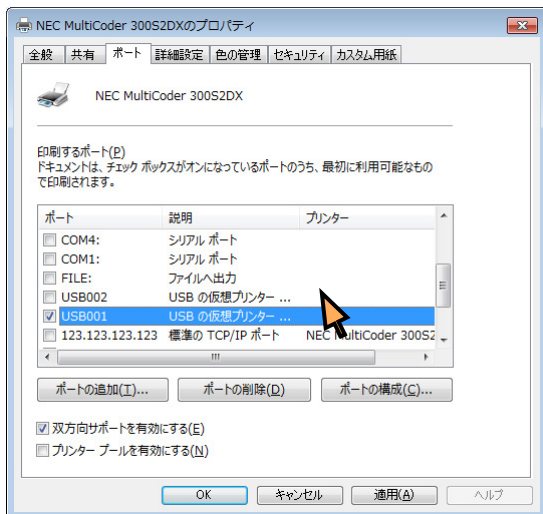
① プリンタードライバーのプロパティを開きます。

(「プリンターフォルダーを表示するには」(vii ページ) 参照)

② [ポート] シートを開きます。

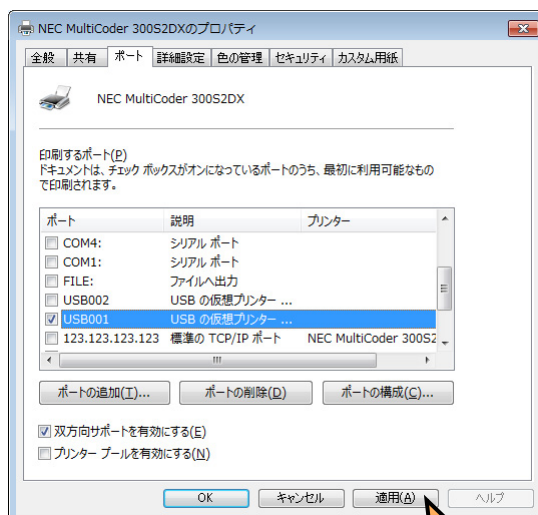


③ [ポート] の一覧から [USBnnn] (nnn は任意の数字) をクリックします。



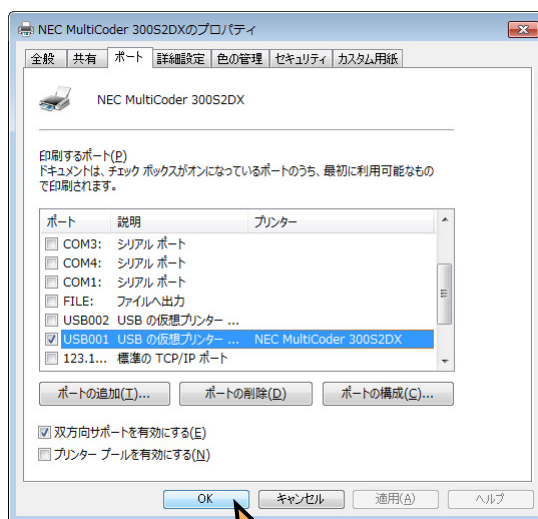
④ [適用] をクリックします。

[プリンター] の欄にプリンタードライバーの名前が表示されます。



⑤ [OK] をクリックします。

印刷先の変更が完了しました。



LAN インターフェースへの切り替え

プリンタードライバーをインストールする際に、接続先を USB としてインストールした設定を LAN に切り替える手順です。LAN への切り替えは LPR (Line Printer Remote)、IPP (Internet Printing Protocol)、の 2 つのプロトコルから選択することができますが、ここでは LPR プロトコルへの切り替え手順を説明します。

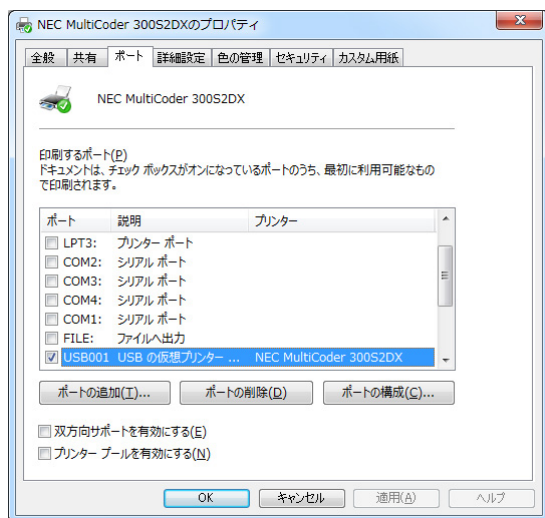
✓ チェック

- PR-Port Manager はプリントサーバーソフトウェア CD-ROM からインストールを行ってください。
- コンピュータには印刷ポートである「PR-Port Manager」がインストールされている必要があります。PR-Port Manager のインストール、および印刷ポートの追加手順の詳細についてはプリントサーバーのマニュアルを参照してください。

① プリンタードライバーのプロパティを開きます。

(「プリンターフォルダーを表示するには」(vii ページ) 参照)

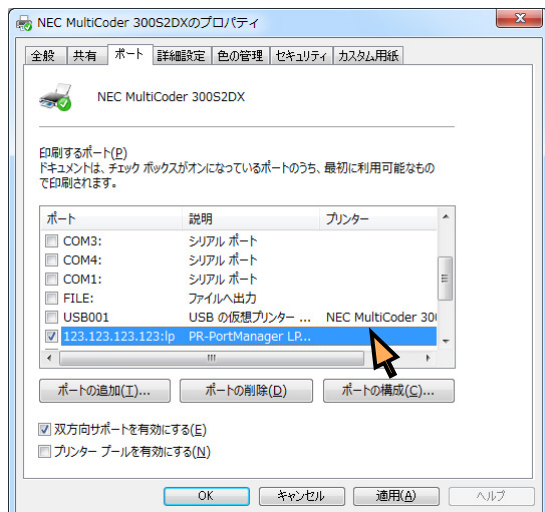
② [ポート] シートを開きます。



③ 設定済みの PR-Port Manager を選択します。

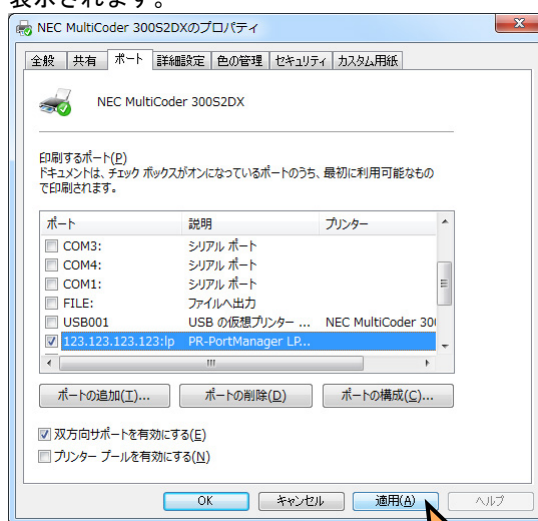
下図は[PR-Port Manager]で IP アドレスが[123. 123. 123. 123]に設定された PR-Port Manager を選択している場合の例です。

使用するポートが一覧にない場合は、[ポートの追加]をクリックして新しいポートを作成してください。作成手順の詳細はプリントサーバーのマニュアルを参照してください。

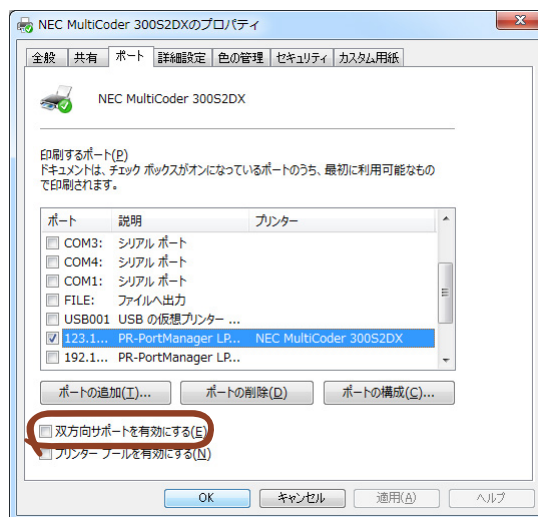


④ [適用] をクリックします。

[プリンター] の欄にプリンタードライバーの名前が表示されます。



⑤ 「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。



⑥ [OK] をクリックします。

印刷先の変更が完了しました。

パラレルインターフェースへの切り替え

プリンタードライバーをインストールする際に接続先を USB にした設定をパラレルインターフェースに切り替える手順です。



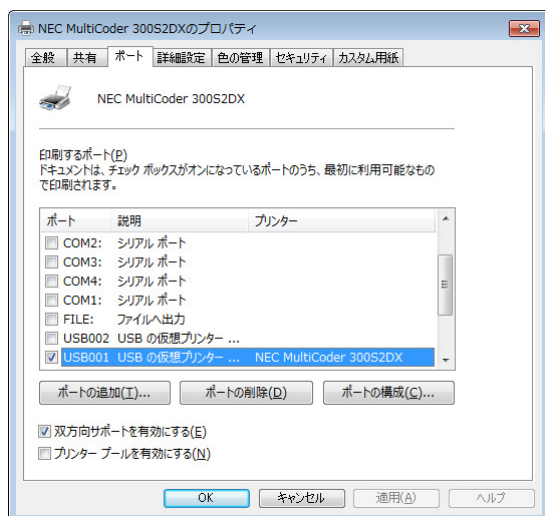
チェック

パラレルインターフェースモデルのみパラレルインターフェースを使用することができます。

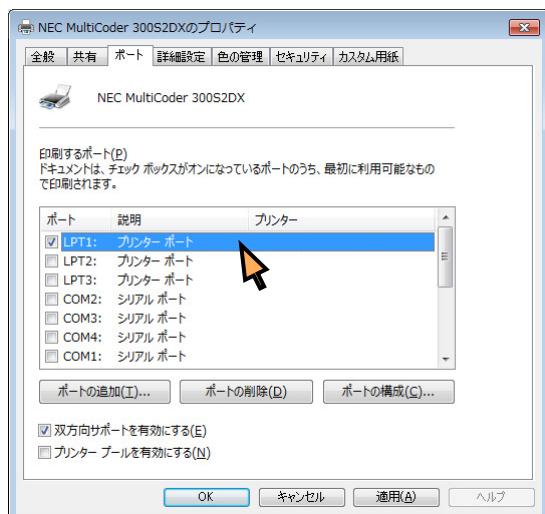
① プリンタードライバーのプロパティを開きます。

(「プリンターフォルダーを表示するには」(vii ページ) 参照)

② [ポート] シートを開きます。

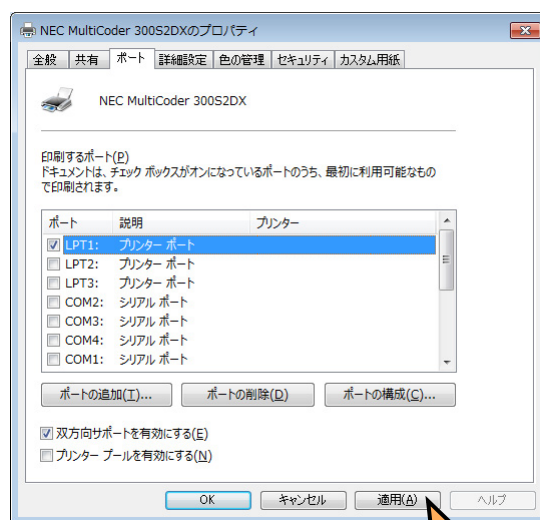


③ [ポート] の一覧から [LPT1] をクリックします。



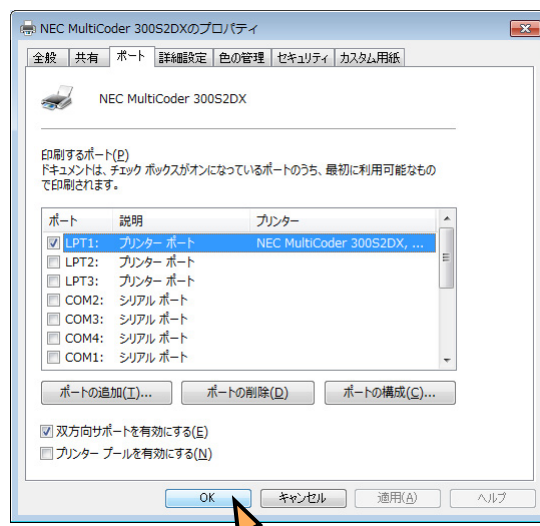
④ [適用] をクリックします。

[プリンター] の欄にプリンタードライバーの名前が表示されます。



⑤ [OK] をクリックします。

印刷先の変更が完了しました。



RS-232C インターフェースへの切り替え

プリンタードライバーをインストールする際に接続先をUSBにした設定をRS-232C インターフェースに切り替える手順です。

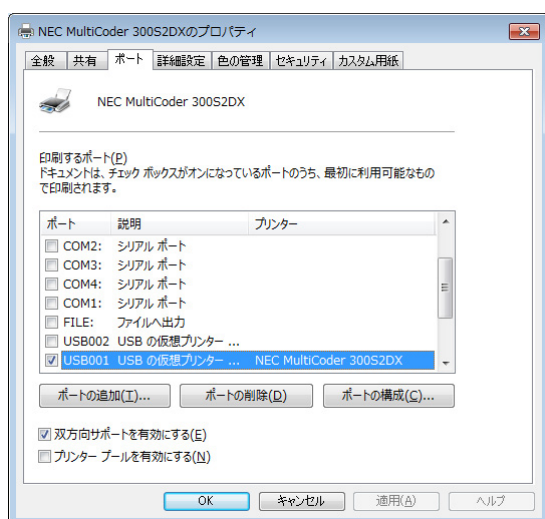


USB + RS-232C モデルのみ RS-232C インターフェースを使用することができます。

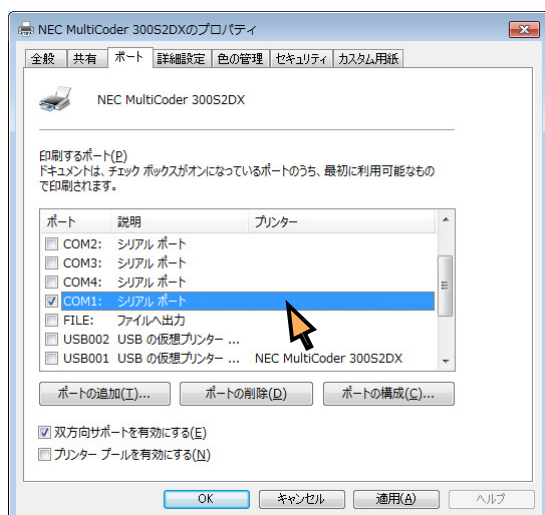
① プリンタードライバーのプロパティを開きます。

(「プリンターフォルダーを表示するには」(vii ページ) 参照)

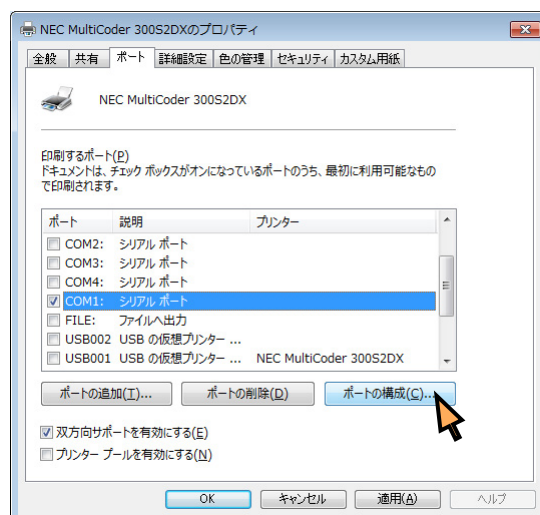
② [ポート] シートを開きます。



③ [ポート] の一覧から [COMn] (n は任意の数字) をクリックします。



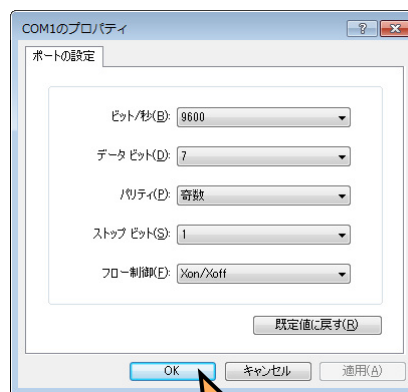
④ [ポートの構成] をクリックします。



⑤ [ポートの設定] にある各項目を装置の設定に合わせます。

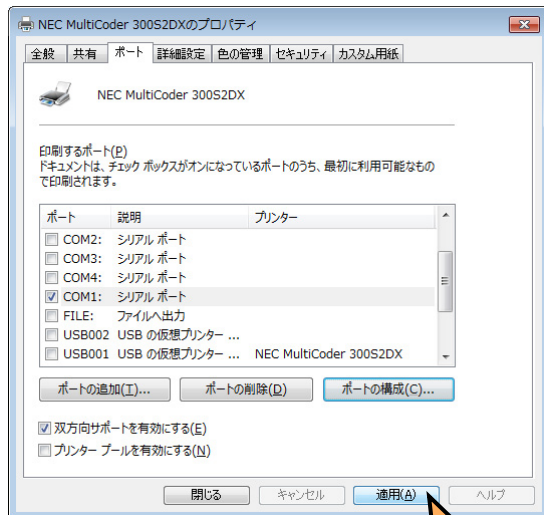
装置の設定はユーザーズマニュアル3章または「リモートパネル」の章を参照してください。

⑥ [OK] をクリックします。

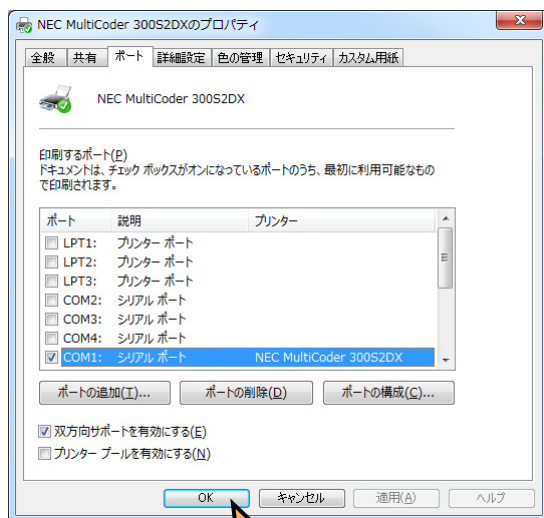


⑦ [適用] をクリックします。

[プリンター] の欄にプリンタードライバーの名前が表示されます。

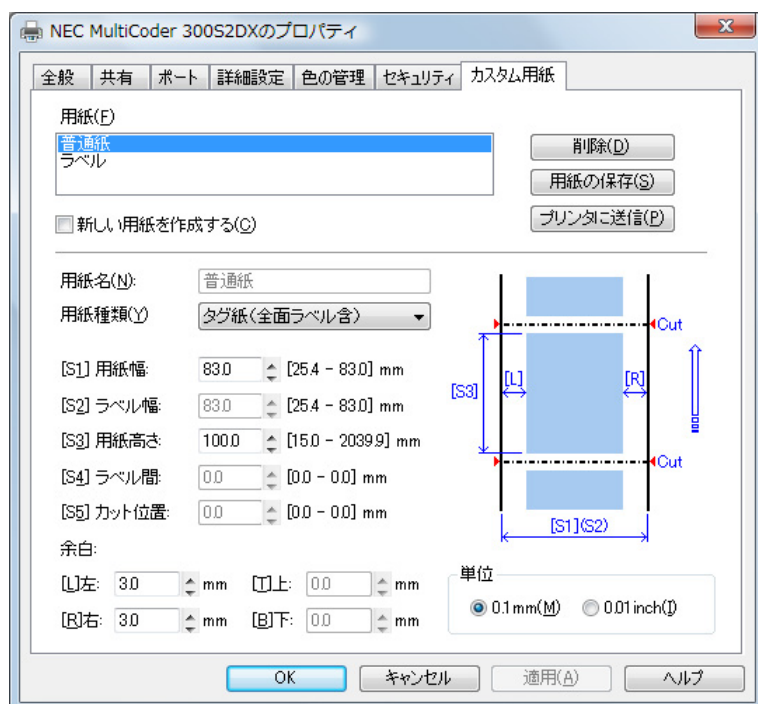
**⑧** [OK] をクリックします。

印刷先の変更が完了しました。



ユーザー定義用紙を登録する

印刷する用紙に合わせて、サイズ、種類などを設定し、名称をつけてプリンタードライバーに登録します。これにより、アプリケーションから新しい用紙が利用可能になります。登録はカスタム用紙タブで行います。



[カスタム用紙]タブの設定変更を行うためには、管理者権限が必要です。
[管理者として実行]から「NEC MultiCoder 300S2DX のプロパティ」を開いてください。（[全般]タブに、[プロパティの変更]ボタンが表示されている場合には、[プロパティの変更]ボタンをクリックしてください。）

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲
用紙	登録されているカスタム用紙の一覧を表示します。
新しい用紙を作成する	新しい用紙を作成するときにチェックします。 登録済みの用紙（[用紙]のリストで選択している用紙）を編集する際は、チェックを外します。
削除	[用紙]のリストで選択している用紙を削除します。
用紙の保存	用紙を保存します。 [新しい用紙を作成する]をチェックしている場合は、[用紙]のリストに新しく用紙が追加されます。チェックをしていない場合は、[用紙]のリストで選択している用紙に上書きされます。
プリンターに送信	[用紙]のリストで選択している用紙の設定情報をプリンターに送信し、プリンターの用紙レイアウト設定を行います。 ※通常は印刷時に用紙レイアウト情報が送信されるため、送信する必要はありません。 ※MultiCoder 300S2DC は使用できません。
用紙名	作成する用紙の名前を指定します。 用紙名はユニークな名前をつけることができます。 [新しい用紙を作成する]をチェックした際に入力できるようになります。 ※MultiCoder 300S2DC は使用できません。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲
用紙種類	作成または変更する用紙の種類を指定します。 選択項目 タグ紙（全面ラベル含） ラベル紙 黒マーク紙 ※MultiCoder 300S2DC はタグ紙（全面ラベル含）のみ選択できます。
[S1] 用紙幅	作成または変更する用紙の幅を指定します。 登録済みカスタム用紙が選択されているときは、そのカスタム用紙の幅が表示されます。 設定範囲 25.4～83.0mm (1.00～3.27inch)
[S2] ラベル幅	作成または変更するラベルの幅を指定します。 登録済みカスタム用紙が選択されているときは、そのカスタム用紙のラベル幅が表示されます。 本設定は、[用紙種類]に「ラベル紙」を選択しているときに指定が可能です。
[S3] 用紙高さ	作成または変更する用紙の高さを指定します。 登録済みカスタム用紙が選択されているときは、そのカスタム用紙の高さが表示されます。 設定範囲 タグ紙（全面ラベル含）：15.0～2039.9mm(0.59～80.31inch) ラベル紙：15.0～127.0mm(0.59～5.00inch) 黒マーク紙：15.0～300.0mm(0.59～11.81inch)
[S4] ラベル間 [S4] BM 長	作成または変更する用紙のラベル間の距離、または、黒マーク長を指定します。 登録済みカスタム用紙が選択されているときは、そのカスタム用紙の設定値が表示されます。 本設定は、[用紙種類]に「ラベル紙」、「黒マーク紙」を選択しているときに指定が可能です。 「ラベル紙」のときは、[S4]ラベル間、 「黒マーク紙」のときは、[S4]BM 長になります。 設定範囲 ラベル紙：ラベル間 3.0～10.0mm(0.12～0.39inch) 黒マーク紙：BM長 5.0～5.5mm(0.20～0.22inch)
[S5] カット位置	作成または変更する用紙のカット位置を指定します。 登録済みカスタム用紙が選択されているときは、そのカスタム用紙の設定値が表示されます。 本設定は、[用紙種類]に「ラベル紙」、「黒マーク紙」を選択している時に指定が可能です。
余白 [L] 左 [R] 右 [T] 上 [B] 下	作成または変更する用紙の余白（左/右/上/下）を指定します。 登録済みカスタム用紙が選択されているときは、そのカスタム用紙の余白値が表示されます。
単位	作成または変更する用紙の単位を指定します。 設定項目 0.1mm：ミリメートル単位で表示します。 0.01inch：インチ単位で表示します。

プリンタードライバーにユーザー定義用紙を登録する手順

① [新しい用紙を作成する]にチェックをつけます。

② [用紙名]に作成する用紙名を入力します。

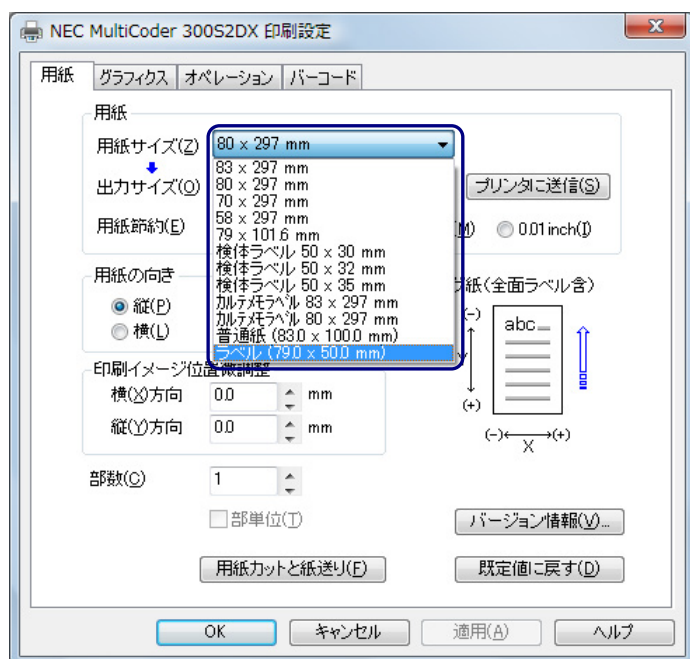
※用紙名はすでに登録されている用紙名以外を指定してください。

③ [用紙種類]と[単位]を選択し、レイアウト図を参考に用紙のサイズや余白量について、[S1][S2][S3][S4][S5][L][R][T][B]の値を入力します。[S5]カット位置については、そのままお使いください。

※単位を変更した場合、0.1mmの演算誤差が発生する場合があります。
その際は、再度設定してください。

④ [用紙の保存]ボタンをクリックします。
作成した用紙が[用紙]に表示されます。

※登録した用紙は、[印刷設定]画面の[用紙サイズ]に列挙され、印刷時に指定することができます。



左図は、「タグ紙(83.0 x 100.0mm)」と「ラベル(79.0 x 50.0mm)」のカスタム用紙が登録された例です。

※幅のサイズには、[S2]ラベル幅が反映されます。
アプリケーションへは、ここで表示される幅、高さが通知されます。

※最大印刷範囲は装置の左端 1.0mm の位置から 80.0mm です。

左端から 80.1mm を超えた位置は印刷できません。

したがって、用紙幅 83.0mm で余白を 1.0mm とした場合、右端 2.0mm は印刷できません。

印刷の詳細設定

ここでは Windows 7 日本語版のプリンタードライバーを中心に説明します。その他の OS をお使いの場合は、画面の表示が多少異なりますが、プリンタードライバーが提供する機能はほとんど同じです。OS によって異なる機能やメニュー項目については該当の部分で説明を加えています。

[印刷設定]ダイアログボックスを開く

印刷設定ダイアログボックスを呼び出す方法は次の 2 通りあります。

[スタート]ボタンを使って呼び出す

- ① [プリンター] フォルダを開きます。
詳しくは、「プリンターフォルダを表示するには」(vii ページ) を参照してください。
- ② MultiCoder 300S2DX のアイコンを右クリックします。
- ③ プルダウンメニューの[印刷設定]を選択します。

アプリケーションから呼び出す

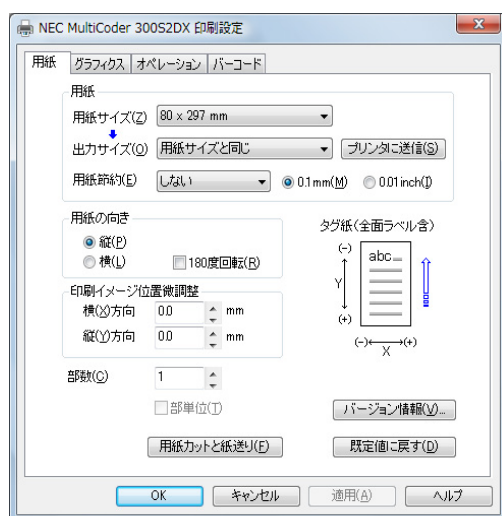
アプリケーションの [ファイル] メニューの [印刷] または [プリンターの設定] を使います。(ほとんどの場合、[ファイル] メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

アプリケーション内で設定した内容は、アプリケーション内でのみ有効です。

[印刷設定]ダイアログボックスで詳細設定を行う

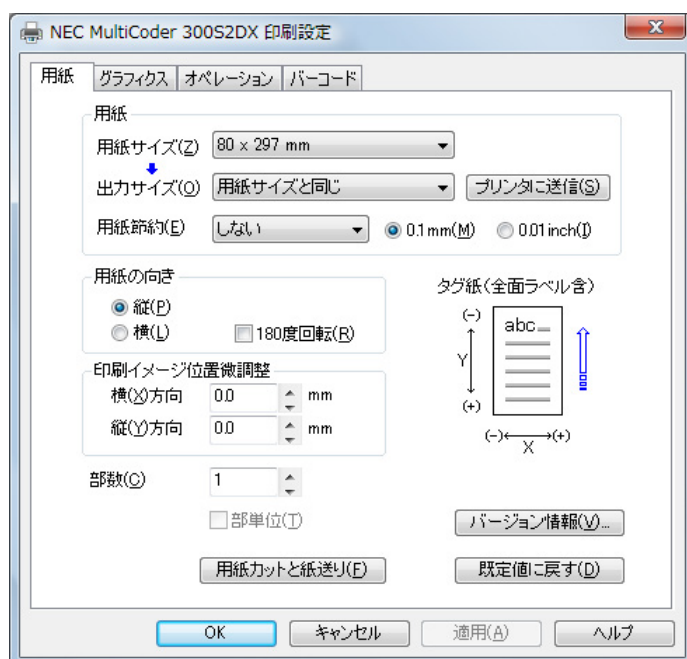
[印刷設定] ダイアログボックス

印刷の詳細な設定をするダイアログボックスです。次のプロパティシートから構成されています。

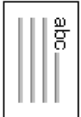


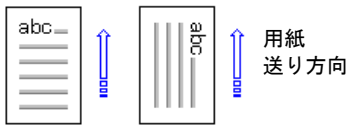
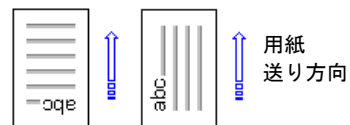
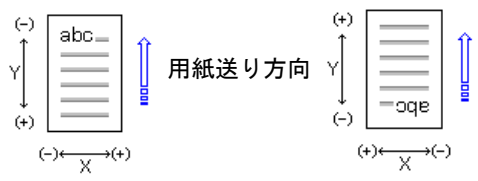
- ・ [用紙] シート
- ・ [グラフィックス] シート
- ・ [オペレーション] シート
- ・ [バーコード] シート

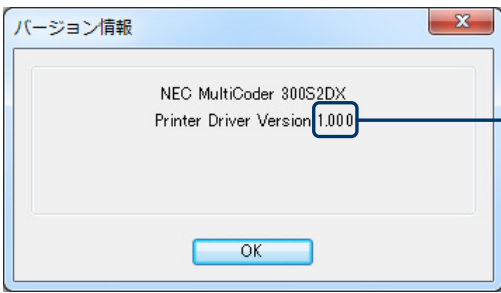
[用紙] シート



設定項目名	説明・選択項目・設定範囲 (* : 初期値)
用紙サイズ	<説明> 使用する用紙サイズを指定します。 指定された用紙の種類については、用紙イメージ表示部に表示されます。 [定型紙]と[カスタム用紙]で登録した用紙が列挙表示され、指定が可能です。定型紙は 41 ページを参照してください。 カスタム用紙の場合、用紙名に続けて用紙のサイズが表示されます。この際、表示する単位を [0.1mm]/[0.01inch] から指定可能です。
出力サイズ	<説明> 印刷(出力)する用紙のサイズに合わせて縮小印刷を行うかどうかを指定します。 <選択項目> * 用紙サイズと同じ [用紙サイズ]で設定している用紙と同じサイズを印刷に使用します。縮小印刷は行わず等倍で印刷されます。(通常印刷) <用紙サイズよりも小さい用紙> 指定した用紙に合わせて縮小印刷を行います。 指定可能な用紙は、[用紙サイズ]で選択されている用紙と同じ種類で、印刷エリアが小さい用紙になります。 <備考> - 本設定は、「用紙節約」で、[しない]を選択している場合に指定が可能です。 - 縮小印刷時の注意事項 - 極端に小さい倍率が指定された場合、文字がつぶれて印刷される等、印刷品質に影響を与えることがあります。用紙イメージ表示部に表示される倍率をご確認のうえ印刷してください。 - 本プリンタドライバが持つバーコード、および、ロゴについては、縮小しないで印刷します。縮小した用紙にバーコードが収まらなかった場合、そのバーコードは印刷されません。また、印刷位置によっては、バーコードと他の印刷データが重なって印刷されることがあります。このような場合は、バーコードのサイズや印刷位置を調整して印刷してください。
プリンタに送信	[出力サイズ] のリストで選択している用紙の設定情報をプリンタに送信し、プリンタの用紙レイアウト設定を行います。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲（*：初期値）
用紙節約	<説明> 印刷データを縦方向に縮小して、用紙を節約するかどうかを指定します。 <選択項目> * しない 用紙節約を行わずに印刷します。（通常印刷） 1/4 節約 用紙を縦方向に 1/4 節約して印刷します。 1/2 節約 用紙を縦方向に 1/2 節約して印刷します。 <備考> ・本設定は、「出力サイズ」で［用紙サイズと同じ］を選択している場合に指定が可能です。 ・[1/4 節約] [1/2 節約] を指定した場合、用紙下部の空白行は自動的に削除して印刷されます。 ・節約（縮小）印刷時の注意事項 ・印刷する文字のサイズや種類によっては、文字がつぶれて印刷される等、印刷品質に影響を与えることがあります。あらかじめ印刷確認を行ったうえでご使用ください。 ・本プリンタドライバが持つバーコードとロゴについては、縮小しないで印刷されます。縮小した用紙にバーコードが収まらなかった場合、そのバーコードは印刷されません。また、印刷位置によっては、バーコードと他の印刷データが重なって印刷されることがあります。このような場合は、バーコードのサイズや印刷位置を調整して印刷してください。
用紙の向き	<説明> ドキュメントを印刷する向きを指定します。 <選択項目> * 縦 用紙を縦にして印刷します。  用紙送り方向 横 用紙を横にして印刷します。  用紙送り方向

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲 (* : 初期値)
180 度回転	<説明> 印刷イメージを 180 度回転して印刷するかを指定します。 <選択項目> * オフ (未チェック) 印刷イメージを 180 度回転しないで印刷します。 用紙の向き=縦 横  用紙送り方向 オン (チェック) 印刷イメージを 180 度回転して印刷します。 用紙の向き=縦 横  用紙送り方向
印刷位置調整	<説明> 印刷開始位置を微調整します。 横 (X) 方向 用紙送り方向に対し横方向の印刷位置を調整します。マイナスの値を指定した場合、左余白が減り、プラスの値を指定した場合、左余白が増えます。 縦 (Y) 方向 用紙送り方向に対し縦方向の印刷位置を調整します。マイナスの値を指定した場合、上余白が減り、プラスの値を指定した場合、上余白が増えます。 <設定範囲> ±用紙幅と高さ (*初期値 : 0.0mm)  現在選択されている用紙幅/高さまで設定可能
部数	<説明> 印刷する部数を指定します。 <設定範囲> 1~999 (*初期値 : 1)
部単位	<説明> 複数部数を印刷するときに、文書単位で部数を印刷するか、ページ単位で部数を印刷するかを指定します。 <選択項目> * オフ (未チェック) ページ単位で複数部数を印刷します。  オン (チェック) 文書単位で複数部数を印刷します。 
用紙カットと紙送り	[用紙カットと紙送り] ダイアログを開きます。 [用紙カットと紙送り] ダイアログの説明は、42 ページを参照してください。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲（*：初期値）
バージョン情報	[バージョン情報]ダイアログを開きます。  本プリンタードライバーのバージョンが表示されます。
既定値に戻す	[用紙]タブ内の設定を既定値（初期値）に戻します。

定型紙の用紙サイズ

MultiCoder 300S2DX の定型サイズ（*：初期値）

用紙サイズ (ラベル幅×用紙高さ)	用紙種類	用紙幅 (台紙含む)	ラベル間 (黒マーク長)	左余白	右余白	上余白	下余白
83 x 297 mm	タグ紙(全面ラベル含む)	83.0mm	0.0mm	1.0mm	2.0mm	0.0mm	0.0mm
* 80 x 297 mm	タグ紙(全面ラベル含む)	80.0mm	0.0mm	4.0mm	4.0mm	0.0mm	0.0mm
70 x 297 mm	タグ紙(全面ラベル含む)	70.0mm	0.0mm	3.0mm	3.0mm	0.0mm	0.0mm
58 x 297 mm	タグ紙(全面ラベル含む)	58.0mm	0.0mm	3.0mm	2.5mm	0.0mm	0.0mm
79 x 101.6 mm	ラベル紙	83.0mm	5.0mm	3.0mm	3.0mm	1.5mm	1.5mm
検体ラベル 50 × 30mm	ラベル紙	53.0mm	3.0mm	0.0mm	0.0mm	1.5mm	1.5mm
検体ラベル 50 × 32mm	ラベル紙	53.0mm	3.0mm	0.0mm	0.0mm	1.5mm	1.5mm
検体ラベル 50 × 35mm	ラベル紙	53.0mm	3.0mm	0.0mm	0.0mm	1.5mm	1.5mm
カルテメモラベル 83 × 297mm	タグ紙(全面ラベル含む)	83.0mm	0.0mm	1.0mm	2.0mm	0.0mm	0.0mm
カルテメモラベル 80 × 297mm	タグ紙(全面ラベル含む)	80.0mm	0.0mm	2.0mm	2.0mm	0.0mm	0.0mm

MultiCoder 300S2DC の定型サイズ（*：初期値）

用紙サイズ (用紙幅×用紙高さ)	用紙種類	用紙幅	左余白	右余白	上余白	下余白
83 x 297 mm (53 桁)	タグ紙(全面ラベル含む)	83.0mm	1.0mm	2.0mm	0.0mm	0.0mm
* 80 x 297 mm (48 桁)	タグ紙(全面ラベル含む)	80.0mm	4.0mm	4.0mm	0.0mm	0.0mm
80 x 297 mm (42 桁)	タグ紙(全面ラベル含む)	80.0mm	8.0mm	8.0mm	0.0mm	0.0mm
60 x 297 mm (36 桁)	タグ紙(全面ラベル含む)	60.0mm	3.0mm	2.5mm	0.0mm	0.0mm
58 x 297 mm (35 桁)	タグ紙(全面ラベル含む)	58.0mm	3.0mm	2.5mm	0.0mm	0.0mm
58 x 297 mm (32 桁)	タグ紙(全面ラベル含む)	58.0mm	5.0mm	5.0mm	0.0mm	0.0mm

[用紙カットと紙送り] ダイアログボックス

MultiCoder 300S2DX

用紙カットと紙送り

印刷開始時
用紙カット(O) カットしない
紙送り(P)

ページ間
用紙カット(U) カットする(フルカット)
紙送り(E)

印刷終了時
用紙カット(I) カットする(フルカット)
紙送り(E)

上端印刷位置(O) 11.5mm
余白なし(S) する
白紙ページスキップ(K) しない

☐ サポート外
設定で印刷する(R)

OK キャンセル 既定値に戻す(D) ヘルプ(H)

MultiCoder 300S2DC

用紙カットと紙送り

印刷開始時
用紙カット(O) カットしない
紙送り(P)

ページ間
用紙カット(U) カットする(パーシャルカット)
紙送り(E)

印刷終了時
用紙カット(I) カットする(パーシャルカット)
紙送り(E)

上端印刷位置(O) 11.5mm
余白なし(S) する
白紙ページスキップ(K) しない

☐ サポート外
設定で印刷する(R)

OK キャンセル 既定値に戻す(D) ヘルプ(H)

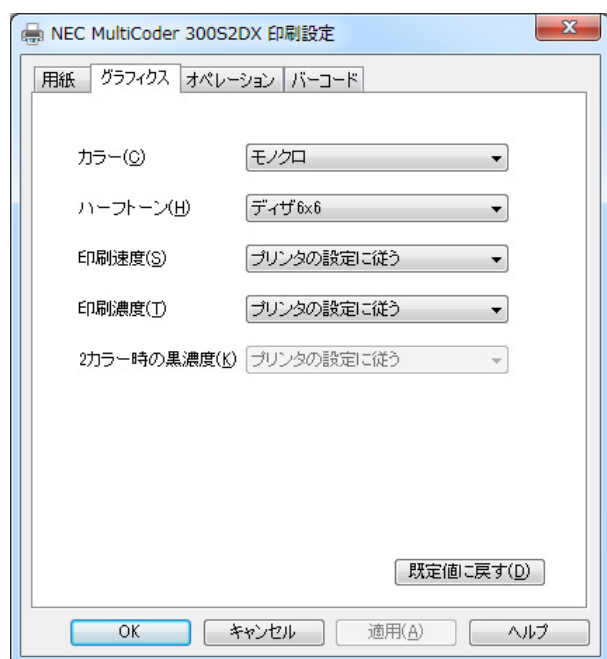
設定項目名	説明・選択項目・設定範囲 (* : 初期値)
印刷開始時	印刷開始時の用紙カットと紙送りについて指定します。
用紙カット	<説明> 印刷開始時に用紙をカットするかどうかを指定します。 <選択項目> * カットしない カットする (フルカット) (MultiCoder 300S2DX のみ) カットする (パーシャルカット) (MultiCoder 300S2DC のみ) <備考> [用紙種類]が「ラベル紙」「黒マーク紙」の場合、「フルカット」を指定した際は、用紙カット位置まで紙送りを行いカットします。
紙送り	<説明> 印刷開始時に指定の場所まで紙送りを行うかどうかを指定します。(MultiCoder 300S2DX のみ) <選択項目> 紙送りしない * 用紙先頭位置 <備考> 本設定は、[用紙種類]が「ラベル紙」「黒マーク紙」の用紙を選択している場合に指定が可能です。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲（*：初期値）
ページ間	ページ間における用紙カットと紙送りについて指定します。
用紙カット	<説明> ページ間で用紙をカットするかどうかを指定します。 <選択項目> カットしない * カットする（フルカット）（MultiCoder 300S2DX） カットする（パーシャルカット）（MultiCoder 300S2DC） <備考> [用紙種類]が「ラベル紙」「黒マーク紙」の場合、「フルカット」を指定した際は、用紙カット位置まで紙送りを行いカットします。
紙送り	<説明> ページ間において、指定の場所まで紙送りを行うかどうかを指定します。 （MultiCoder 300S2DX のみ） <選択項目> 紙送りしない * 用紙先頭位置 <備考> 本設定は、[用紙種類]が「ラベル紙」「黒マーク紙」の用紙を選択している場合に指定が可能です。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲（*：初期値）
印刷終了時	印刷終了時の用紙カットと紙送りについて指定します。
用紙カット	<説明> 印刷終了時に用紙をカットするかどうかを指定します。 <選択項目> カットしない * カットする（フルカット）（MultiCoder 300S2DX） カットする（パーシャルカット）（MultiCoder 300S2DC） <備考> [用紙種類]が「ラベル紙」「黒マーク紙」の場合、「フルカット」を指定した際は、用紙カット位置まで紙送りを行いカットします。
紙送り	<説明> 印刷終了時に指定の場所まで紙送りを行うかどうかを指定します。（MultiCoder 300S2DX のみ） <選択項目> * 紙送りしない 用紙先頭位置 ハクリ位置 手切り位置 <備考> 本設定は、[用紙種類]が「ラベル紙」「黒マーク紙」の用紙を選択している場合に指定が可能です。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲 (* : 初期値)
上端印刷位置	<説明> タグ紙(全面ラベル含)に印刷する際の、用紙上端からの印刷位置を指定します。 <選択項目> * 11.5mm 1.5mm(品質優先) (MultiCoder 300S2DX のみ) 1.5mm(速度優先) (MultiCoder 300S2DX のみ) 4.5mm (MultiCoder 300S2DC のみ) <備考> ・本設定は、[用紙種類]が「タグ紙(全面ラベル含)」の用紙を選択している場合に指定が可能です。 ・4.5mm の設定について、事前に「プリンタードライバーの設定に関する注意事項」(59 ページ)の内容を確認してください。
余白	<説明> 用紙送り方向の下部に印刷データがない場合、紙送りを行わずに用紙を節約するかどうかを指定します。 <設定項目> しない : ページ内で印刷データがなくなっても、指定された用紙長の位置まで紙送りを行います。 (用紙長優先) * する : ページ内で印刷データがなくなった際に紙送りを行わず用紙を節約します。 <備考> [用紙種類]が「ラベル紙」「黒マーク紙」の用紙を選択している場合に、用紙カットや紙送りを指定した際は、指定の位置まで紙送りを行うため本設定を「する」に指定しても節約は行われません。
白紙ページスキップ	<説明> 印刷するページが白紙のときに、そのページを出力せずに用紙を節約するかどうかを指定します。 <設定項目> * しない する
サポート外用の紙が指定された際にドライバーの用紙設定で印刷する	<説明> サポート外用の紙が指定された際にドライバーの用紙設定で印刷するかどうかを指定します。 <設定項目> オン : プリンタードライバーの設定で印刷されます。 * オフ : 89×297mm で印刷されます。
OK	本ダイアログボックスを閉じ、変更内容を保存します。
キャンセル	変更内容を保存せずに、本ダイアログボックスを閉じます。
既定値に戻す	[用紙カットと紙送り]ダイアログボックス内の設定を既定値(初期値)に戻します。
ヘルプ	本ダイアログボックスのヘルプを表示します。

[グラフィクス] シート



設定項目名	説明・選択項目・設定範囲 (* : 初期値)
カラー	<説明> カラーモードを指定します。 <選択項目> * モノクロ : モノクロで印刷します。 2カラー : 2色のカラーで印刷します。 <備考> 「2 カラー」で印刷する場合は、2 色対応用紙をお使いください。
ハーフトーン	<説明> カラーをモノクロに変換する際の網模様を指定します。 <選択項目> * ディザ 6x6 : イメージが細かな網模様で印刷されます。表現できる階調は少なくなります。 ディザ 8x8 : イメージが粗めの網模様で印刷されます。表現できる階調は多くなります。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲（※：初期値）																																			
印刷速度	<説明> 印刷速度を指定します。 <選択項目> * プリンターの設定に従う：プリンターに記憶された印刷速度で印刷します。 9th：指定された印刷速度に従って印刷します。 ：印刷速度はそれぞれ下記のとおりです。 1st <table><tr><td></td><td>MultiCoder</td><td>MultiCoder</td></tr><tr><td></td><td>300S2DX</td><td>300S2DC</td></tr><tr><td>9th</td><td><u>260mm/s</u></td><td><u>260mm/s</u></td></tr><tr><td>8th</td><td>220</td><td>240</td></tr><tr><td>7th</td><td>180</td><td>220</td></tr><tr><td>6th</td><td>160</td><td>200</td></tr><tr><td>5th</td><td>140</td><td>180</td></tr><tr><td>4th</td><td>120</td><td>160</td></tr><tr><td>3rd</td><td>100</td><td>140</td></tr><tr><td>2nd</td><td>80</td><td>120</td></tr><tr><td>1st</td><td><u>60</u></td><td><u>100</u></td></tr></table>				MultiCoder	MultiCoder		300S2DX	300S2DC	9th	<u>260mm/s</u>	<u>260mm/s</u>	8th	220	240	7th	180	220	6th	160	200	5th	140	180	4th	120	160	3rd	100	140	2nd	80	120	1st	<u>60</u>	<u>100</u>
	MultiCoder	MultiCoder																																		
	300S2DX	300S2DC																																		
9th	<u>260mm/s</u>	<u>260mm/s</u>																																		
8th	220	240																																		
7th	180	220																																		
6th	160	200																																		
5th	140	180																																		
4th	120	160																																		
3rd	100	140																																		
2nd	80	120																																		
1st	<u>60</u>	<u>100</u>																																		
印刷濃度	<説明> 印刷濃度を指定します。 <選択項目> * プリンターの設定に従う：プリンターに記憶された印刷濃度で印刷します。 130%（濃い）：指定された印刷濃度で印刷します。 ：130%（濃い）から 70%（薄い）まで、5%単位で指定が可能です。 70%（薄い）																																			
2 カラー時の黒濃度	<説明> 2 色で印刷する際の黒の濃度を指定します。 <選択項目> * プリンターの設定に従う：プリンターに記憶された印刷濃度で印刷します。 130%（濃い）：指定された印刷濃度で印刷します。 ：130%（濃い）から 70%（薄い）まで、5%単位で指定が可能です。 70%（薄い） <備考> 本設定は、[カラー]設定で「2 カラー」を選択している場合に指定が可能です。																																			
既定値に戻す	[グラフィクス]タブ内の設定を既定値（初期値）に戻します。																																			

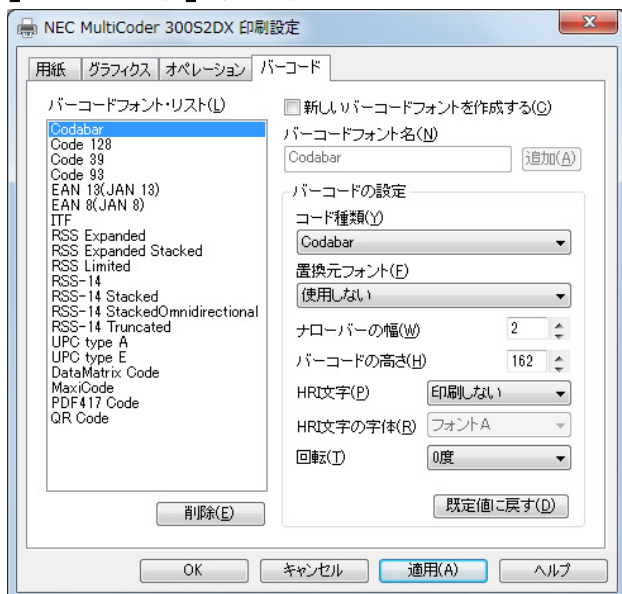
[オペレーション] シート

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲 (* : 初期値)
ドロワーキック	ドロワーのキック動作を指定します。
ドロワー#1	<説明> ドロワー#1 のキック動作を指定します。 <選択項目> * オープンしない : ドロワー#1 をオープンしません。 印刷開始 : 印刷開始時にドロワー#1 をオープンします。 印刷終了 : 印刷終了時にドロワー#1 をオープンします。
パルス時間	<説明> ドロワー#1 をオープンするときのキックする時間を ms 単位で指定します。 <設定範囲> * 20ms (レンジ : 20ms) 500ms
ドロワー#2	<説明> ドロワー#2 のキック動作を指定します。 <選択項目> * オープンしない : ドロワー#2 をオープンしません。 印刷開始 : 印刷開始時にドロワー#2 をオープンします。 印刷終了 : 印刷終了時にドロワー#2 をオープンします。
パルス時間	<説明> ドロワー#2 をオープンするときのキックする時間を ms 単位で指定します。 <設定範囲> * 20ms (レンジ : 20ms) 500ms

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲（*：初期値）
ブザー	ブザーの鳴動を指定します。
ブザー	<説明> ブザーをどのタイミングで鳴動させるかを指定します。 <選択項目> * 鳴動しない：ブザーは鳴動しません。 印刷開始：印刷開始時に鳴動します。 印刷終了：印刷終了時に鳴動します。
鳴動時間	<説明> 鳴動する時間を ms 単位で設定します。 <設定範囲> 10ms (レンジ：10ms) * 50ms (レンジ：10ms) 500ms
ロゴプリント	<説明> ロゴプリントの動作について指定します。 <備考> 本設定は、[用紙種類]が「タグ紙（全面ラベル含）」の用紙を選択している場合に指定が可能です。 ロゴを印刷するためには、あらかじめリモートパネルを使用してプリンターにロゴを登録する必要があります。 「2 章リモートパネル」を参照してください。
印刷開始	<説明> 印刷開始時におけるロゴプリントの動作について指定します。 <選択項目> * 印刷しない：印刷開始時にロゴを印刷しません。 ロゴ 1：印刷開始時に指定したロゴを印刷します。 ロゴ 5
ページ先頭	<説明> ページ先頭におけるロゴプリントの動作について指定します。 <選択項目> * 印刷しない：ページの先頭にロゴを印刷しません。 ロゴ 1：ページの先頭に指定したロゴを印刷します。 ロゴ 5
印刷終了	<説明> 印刷終了時におけるロゴプリントの動作について指定します。 <選択項目> * 印刷しない：印刷終了時にロゴを印刷しません。 ロゴ 1：印刷終了時に指定したロゴを印刷します。 ロゴ 5

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲（*：初期値）
ロゴプリント（つづき）	
ロゴの位置 印刷のイメージに合わせる	<説明> [印刷開始][ページ先頭][印刷終了]で印刷するロゴの位置を指定します。 <選択項目> オフ(未チェック)：印刷の仕上がりイメージによらず、用紙送り方向でみて[印刷開始][ページ開始][印刷終了]の位置にロゴを印刷します。[用紙の向き]の「180 度回転」指定によらずロゴは固定の位置に印刷されます。 * オン(チェック)：印刷の仕上がりイメージに合った位置にロゴを印刷します。[用紙の向き]で「180 度回転」が指定されている時は、印刷イメージとロゴを合わせて 180 度回転し印刷します。
既定値に戻す	[オペレーション]タブ内の設定を既定値（初期値）に戻します。

[バーコード] シート



設定項目名	説明・選択項目・設定範囲（*：初期値）
バーコードフォント・リスト	[バーコードフォント名]で設定するバーコード、または2次元コードの種類を表示、選択します。 ※最大登録数は、初期登録済みのバーコードフォントを含み、30個です。
新しいバーコードフォントを作成する	新しいバーコードフォントを作成するときにチェックします。 指定されていない場合には、[バーコードフォント・リスト]で選択されたバーコードフォントの設定を編集します。 ※[新しいバーコードフォントを作成する]にチェックしたまま、既存のバーコードフォントは変更できません。チェックを外してください。
バーコードフォント名	任意にバーコード、または2次元コードのフォント名を変更、保存できます。 既存のバーコードフォント名を選択し、適用またはOKをクリックした場合、設定は上書きされます。 新規にバーコードフォント名を追加する場合には、[新しいバーコードフォントを作成する]をチェックして、追加をクリックします。最大文字数は、半角文字で31文字です。 ※[新しいバーコードフォントを作成する]で、既存のバーコードフォント名にした場合には、保存できません。
追加	バーコードフォントを [バーコードフォント・リスト] に追加します。 ※次の状態の場合、[追加]は選択することができません。 ・ [新しいバーコードフォントを作成する]にチェックを入れていない。 ・ [バーコードフォント名]が空白、もしくはすでに[バーコードフォント・リスト]、もしくはOSに登録されているフォント名と重複している。 ・ [バーコードフォント・リスト]が30個登録されている。
削除	[バーコードフォント・リスト] で選択されたバーコードフォントを [バーコードフォント・リスト] から削除します。
既定値に戻す	現在、選択されている[コード種類]の設定を既定値（初期値）に戻します。

【バーコードの設定】

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲（*：初期値）
コード種類	バーコード、または2次元コードの種類を指定します。

本プリンタードライバーは、以下に示すバーコードと2次元コードに対応しています。

◆ バーコード

・ Codabar	バーコード グループA
・ EAN 13 (JAN 13)	
・ EAN 8 (JAN 8)	
・ Code 39	
・ ITF	
・ Code 93	
・ UPC type A	
・ UPC type E	
・ Code 128	
・ GS1 DataBar (RSS-14) Omni. (RSS-14)	バーコード グループB (MultiCoder 300S2DX のみ)
・ GS1 DataBar (RSS-14) Truncated (RSS-14 Truncated)	
・ GS1 DataBar (RSS) Limited (RSS Limited)	
・ GS1 DataBar (RSS) Expanded (RSS Expanded)	
・ GS1 DataBar (RSS) ExpandedStacked (RSS Expanded Stacked)	バーコード グループC (MultiCoder 300S2DX のみ)
・ GS1 DataBar (RSS-14) Stacked (RSS-14 Stacked)	
・ GS1 DataBar (RSS-14) StackedOmni. (RSS-14 Stacked Omnidirectional)	

⇒ 【参照ページ】 バーコードの設定 (51 ページ)

◆ 2次元コード

・ QR Code	⇒ 【参照ページ】 QR Code の設定 (54 ページ)
・ PDF417 Code	⇒ 【参照ページ】 PDF417 Code の設定 (55 ページ)
・ DataMatrix Code	⇒ 【参照ページ】 DataMatrix Code の設定 (57 ページ)
・ MaxiCode	⇒ 【参照ページ】 MaxiCode の設定 (58 ページ) (MultiCoder 300S2DX のみ)

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲（*：初期値）
置換元フォント	<説明> [コード種類]に対応した文字フォント（バーコードフォント）以外に、Windows に登録されているフォントをバーコードに置換して印刷する際に指定します。 <選択項目> * 使用しない : Windows に登録されているフォントからバーコードへの置換は行わず、バーコードフォントのみバーコードとして印刷します。 (Windowsに登録されている：選択されたフォントを[コード種類]で選択しているバーコードにフォントを表示) 置換して印刷します。
ナローバーの幅	<説明> ナローバーの幅を指定します。（単位：1/203 インチ） <設定範囲> ・バーコード グループ A : 2～6 *初期値：2 ・バーコード グループ B, C : 2～8 *初期値：2
バーコードの高さ	<説明> バーコードの高さを指定します。（単位：1/203 インチ） <設定範囲> ・バーコード グループ A : 1～255 *初期値：162 ・バーコード グループ B, C : 1～600 *初期値：162
HRI 文字 (Human Readable Interpretation)	<説明> HRI 文字の印刷を指定します。 <選択項目> * 印刷しない : HRI 文字を印刷しません。 上に印刷する : HRI 文字をバーコードの上に印刷します。 下に印刷する : HRI 文字をバーコードの下に印刷します。 上と下に印刷する : HRI 文字をバーコードの上下に印刷します。 <備考> 本設定は、[コード種類]でグループ A, B のバーコードを選択しているときに指定が可能です。 グループ C のバーコードを選択しているときは設定できません。
HRI 文字の字体 (Human Readable Interpretation)	<説明> HRI 文字の字体を指定します。 本設定は、[HRI 文字]で「上(下, 上と下)に印刷する」を選択しているときに指定が可能です。 <選択項目> * フォント A : HRI 文字をフォント A で印刷します。 フォント B : HRI 文字をフォント B で印刷します。 フォント C : HRI 文字をフォント C で印刷します。 <備考> 本設定は、[コード種類]でグループ A, B のバーコードを選択しているときに指定が可能です。 グループ C のバーコードを選択しているときは設定できません。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲（*：初期値）
バーコードの最大幅	<説明> RSS Expanded Stacked バーコードの最大幅を指定します。 （単位：1/203 インチ） <設定範囲> 106～3952 *初期値：160 <備考> 本設定は、[コード種類]で RSS Expanded Stacked を選択しているときに指定が可能です。
回転	<説明> バーコードの回転角度を指定します。 <選択項目> * 0 度：回転せずに[用紙の向き]に従いバーコードを印刷します。 90 度：[用紙の向き]に対して 90 度回転してバーコードを印刷します。 180 度：[用紙の向き]に対して 180 度回転してバーコードを印刷します。 270 度：[用紙の向き]に対して 270 度回転してバーコードを印刷します。

※Code39 バーコードについて

- アルファベット (A～Z) は、大文字で指定してください。
- スタート、ストップコード(*)はプリンター側で自動的に付加します。
- 文字列中に'*'があると、'*'までを印刷して以降は通常文字として印刷されます。

※Code128 バーコードについて

- 文字列の先頭にスタートコード([A, [B, [C ※半角)を付加してください。
スタートコードが無い場合、Code128 バーコードは印刷されません。
- スタートコード C は、先頭以外ではコード指定やファンクション指定を行わないでください。

※ITF バーコードについて

- 指定する文字数を、偶数としてください。
奇数の文字数が指定された場合は、末尾の 1 文字を省略してバーコードが作成されます。

※RSS バーコードについて

- 以下の RSS 系バーコードを印刷する際は、データの前頭に識別子"01"を付加してください。
RSS-14
RSS-14 Truncated
RSS-14 Stacked
RSS-14 Stacked Omnidirectional
RSS Limited

※RSS Expanded Stacked について

- [バーコードの最大幅]は、指定された幅以内にバーコードを生成する機能ですがナローバーの幅によっては、[バーコードの最大幅]で指定した値を超えて印刷されることがあります。

【QR コードの設定】

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲（*：初期値）
置換元フォント	<説明> [コード種類]に対応した文字フォント（QR Code）以外に、Windows に登録されているフォントを QR Code に置換して印刷する際に指定します。 <選択項目> * 使用しない : Windows に登録されているフォントから QR Code への置換は行わず、QR Code フォントのみ QR Code として印刷します。 (Windows に登録されている：選択されたフォントを QR Code に置換して印刷します。フォントを表示)
セルサイズ	<説明> セルのサイズを指定します。 <設定範囲> 3～12 *初期値：4
モデル番号	<説明> QR コードの種類を指定します。 <選択項目> モデル 1 : QR コードモデル 1 を指定します。 * モデル 2 : QR コードモデル 2 を指定します。 マイクロ QR : マイクロ QR コードを指定します。
誤り訂正レベル	<説明> QR コードの誤り訂正レベルを指定します。 <選択項目> * レベル L : コードの約 7% が損傷しても復元可能なレベルです。 レベル M : コードの約 15% が損傷しても復元可能なレベルです。 レベル Q : コードの約 25% が損傷しても復元可能なレベルです。 レベル H : コードの約 30% が損傷しても復元可能なレベルです。 : 本項目は、[モデル番号]が「マイクロ QR」のときは指定できません。
回転	<説明> QR Code の回転角度を指定します。 <選択項目> * 0 度 : 回転せずに[用紙の向き]に従い QR Code を印刷します。 90 度 : [用紙の向き]に対して 90 度回転して QR Code を印刷します。 180 度 : [用紙の向き]に対して 180 度回転して QR Code を印刷します。 270 度 : [用紙の向き]に対して 270 度回転して QR Code を印刷します。

【PDF417 の設定】

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲（*：初期値）
置換元フォント	<説明> [コード種類]に対応した文字フォント（PDF417 Code）以外に、Windows に登録されているフォントを PDF417 Code に置換して印刷する際に指定します。 <選択項目> * 使用しない : Windows に登録されているフォントから PDF417 Code への置換は行わず、PDF417 Code フォントのみ PDF417 Code として印刷します。 (Windowsに登録されている：選択されたフォントをPDF417 Codeに置換して印刷します。フォントを表示)
桁数	<説明> 桁数を指定します。 <設定範囲> 0～30 *初期値：0(自動)
段数	<説明> 段数を指定します。 <設定範囲> 0, 3～90 *初期値：0(自動)
幅	<説明> 幅を指定します。 <設定範囲> 2～8 *初期値：3
高さ	<説明> 高さを指定します。 <設定範囲> 2～8 *初期値：3
誤り訂正	<説明> 誤り訂正レベルを指定します。 <選択項目> レベル 0 * レベル 1 レベル 2 レベル 3 レベル 4 レベル 5 レベル 6 レベル 7 レベル 8
シンプルシンボル	<説明> シンプルシンボルとして PDF417code を印刷するときに指定します。 <選択項目> * オフ（未チェック） オン（チェック）

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲（*：初期値）
回転	<説明> PDF417 Code の回転角度を指定します。 <選択項目> * 0 度：回転せずに[用紙の向き]に従い PDF417 Code を印刷します。 90 度：[用紙の向き]に対して 90 度回転して PDF417 Code を印刷します。 180 度：[用紙の向き]に対して 180 度回転して PDF417 Code を印刷します。 270 度：[用紙の向き]に対して 270 度回転して PDF417 Code を印刷します。

※桁数=0, 段数=0（初期設定）の時は、最小の桁数を元に段数を自動で算出し、PDF417 Code を印刷します。

【DataMatrix の設定】

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲 (* : 初期値)
置換元フォント	<説明> [コード種類]に対応した文字フォント (DataMatrix Code) 以外に、Windows に登録されているフォントを DataMatrix Code に置換して印刷する際に指定します。 <選択項目> * 使用しない : Windowsに登録されているフォントから DataMatrix Code への置換は行わず、DataMatrix Codeフォントのみ DataMatrix Code として印刷します。 (Windowsに登録されている : 選択されたフォントを DataMatrix Code に置換して印刷します。フォントを表示)
タイプ	<説明> 正方形か長方形のタイプを指定します。 <選択項目> * 正方形 長方形
正方形のサイズ	<説明> 正方形のサイズを指定します。 <設定範囲> 0, 10~144 *初期値 : 0(自動)
長方形のサイズ	<説明> 長方形のサイズを指定します。 <選択項目> * 18x8 32x8 26x12 36x12 36x16 48x16
セルサイズ	<説明> セルのサイズを指定します。 <設定範囲> 3~16 *初期値 : 5
回転	<説明> DataMatrix Code の回転角度を指定します。 <選択項目> * 0度 : 回転せずに[用紙の向き]に従い DataMatrix Code を印刷します。 90度 : [用紙の向き]に対して 90 度回転して DataMatrix Code を印刷します。 180度 : [用紙の向き]に対して 180 度回転して DataMatrix Code を印刷します。 270度 : [用紙の向き]に対して 270 度回転して DataMatrix Code を印刷します。

【MaxiCode の設定】

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲（*：初期値）
置換元フォント	<説明> [コード種類]に対応した文字フォント（MaxiCode）以外に、Windows に登録されているフォントを MaxiCode に置換して印刷する際に指定します。 <選択項目> * 使用しない : Windows に登録されているフォントから MaxiCode への置換は行わず、MaxiCode フォントのみ MaxiCode として印刷します。 (Windows に登録されている : 選択されたフォントを MaxiCode に置換して印刷します。フォントを表示)
モード	<説明> MaxiCode のモードを指定します。 <選択項目> モード 2 モード 3 * モード 4 モード 5
サービスコード	<説明> サービスコードを指定します。 <設定範囲> 0～999 *初期値：1 <備考> 本設定は、[モード]が「モード 2」または「モード 3」のときに指定が可能です。
国コード	<説明> 国コードを指定します。 <設定範囲> 0～999 *初期値：1 <備考> 本設定は、[モード]が「モード 2」または「モード 3」のときに指定が可能です。
郵便コード	<説明> 郵便コードを指定します。 <入力可能文字> 「モード 2」のとき：1～9 桁の数字 「モード 3」のとき：下記*1 の記号を含む 6 桁固定の英数字 *1: SP " # \$ % & ' () * + , - . / <備考> 本設定は、[モード]が「モード 2」または「モード 3」のときに指定が可能です。
回転	<説明> MaxiCode の回転角度を指定します。 <選択項目> * 0 度：回転せずに[用紙の向き]に従い MaxiCode を印刷します。 90 度：[用紙の向き]に対して 90 度回転して MaxiCode を印刷します。 180 度：[用紙の向き]に対して 180 度回転して MaxiCode を印刷します。 270 度：[用紙の向き]に対して 270 度回転して MaxiCode を印刷します。

プリンタードライバーの注意事項

プリンタードライバーの設定に関する注意事項

- プリンターのプロパティ [詳細設定] タブの [一致しないドキュメントを保留する] をチェックしないでください。
「無効な印刷設定です」と表示 (スプーラの状態表示) され、印刷できません。
- プリンターのプロパティ [ポート] タブの [双方向サポートを有効にする] は、接続環境により以下の設定でご使用ください。
 - RS-232C, パラレル, USB で使用する場合 : チェックする (初期値)
 - LAN (PR-Port Manager) で使用する場合 : チェックを外す
- USB 接続で本プリンターを 2 台以上接続する場合
プリンターを増設する場合は、以下の手順でプリンタードライバーをインストールしてください。
 1. 増設するプリンターの [シリアル番号] を「有効」に設定にします。設定方法はユーザーズマニュアルの「3 章 操作部とプリンターの設定」を参照してください。
 2. プリンタードライバーのインストールを行い、プリンターを追加します。
- [ラベル紙] または [黒マーク紙] の用紙を使用し、プリンタードライバーの設定を以下にした場合、印刷データがページ間をまたいで印刷されることがあります。
 - (a) ページ間 - 紙送り : 紙送りしない
 - (b) 余白節約 : しない (用紙長優先)このようなときは、用紙の高さを調節するか、プリンタードライバーの設定で、上記 (a) を「頭出し位置」に設定し印刷してください。
- お使いのアプリケーションによっては、余白量を少なくすると正しく印刷されない場合があります。プリンタードライバーが既定で持つ用紙については、アプリケーションで指定する余白の設定を既定でもつ用紙の余白以上に設定してください。(41 ページ参照)
カスタム用紙については、作成した際の余白以上に設定してください。
- [用紙カットと紙送り] ダイアログボックスで、[上端印刷位置] を 4.5mm に設定する場合 (MultiCoder 300S2DC のみ)
 - MultiCoder 300S2DC で [上端印刷位置] を 4.5mm に設定したとき、用紙を戻してから (バックフィードしてから) 印刷を行います。MultiCoder 300S2DC の用紙カットはパーシャルカットのため、カットされた用紙を取り除かずに次の印刷を行うと、パーシャルカットした部分にしわが寄ったり、用紙がつまったりする場合があります。
 - [用紙カット] = カットする (パーシャルカット)、かつ [上端印刷位置] = 4.5mm に設定して運用する場合、次の印刷を開始する前にパーシャルカットされた用紙を取り除くようにしてください。

バーコード・2次元コードに関する注意事項

- 本プリンタードライバーのバーコードフォントは、プリンターフォントとして定義しています。アプリケーションによっては、アプリケーションのフォントリストにプリンターフォントが表示されない場合がありますが、[置換元フォント]でバーコードに置き換えるフォントを指定することによりバーコードの印刷が可能です。
- アプリケーションによっては、アプリケーション内のフォント置換により、バーコード指定したフォントが置き換わる場合があります。
- バーコードを印刷した時に、設定（ナローバー、回転等）や位置、文字数により、指定した用紙の印刷領域外にかかるバーコードは印刷されません。印刷結果を確認して設定してください。
- バーコードのデータ（文字数）について
 - 指定したバーコードが規定の文字数に満たない場合や超える場合、そのバーコードは印刷されません。
 - 本プリンタードライバーで扱える最大文字数は210文字です。210文字を超えるバーコードは印刷されません。
- バーコードを指定したフォントに対し、修飾（太字、斜体、中抜き等）は行わないでください。また、縦書きの文字や折り返しされている文字については、バーコードが正常に印刷されませんのでご注意ください。
- アプリケーションの画面には印刷後のバーコードが表示されません。
 - バーコード・2次元コードと周辺の文字が重ならないよう、印刷結果を確認して位置を調整してください。
 - 同一行内に同一種類のバーコード（2次元コード）を複数印刷することはできません。
- アプリケーションによっては、文字列末尾の全角スペースまたは半角スペースをプリンタードライバーに正しく通知しない場合があります。これらのアプリケーションから、末尾に全角スペースまたは半角スペースを含む文字列をバーコード指定した場合、期待するバーコードと印刷結果が異なる場合があります。
- 2次元コードの制限事項
 - アプリケーションによっては、指定した文字列中の全角スペースは半角スペースで印刷されます。

2

リモートパネル

リモートパネルは、本プリンターの各種機能をご使用のコンピューターの画面上で設定できるソフトウェアです。ここではリモートパネルのインストール（アンインストール）方法、起動方法、およびリモートパネルの使い方について説明します。なお、リモートパネルのヘルプも併せて参照してください。



チェック

リモートパネルを動作させるためにはプリンタードライバーがインストールされている必要があります。

リモートパネルのインストールとアンインストール

お使いのコンピュータでリモートパネルをご使用になる場合、コンピュータにリモートパネルをインストールしてください。

プリンター名は MultiCoder 300S2DX を例にして説明しています。MultiCoder 300S2DC も同様ですので、読み替えてお使いください。

リモートパネルのインストール

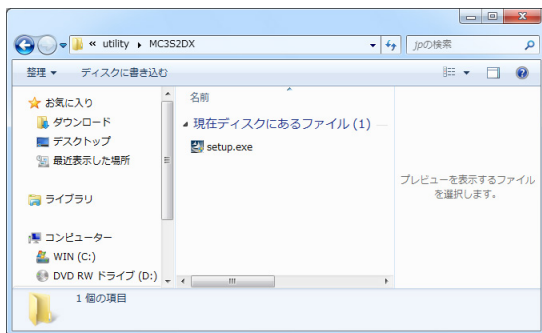
リモートパネルのインストール手順は次のとおりです。

- ① 添付のソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入してください。

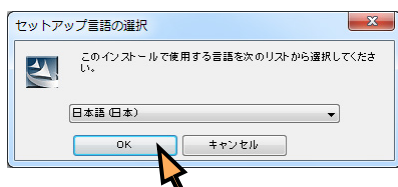
- ② エクスプローラーにて以下のフォルダーを開き
“Setup.exe” を実行してください。

MultiCoder 300S2DX の場合 “D:\utility\MC3S2DX\jp”
MultiCoder 300S2DC の場合 “D:\utility\MC3S2DC\jp”

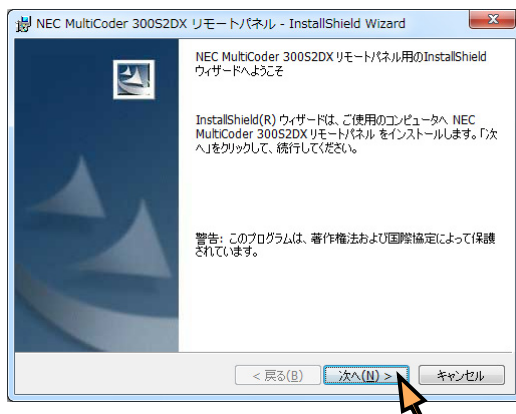
注 1) CD-ROM ドライブが D: の時の入力例です。
ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。



- ③ 「日本語」を選択して、[OK] をクリックしてください。

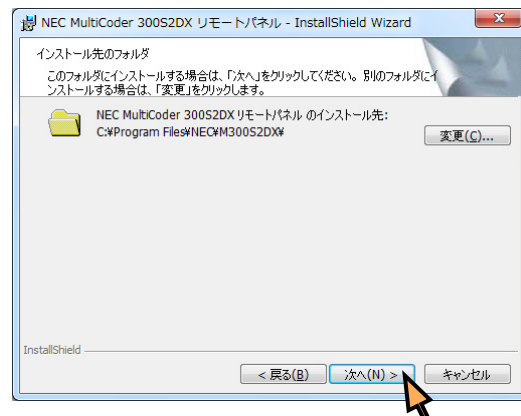


- ④ [次へ] をクリックしてください。

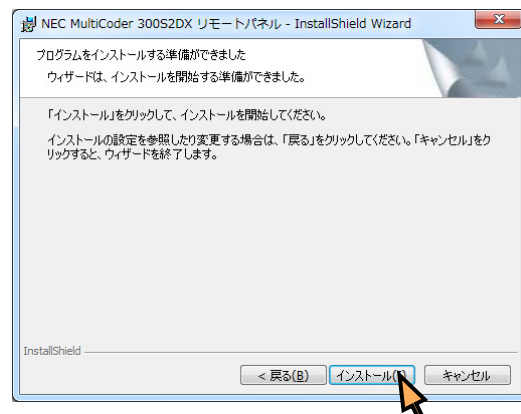


- ⑤ ソフトウェアをインストールするフォルダーを指定してください。

フォルダーを変更する場合は、[変更] をクリックして、フォルダーを選択します。
フォルダーを指定したら、[次へ] をクリックしてください。

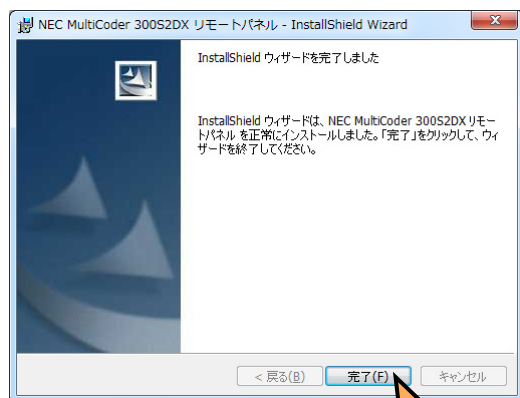


- ⑥ [インストール] をクリックしてください。



⑦ [完了]をクリックしてください。

これでリモートパネルのインストールは終了です。



リモートパネルの削除(アンインストール)

次の手順で削除（アンインストール）を行ってください。

① リモートパネルを終了してください。

② 以下の手順で、アンインストール画面を表示させてください。

【Windows 10 の場合】

- ・ [スタートボタン] — [Windows システムツール] — [コントロールパネル] をクリックしてください。

【Windows 8.1、Windows 8、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012 の場合】

- ・ マウスカーソルを画面右下に移動させ、画面右側に表示されるメニューバーから、[設定] → [コントロールパネル] とクリックします。
- ・ [コントロールパネル] → [プログラムのアンインストール] をクリックしてください。

【Windows 7、Windows Vista の場合】

- ・ デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタンをクリックします。
- ・ [コントロールパネル] → [プログラムのアンインストール] をクリックしてください。

【Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 の場合】

- ・ [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムと機能] をクリックしてください。

【Windows XP、Windows Server 2003 の場合】

- ・ [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] をクリックしてください。

【Windows 2000 の場合】

- ・ [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [アプリケーションの追加と削除] をクリックしてください。

③ 「NEC MultiCoder 300S2DX リモートパネル」を選択して、“アンインストール” または “削除” をクリックしてください。

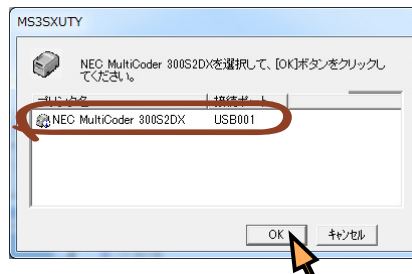
※リモートパネルをアンインストールしても、プリンタードライバーはアンインストールされません。

リモートパネルの起動

[リモートパネル]は以下の方法で開きます。

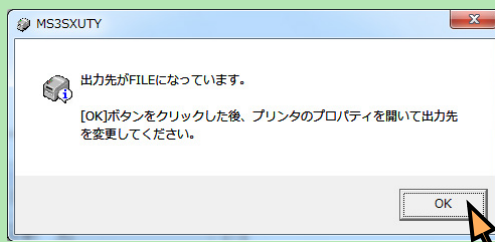
- ① [スタート]から、[NEC MultiCoder 300S2DX]→[NEC MultiCoder 300S2DX リモートパネル]の順にクリックします。

- ② プリンターを選択し、[OK]をクリックします。

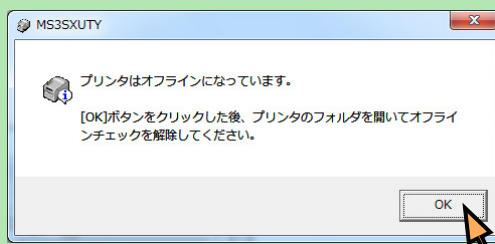


✓チェック

- ・ リモートパネルがご使用できないプリンターには、警告マークが付加されて表示されます。警告マークの付いていないプリンターを選択してください。
- ・ LAN インターフェースで使用するときは、PR-Port Manager で作成した LPR ポートでデフォルトのポート名 (xxx.xxx.xxx.xxx:lp(注 1)) としてください。デフォルトのポート名以外に設定されている場合や IPP ポート、Windows Standard TCP/IP ポート、Windows LPR ポートでは動作しません。
注 1 : xxx.xxx.xxx.xxx には IP アドレスが入ります。
- ・ 接続ポートが“FILE:”になっている場合、下記メッセージが表示されます。[OK]をクリックして、接続ポートを正しく設定してください。

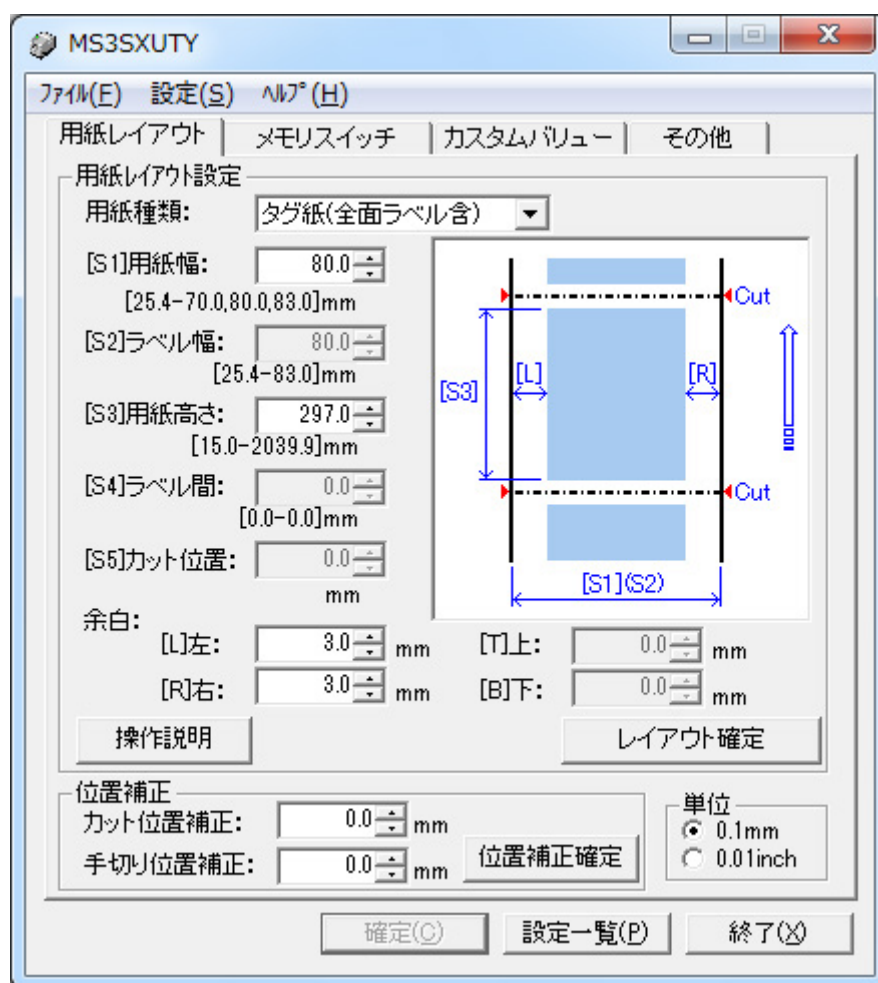


- ・ USB インターフェースで接続しているとき、プリンターの電源が入っていないか、プリンターフォルダーのプリンタードライバがオフライン状態のときは、下記メッセージが表示されます。[OK]をクリックして、プリンターのフォルダーを開いてオフラインのチェックを解除するか、接続ポートを正しく設定してください。



リモートパネルの使い方

リモートパネルを起動すると次のような[リモートパネル]メインダイアログが表示されます。

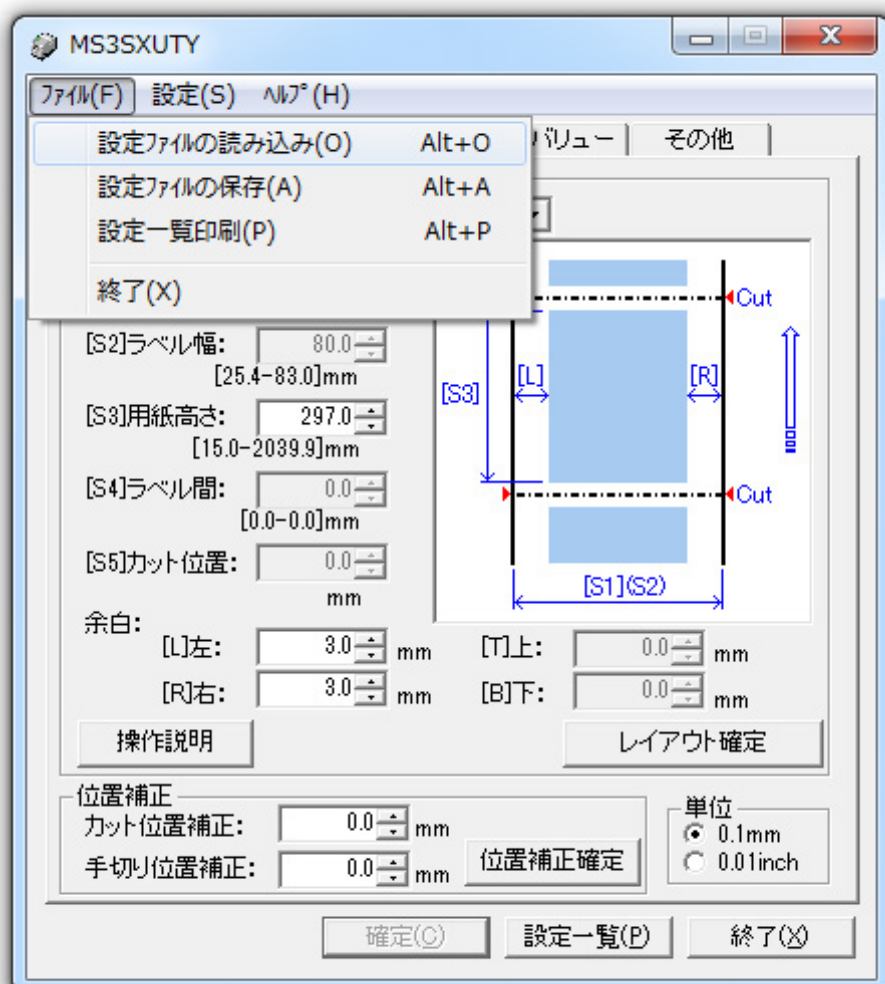


[リモートパネル (MS3SXUTY) の起動画面]

メニューの説明

リモートパネルでプリンターの設定を変更するための3つのメニューを表示します。

[ファイル] メニュー



設定ファイルの読み込み(O) Alt+O

ディスクに保存されている設定値ファイルを読み込み、リモートパネル上の各項目の設定値表示を設定値ファイルの内容に更新します。

設定ファイルの保存(A) Alt+A

リモートパネル上の各項目の設定値表示内容を、設定値ファイルとしてディスクに保存します。

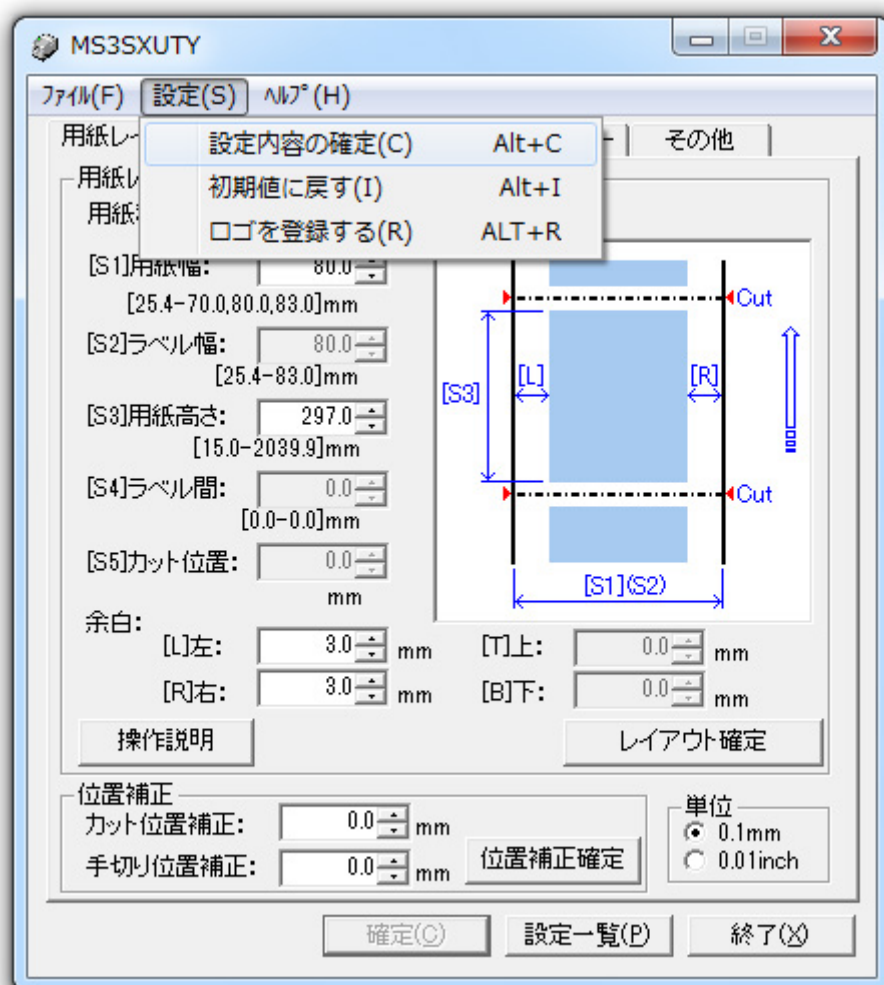
設定一覧印刷(P) Alt+P

現在の設定値の一覧を印刷します。

終了(X)

リモートパネルを終了します。

[設定] メニュー



設定内容の確定 (C) Alt+C

リモートパネルの“メモリスイッチ”シート、“カスタムバリュー”シート、“その他”シートで設定した内容を、プリンターに送信します。

※“用紙レイアウト”シートの設定は送信されません。

初期値に戻す (I) Alt+I

リモートパネル上の設定値を初期化します。

この時、プリンターの設定内容も初期値に戻ります。

但し、“用紙レイアウト”シートの内容と、プリンターの用紙レイアウトは初期化されません。

ロゴを登録する (R) Alt+R

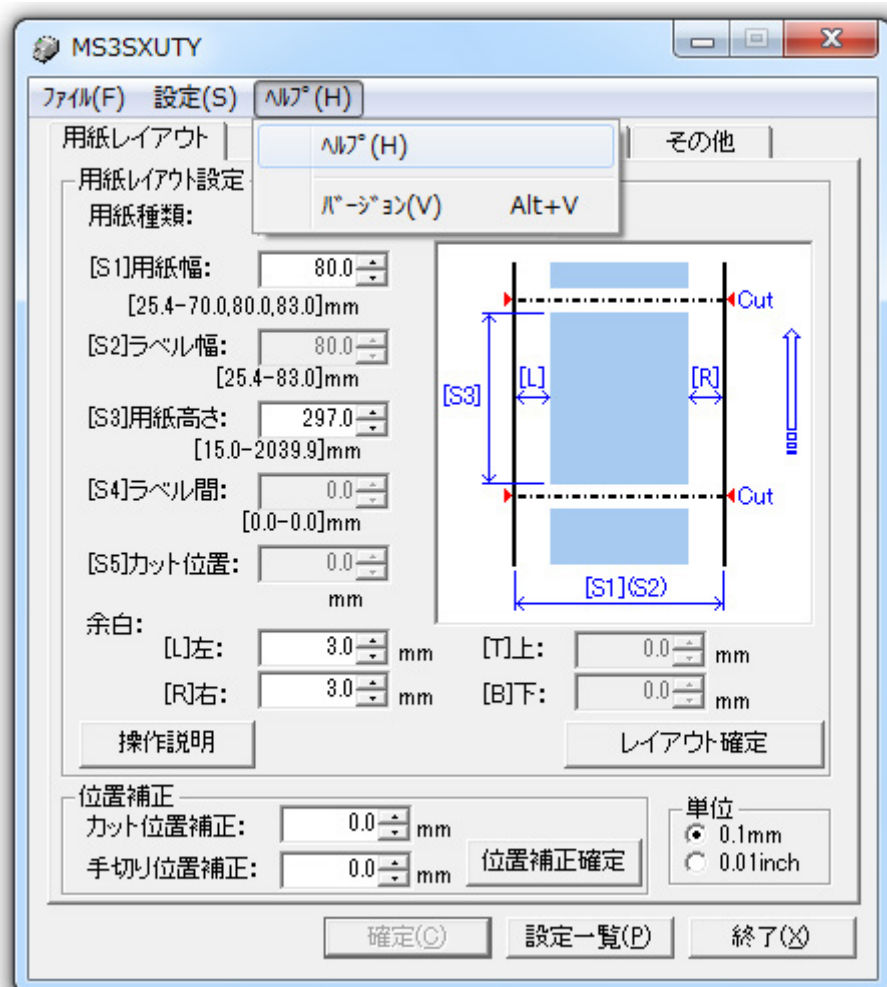
プリンターにロゴを登録します。登録したロゴはプリンターの電源を切っても記録されています。

登録できるロゴは、最大5個までです。

登録可能なロゴは、BMP形式で作成されたファイルのみです。

※ロゴ登録の操作方法については、「ロゴ登録画面の説明 (77 ページ)」を参照ください。

[ヘルプ] メニュー



ヘルプ (H)

リモートパネルのヘルプを起動します。

バージョン (V) Alt+V

リモートパネルのソフトウェアバージョンを表示します。

ボタンの説明

確定 (C)

【設定】メニューの設定内容の確定 (C) と同等機能です。

設定一覧 (P)

【ファイル】メニューの設定一覧印刷 (P) と同等機能です。

終了 (X)

リモートパネルを終了します。

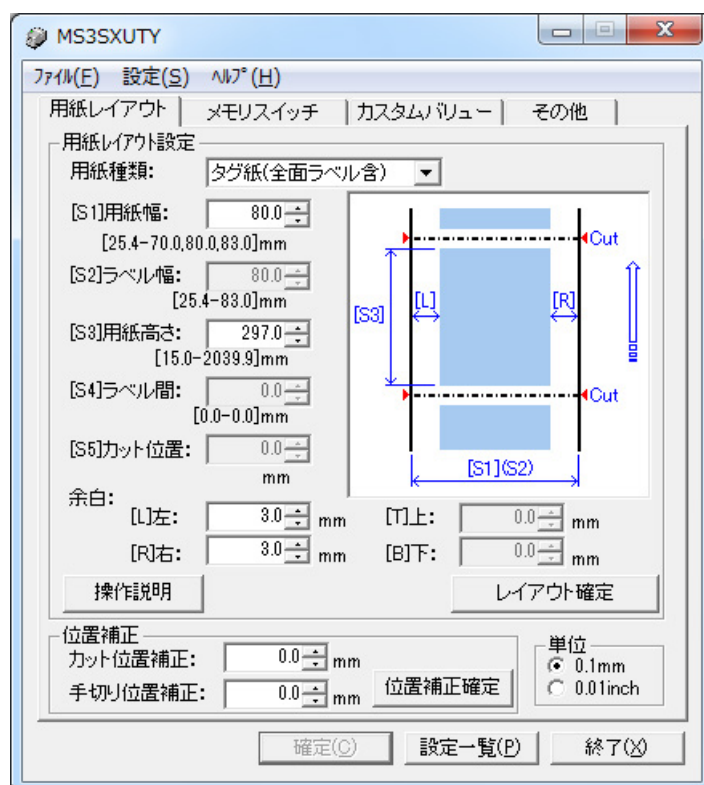
プロパティシートの説明

リモートパネルは5つのシートを持っています。プロパティシートタブから切り替えることができます。

【用紙レイアウト】シート

【用紙レイアウト】シートでは、用紙レイアウトに関する設定を行います。
通常はプリンタードライバーからの印刷時に用紙レイアウト情報が送信されるため設定の必要はありません。
プリンタードライバーを使用しないときなどに設定してください。

※【用紙レイアウト】は、MultiCoder 300S2DC にはありません。



【入力項目の説明】

項目	説明
用紙種類	使用する用紙の種類を選択します。 ・ タグ紙(全面ラベル含) : タグ紙または全面ラベル紙を使用する用紙として設定します。 ・ ラベル紙 : ラベル紙を使用する用紙として設定します。 ・ 黒マーク紙 : 黒マーク紙を使用する用紙として設定します。
[S1] 用紙幅	用紙(台紙を含む)の幅を指定します。
[S2] ラベル幅	ラベルの幅を指定します。
[S3] 用紙高さ	用紙の高さを指定します。
[S4] ラベル間	ラベル間の長さを指定します。ラベル紙を選択した場合のみ設定できます。
[S4] BM 長	黒マークの長さを指定します。黒マーク紙を選択した場合のみ設定できます。
[S5] カット位置	カット位置を指定します。
[L] 左	左余白値を指定します。
[R] 右	右余白値を指定します。
[T] 上	上余白値を指定します。
[B] 下	下余白値を指定します。

【操作項目の説明】

項目	説明
[操作説明]ボタン	用紙レイアウト設定に関する操作説明を表示します。
[レイアウト確定]ボタン	入力したレイアウト情報（[S2], [S3], [S4], [S5], [L], [R], [T], [B]）をプリンターへ送信します。 [S1]用紙幅の設定もプリンターへ送信します。
カット位置補正	カット位置、ハクリ位置、印刷位置を補正します。
手切り位置補正	手切り位置を補正します。
[位置補正確定]ボタン	カット位置補正、手切り位置補正に入力した値をプリンターへ送信します。
単位	数値の単位を mm⇄inch で切り替えます。

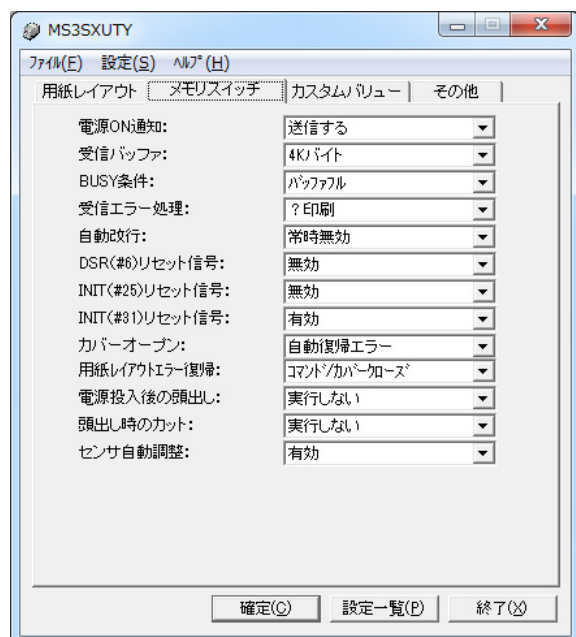
※用紙の幅（ラベル幅）や高さや余白の設定により、印刷領域が極端に小さな値となる場合、[レイアウト確定]ボタンにて用紙レイアウト設定を行っても、プリンターに設定が反映されないことがあります。

印刷領域は、幅方向が 12.0mm 以上、高さ方向が 3.8mm 以上になるように設定してください。

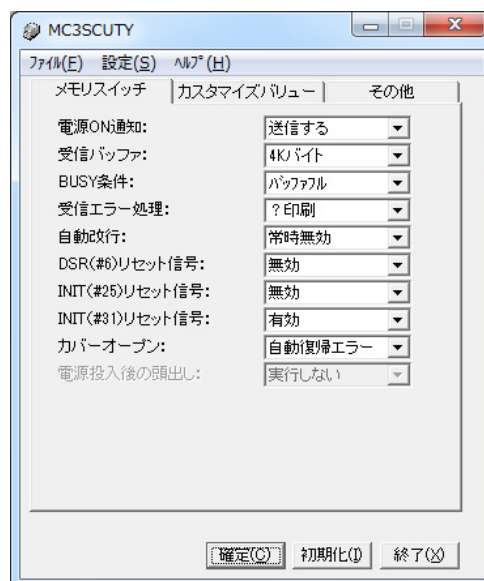
[メモリスイッチ] シート

[メモリスイッチ]シートでは、メモリスイッチに関する設定と、用紙に関する設定を行います。

MultiCoder 300S2DX



MultiCoder 300S2DC



【メモリスイッチに関する設定項目の説明】

項目	設定値 (* : 初期値)	説明
電源 ON 通知	送信しない * 送信する	プリンターの電源が投入されたことをホストに通知するかしないかを設定します。
受信バッファ	* 4K バイト 45 バイト	受信バッファのサイズを設定します。
BUSY 条件	オフライン/バッファフル * バッファフル	プリンターが BUSY となる条件を設定します。
受信エラー処理	* ? 印刷 無視	受信エラー（パリティチェックエラー、フレーミングエラー、オーバーランエラー）が発生した時の処理を設定します。
自動改行	* 常時無効 常時有効	CR コード受信による、自動改行を設定します。
DSR(#6) リセット信号	* 無効 有効	本信号をリセット信号とするかしないかを設定します。
INIT(#25) リセット信号	* 無効 有効	本信号をリセット信号とするかしないかを設定します。
INIT(#31) リセット信号	無効 * 有効	本信号をリセット信号とするかしないかを設定します。
カバーオープン	* 自動復帰エラー 復帰可能エラー	印刷中にカバーオープンとなった時の、復帰方法を設定します。 注) カバーを閉じた後、印刷を続行する時は、「自動復帰エラー」を選択してください。印刷を続行します。

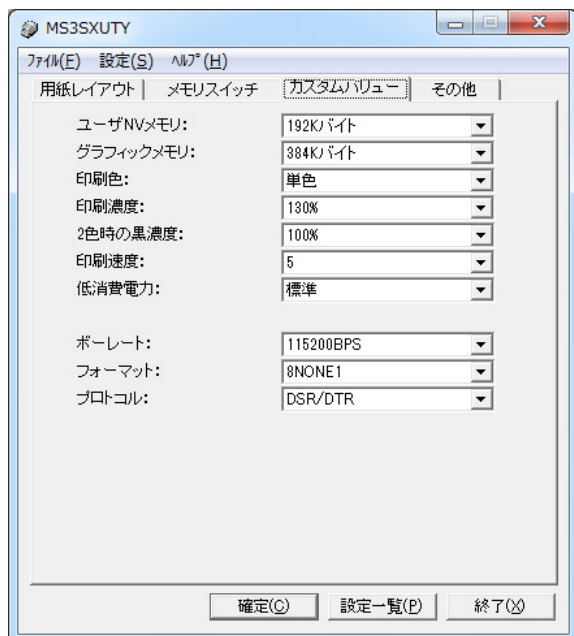
【用紙に関する設定項目の説明】

項目	設定値 (* : 初期値)	説明
用紙レイアウトエラー復帰	* コマンド/カバークロ ーズ コマンド	用紙レイアウトエラー発生時の復帰条件を設定します。
電源投入後の頭出し	実行する * 実行しない	電源投入後の頭出し動作をするかしないかを設定します。 用紙種類がタグ紙に設定されている場合、「実行する」に設定されていても頭出しを行いません。
頭出し後のカット	実行する * 実行しない	用紙頭出しを行う時のカット動作について設定します。 用紙種類がタグ紙に設定されている場合は、「実行する」に設定してもカット動作を行いません。 FEED スイッチ押下による用紙送りでは、本設定の動作は実行されません。 注) 「実行する」に設定すると、用紙の黒マークがBM センサ上にある場合や、ラベル間がラベルセンサ上にある場合でも、シート送りを行い、カット動作を実行します。
センサ自動調整	無効 * 有効	用紙レイアウト変更時に、センサを自動調整するかどうかを設定します。

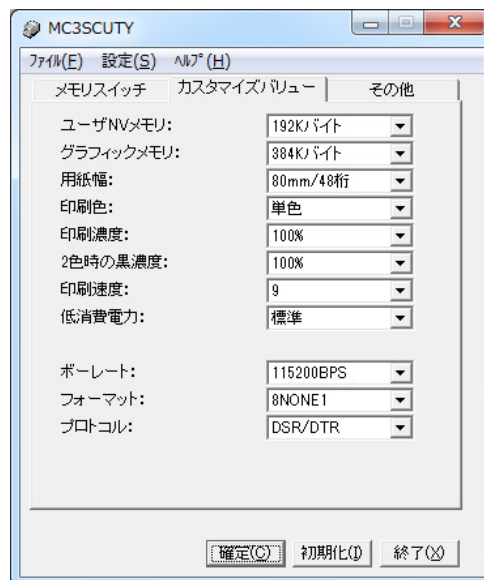
[カスタムバリュウ] シート

[カスタムバリュウ] ダイアログでは、カスタムバリュウに関する設定と、RS-232C インターフェース通信条件に関する設定を行います。

MultiCoder 300S2DX



MultiCoder 300S2DC



【カスタムバリュウに関する設定項目の説明】

項目	設定値 (* : 初期値)	説明
ユーザ NV メモリ	1KB 64KB 128KB * 192KB	ユーザーが使用可能な NV メモリの容量を設定します。
グラフィックメモリ	なし 64K バイト 128K バイト 192K バイト 256K バイト 320K バイト * 384K バイト	グラフィックメモリの容量を設定します。
用紙幅	83mm/53 桁 * 80mm/48 桁 80mm/42 桁 60mm/36 桁 58mm/35 桁 58mm/32 桁	用紙幅の変更を行います。 注) MultiCoder 300S2DC のみ。 MultiCoder 300S2DC で用紙幅を変更する場合は必ず送信してください。
印刷色	* 単色 2 色	印刷色を設定します。 注) 2 色印刷を行う場合は、本設定を [2 色] に変更してください。
印刷濃度	70% ~ 130% (5%単位)	印刷濃度を設定します。 MultiCoder 300S2DX では“130%”が初期値となります。 MultiCoder 300S2DC では“100%”が初期値となります。 注) お使いになる用紙にあわせて印刷濃度を調整してください。
2 色時の黒濃度	70% ~ 130% (5%単位) (初期値 : 100%)	2 色印刷時の黒の印刷濃度を設定します。 注) お使いになる用紙にあわせて印刷濃度を調整してください。

項目	設定値 (* : 初期値)	説明
印刷速度	1 ~ 9	印刷速度を設定します。 MultiCoder 300S2DX では“5”が初期値となります。 MultiCoder 300S2DC では“9”が初期値となります。
低消費電力	* 標準 モード1 モード2	プリンターの消費電力のモードを設定します。 注) モード1及びモード2を選択すると、印刷品質および印刷速度が低下する場合があります。

【RS-232C インターフェース通信条件に関する設定項目の説明】

項目	設定値 (* : 初期値)	説明
ボーレート	2400BPS 4800BPS 9600BPS 19200BPS 38400BPS 57600BPS * 115200BPS	ボーレート（通信速度）を設定します。
フォーマット 注1	7NONE1 7ODD1 * 8NONE1 8EVEN1 8ODD1	データフォーマット（データビット、パリティ、ストップビット）を設定します。 ストップビットは1ビット固定となります。
プロトコル 注2	* DSR/DTR XON/XOFF	バッファ制御プロトコルを設定します。 注) RS-232C インターフェースで接続された MultiCoder 300S2DX プリンターに Windows から印刷するときは、「DSR/DTR」での使用を推奨します。

注1 データフォーマットの内容は以下の通りです。

7NONE1 : データビット 7 ビット, パリティなし
 7ODD1 : データビット 7 ビット, パリティあり
 8NONE1 : データビット 8 ビット, パリティなし
 8EVEN1 : データビット 8 ビット, パリティ 偶数
 8ODD1 : データビット 8 ビット, パリティ 奇数

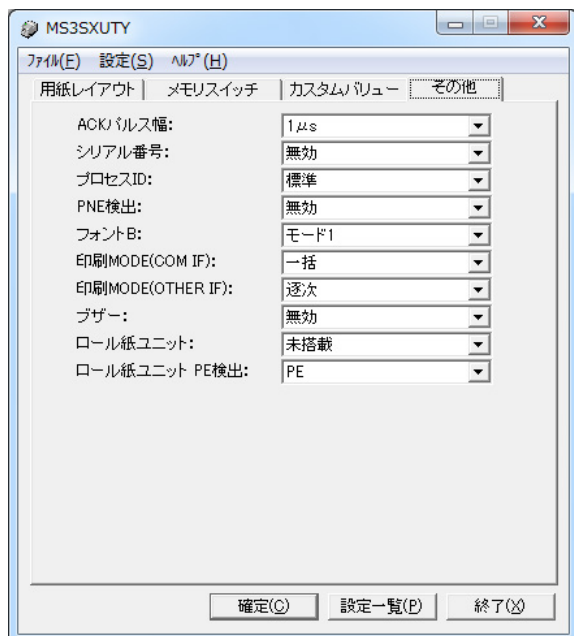
注2 プロトコルの内容は以下の通りです。

DSR/DTR : フロー制御（ハードウェア）
 XON/XOFF : フロー制御（ソフトウェア）

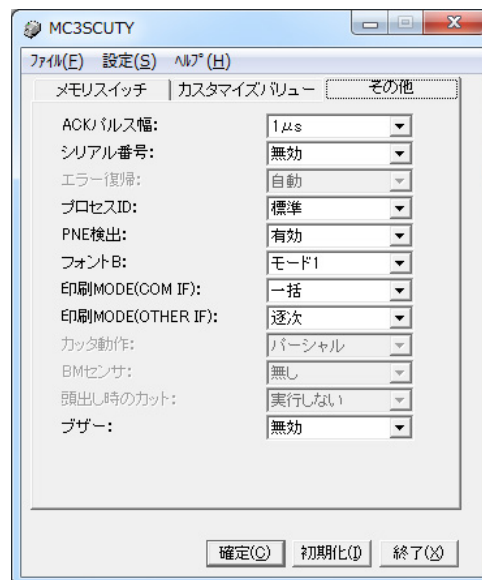
[その他] シート

[その他]シートでは、その他の設定を行います。

MultiCoder 300S2DX



MultiCoder 300S2DC



【その他の設定項目の説明】

項目	設定値説明 (* : 初期値)	説明
ACK パルス幅	* 1 μ s 8 μ s	ACK 信号のパルス幅を設定します。 (パラレルインターフェースの場合に有効)
シリアル番号	有効 * 無効	USB 接続時のシリアル番号通知を設定します。
エラー復帰	* 自動 コマンド	Windows ドライバーでは、「自動」でお使いください。
プロセスID	* 標準 高速	Windows ドライバーでは、「標準」でお使いください
PNE 検出	有効 無効	ペーパーニアエンド検出を設定します。 MultiCoder 300S2DX では「無効」が初期値となります。 MultiCoder 300S2DC では「有効」が初期値となります。
フォントB	* モード1 モード2	フォントBのモードを選択します。
印刷 MODE (COM IF)	逐次 * 一括	RS-232C インターフェースで、一括印刷を行うかどうかを設定します。 「逐次」設定にすると、印刷速度が改善されます。
印刷 MODE (OTHER IF)	* 逐次 一括	USB、パラレル、LAN インターフェースで、一括印刷を行うかどうかを設定します。 「一括」設定にすると、印刷品質が改善されます。
ブザー	* 無効 有効	エラー発生時のブザー鳴動を設定します。
ロール紙ユニット	* 未搭載 搭載	ロール紙ユニットが搭載されているかどうかを設定します。 ※ロール紙ユニットは未サポートのため「未搭載」のままとしてください。
ロール紙ユニット PE 検出	* PE PNE	ロール紙ユニット搭載時の PE 検出条件の設定を行います。 「PNE」に設定した場合は、PNE 検出で PE となります。 ※ロール紙ユニットは未サポートのため「PE」のままとしてください。

ロゴ登録画面の説明

「ロゴ登録」画面では、プリンターにロゴを登録します。
メニューから「設定(S)」→「ロゴを登録する(R)」をクリックすると表示されます。

【ロゴ登録画面の各項目の説明】

項目	説明
ロゴ1～ロゴ5	ロゴを登録する場所です。ロゴ1～5の最大5個まで登録できます。
〔2色〕ボタン	2色のロゴを登録するとき、チェックしてください。 2色のロゴは、黒と白以外の色が2色目として登録されます。
〔参照〕ボタン	ファイル選択メニューが表示されて、BMP ファイルの選択ができます。
〔消去〕ボタン	この登録場所に登録されているロゴを消去します。
〔登録〕ボタン	この登録場所にロゴを登録します。
〔印刷〕ボタン	登録済みのロゴを印刷します。
〔確認印刷〕ボタン	プリンターに登録済みのロゴ1～5を印刷します。
〔終了〕ボタン	ロゴ登録を終了し、「ロゴ登録」ダイアログを終了します。

※登録可能なロゴは、BMP形式で作成されたファイルのみです。

※2色のロゴは、16色または256色として作成してください。

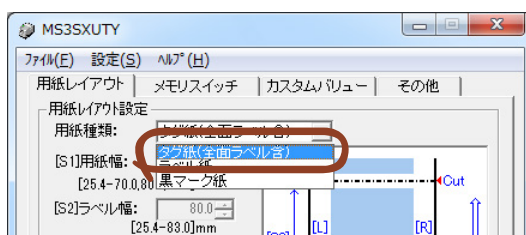
※推奨の最大サイズは、640ピクセル（横）×400ピクセル（縦）です。

操作説明

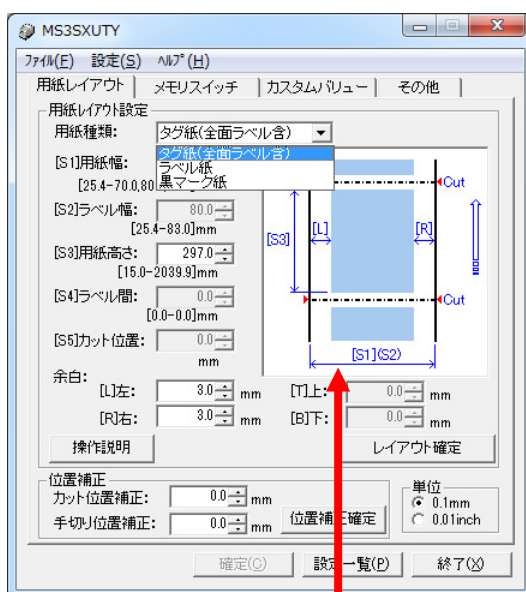
用紙レイアウトの設定方法

用紙レイアウトの設定は、「用紙レイアウト」シートで行います。

- ① レイアウト設定したい用紙を「用紙種類」から選択します。

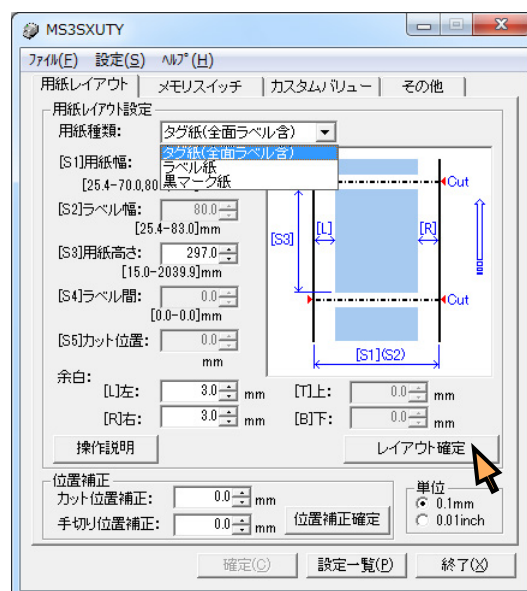


- ② 表示されるレイアウト図を参考に、用紙の寸法を測り、印刷する用紙に合わせて各項目を入力します。
[S5] カット位置についてはそのままお使いください。

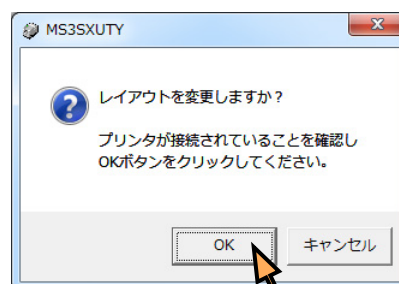


レイアウト図

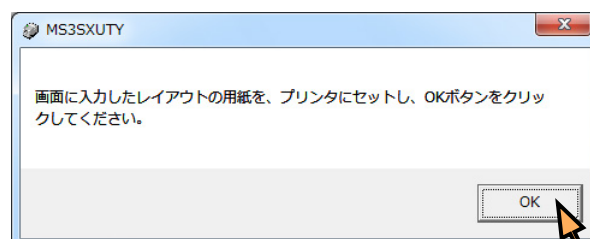
- ③ 「レイアウト確定」ボタンをクリックします。



- ④ 次のメッセージが表示されますので、このまま続ける場合は[OK]を、中止する場合は[キャンセル]をクリックしてください。



- ⑤ レイアウト設定したい用紙への交換を促すメッセージが表示されます。



- ⑥ 用紙を交換し、[OK]ボタンをクリックします。
プリンターで初期化動作が行われ、設定した用紙種類がタグ紙(全面ラベル含)以外の場合は、頭出し動作が行われます。

カット位置・手切り位置補正方法

カット位置補正は、カット位置、ハクリ位置、印刷位置が設定した値だけ上下方向に移動します。
手切り位置補正は、手切り位置が設定した値だけ上下方向に移動します。

- ① カット位置補正または、手切り位置補正に補正値を入力します。

プラスの値は、画面表示されているレイアウト図の下方向に、カット位置、ハクリ位置、印刷位置、手切り位置をずらしします。

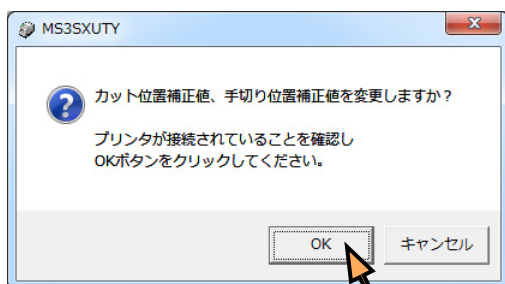
マイナスの値は、上方向にずらしします。



- ② [位置補正確定]ボタンをクリックします。



- ③ 次のメッセージが表示されますので、このまま続ける場合は[OK]を、中止する場合は[キャンセル]をクリックしてください。

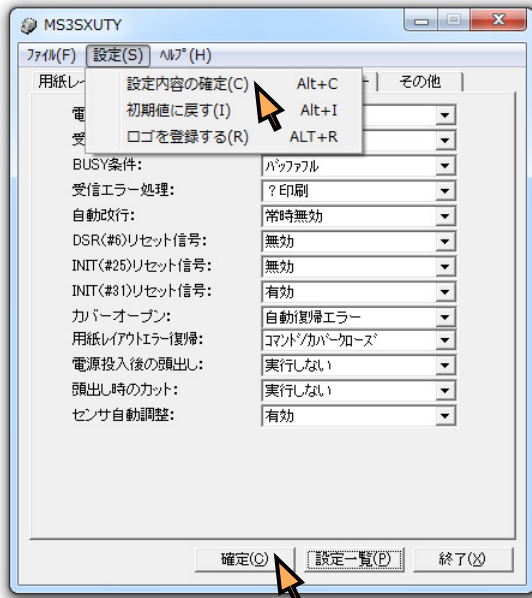


- ④ 設定が終了すると、プリンターは初期化動作を実行します。

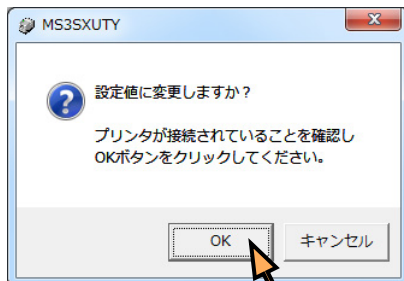
プリンター設定の変更方法(メモリスイッチ、カスタムバリュー、その他)

「メモリスイッチ」シート、「カスタムバリュー」シート、「その他」シートで設定した内容をプリンターに送出し、記憶します。

- ① 「メモリスイッチ」シート、「カスタムバリュー」シート、「その他」シートで設定を変更し、[確定(C)] ボタンをクリックするか、「設定(S)」→「設定内容の確定(C)」をクリックします。



- ② 設定確認ダイアログが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。

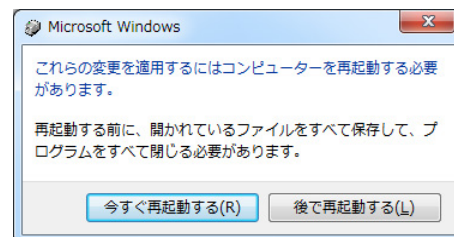
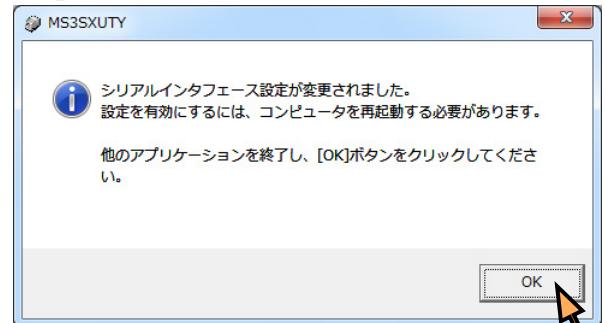


- ③ 設定が終了すると、プリンターは初期化動作を実行します。

- ④ RS-232C インターフェース設定を変更すると、下記メッセージが表示されます。

設定を有効にするために、Windows を再起動してください。

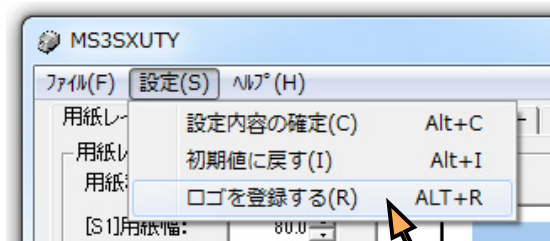
他のアプリケーションを終了（使用中のファイルに変更がある時は、保存してください。）し、[OK] ボタンをクリックしてください。



ロゴの登録方法

プリンターにロゴを登録します。
登録したロゴはプリンターの電源を切っても記憶されています。

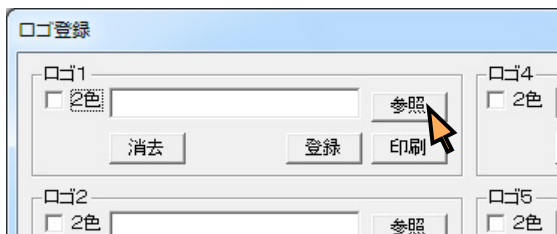
- ① 「設定(S)」→「ロゴを登録する(R)」をクリックします。



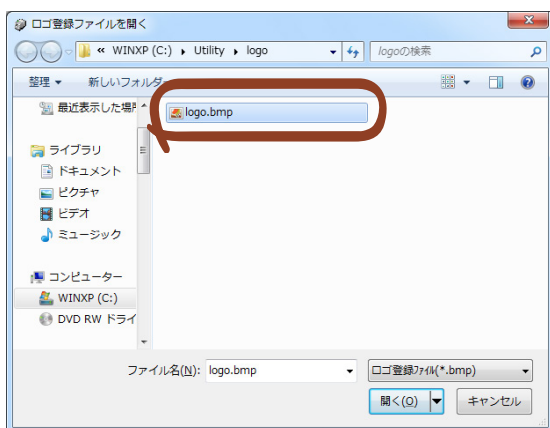
- ② 「ロゴ登録」ダイアログが表示されます。



- ③ ロゴ1～5の中で登録したい場所の[参照]をクリックします。



- ④ ロゴとして登録する BMP ファイルを選択します。



- ⑤ [登録]をクリックします。



- ⑥ 登録するかどうかのメッセージが表示されます。
このまま続ける場合は[OK]を、中止する場合は[キャンセル]をクリックします。



- ⑦ [印刷]をクリックしロゴを印刷します。
正常に登録されたかどうかを確認します。



- ⑧ 印刷するかどうかのメッセージが表示されます。
このまま続ける場合は[OK]を、中止する場合は[キャンセル]をクリックします。



下図左の BMP ファイルを登録した場合、印刷物は下図右のようになります。



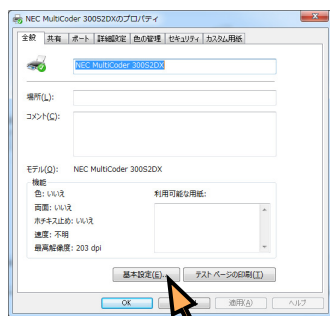
登録した BMP ファイル
(2 色 OFF で登録)



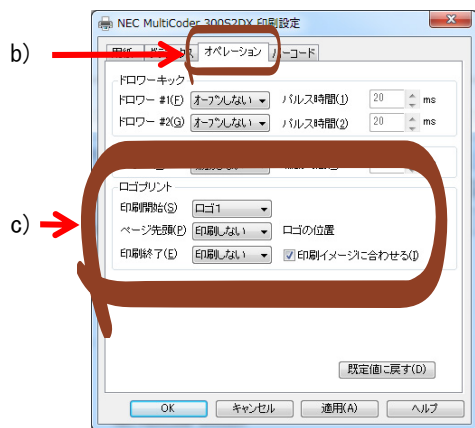
印刷物

⑨ ここで登録したロゴは、プリンタードライバーの設定により、印刷物の印刷開始位置や各ページの先頭、印刷終了位置に常に印刷することができます。

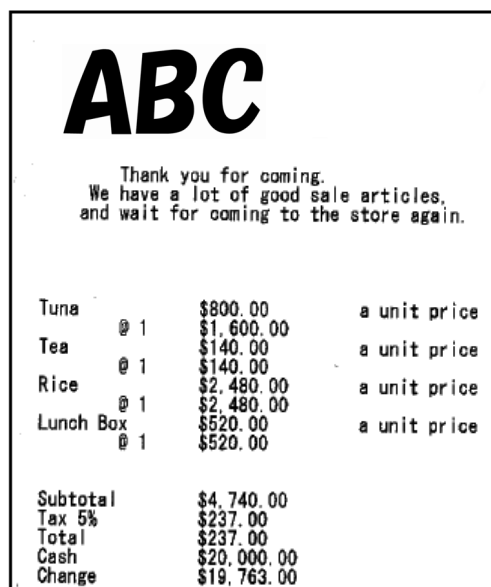
- a) NEC MultiCoder 300S2DX のプリンタードライバーのプロパティを表示し、[基本設定]をクリックします。



- b) [オペレーション]タブを選択します。



- c) 「ロゴプリント」で、登録したロゴの印刷位置を設定します。
- d) Windows ドライバーを利用して印刷すると、次のような印刷ができます。



※プリンタードライバー操作に関する詳細は、本書の1章を参照してください。

3

ステータス モニター

ステータスマニターのインストールとアンインストール

お使いのコンピュータでステータスマニターをご使用になる場合、コンピュータにステータスマニターをインストールしてください。

プリンター名は MultiCoder 300S2DX を例にして説明しています。MultiCoder 300S2DC も同様ですので、読み替えてお使いください。

ステータスマニターのインストール

ステータスマニターのインストール手順は次のとおりです。

- ① 添付のソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入してください。
- ② エクスプローラーにて以下のフォルダーを開き
“Setup.exe” を実行してください。

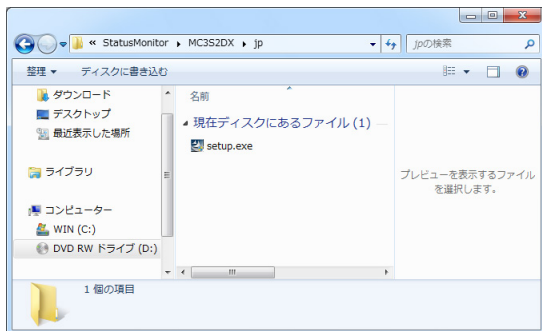
MultiCoder 300S2DX の場合

“D:\¥StatusMonitor¥MC3S2DX¥jp”

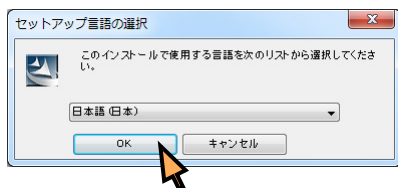
MultiCoder 300S2DC の場合

“D:\¥StatusMonitor¥MC3S2DC¥jp”

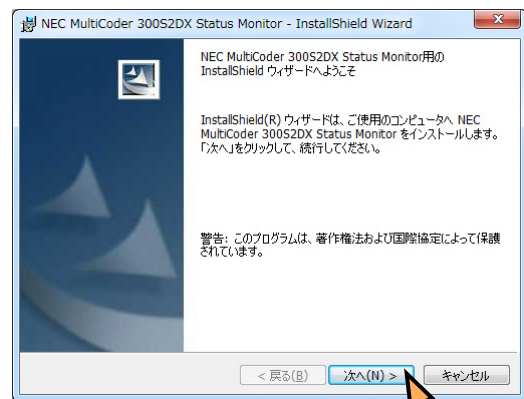
注 1) CD-ROM ドライブが D: の時の入力例です。
ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。



- ③ 「日本語」を選択して、[OK] をクリックしてください。

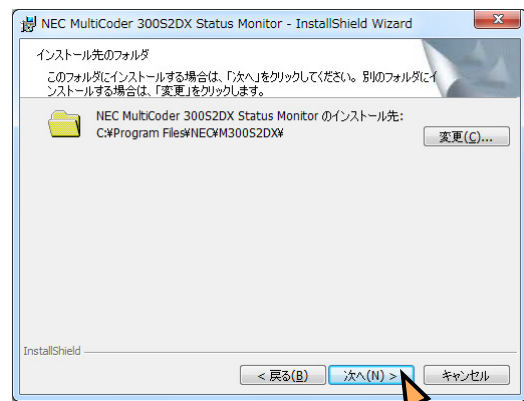


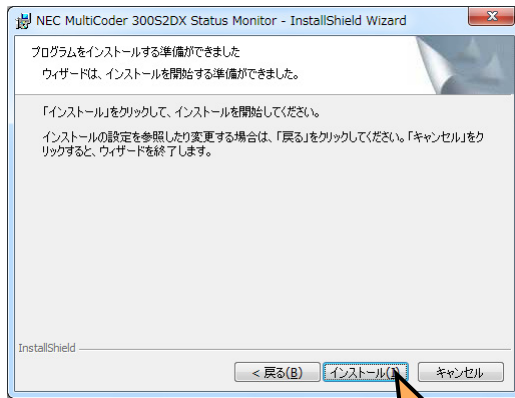
- ④ [次へ] をクリックしてください。



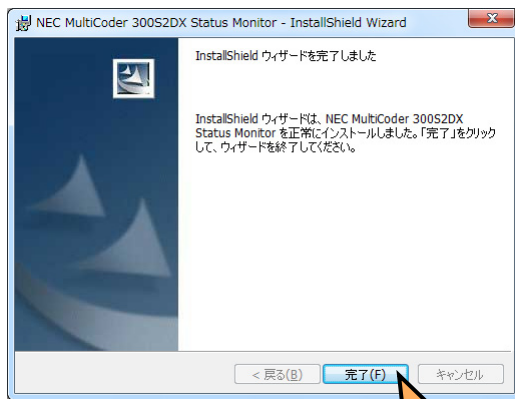
- ⑤ ソフトウェアをインストールするフォルダーをして指定してください。

フォルダーを変更する場合は、[変更] をクリックして、フォルダーを選択します。
フォルダーを指定したら、[次へ] をクリックしてください。



⑥ 【インストール】をクリックしてください。**⑦** 【完了】をクリックしてください。

これでステータスマニターのインストールは終了です。



ステータスマニターの削除(アンインストール)

次の手順で削除（アンインストール）を行ってください。

- ❶ ステータスマニターを終了してください。（タスクトレイ内の監視を終了させてください）

- ❷ 以下の手順で、アンインストール画面を表示させてください。

【Windows 10 の場合】

- ・ [スタートボタン] → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] をクリックしてください。

【Windows 8.1、Windows 8、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012 の場合】

- ・ 画面右側に表示されるメニューバーから、[設定] → [コントロールパネル] とクリックします。
- ・ [コントロールパネル] → [プログラムのアンインストール] をクリックしてください。

【Windows 7、Windows Vista の場合】

- ・ デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタンをクリックします。
- ・ [コントロールパネル] → [プログラムのアンインストール] をクリックしてください。

【Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 の場合】

- ・ [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムと機能] をクリックしてください。

【Windows XP、Windows Server 2003 の場合】

- ・ [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] をクリックしてください。

【Windows 2000 の場合】

- ・ [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [アプリケーションの追加と削除] をクリックしてください。

- ❸ 「NEC MultiCoder 300S2DX-StatusMonitor」を選択して、“アンインストール” または “削除” をクリックしてください。

※ ステータスマニターをアンインストールしても、プリンタードライバーはアンインストールされません。

ステータスマニターの機能

ここでは、ステータスマニターの機能について説明します。

ステータスマニターは、プリンター装置の状態（ステータス）を表示するユーティリティプログラムです。

プログラム起動時は最小化（タスクトレイ内のアイコン表示）されており、印刷中にエラーが発生すると、ポップアップ表示（ウィンドウ表示）されます。

Windows の印刷ジョブがないときは、最小化されているアイコンをポップアップさせたときにプリンターの状態を取得し、表示します。（プリンターの状態が変わっても、ステータスマニターの表示は自動的に更新されません。）

ステータスマニターに関する注意事項

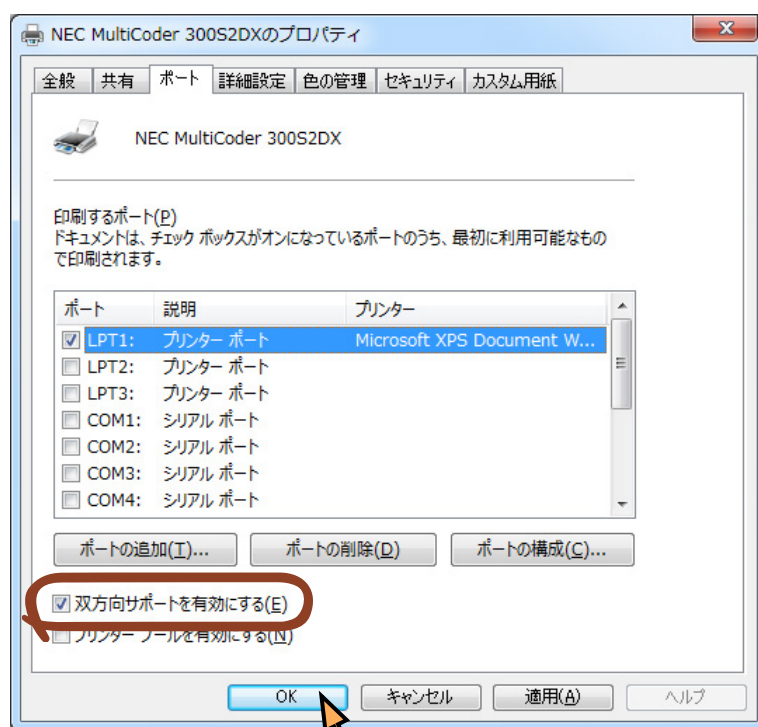
- ステータスマニターを使用するときは、プリンターを「通常使うプリンター」に設定し、プリンタードライバの双方向通信機能を有効に設定してください。
- ステータスマニターは、RS-232C、パラレル、USB インターフェース接続時に使用することができます。LAN インターフェースでは使用できません。
- RS-232C インターフェースを使用の際は、115200bps のボーレートを推奨します。
- ステータスマニターを使用しているときに、プリンターエラーにより印刷をキャンセルするときはステータスマニターの[印刷中止]ボタンをクリックしてください。
- ステータスマニターの[印刷中止]ボタンをクリック、または、アイコンを右クリックして表示されるポップアップメニューから[印刷中止]をクリックして、印刷を中止した場合は、プリンターの電源を再投入してください。この操作を行わないと、その後、正常な動作ができません。印刷不良や通信異常の原因となります。ステータスマニターが起動している状態で、プリンターフォルダーから印刷をキャンセルした場合もプリンターの電源を再投入してください。
- ステータスマニターは、複数台のプリンター接続に対応しておりません。複数台のプリンターを接続し、ステータスマニターを起動した場合は、正常な動作を行うことができません。
- プリンターに、プリンタードライバを経由して制御コマンドを送信するアプリケーションが動作している状態でステータスマニターは使用できません。ステータスマニターが、アプリケーションから送信される制御コマンドにプリンターのステータスを確認するためのコマンドを付加するため、アプリケーションおよびステータスマニターが誤動作します。このような場合は、ステータスマニターを終了させて、アプリケーションを動作させてください。
- プリンターでメニューモードを実行した状態でステータスマニターを使用しないでください。この状態で印刷を行うと、「通信異常」や印刷停止等が発生します。

ステータスマニターの起動

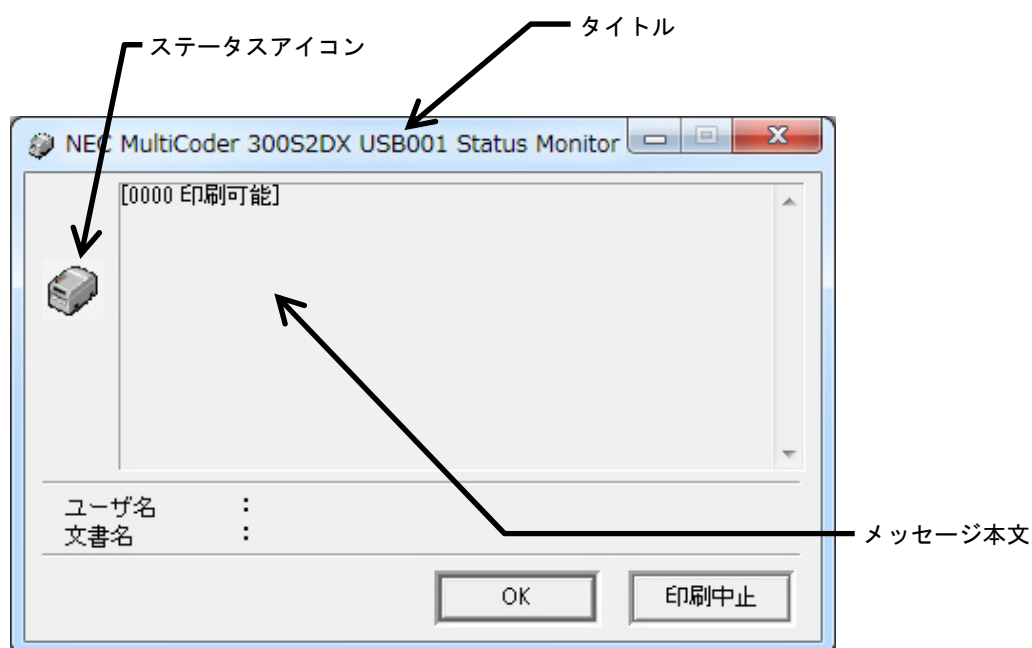
ステータスマニターを利用するには、印刷実行前にあらかじめステータスマニターを起動しておく必要があります。ステータスマニターをインストールすると、Windows の「スタートアップ」に登録され、Windows を起動すると、ステータスマニターは自動的に起動されます。

ステータスマニターを終了した状態で印刷を実行しても、自動的に起動はしません。ステータスマニターを表示させるには、プリンタードライバーで双方向通信機能を有効に設定してください。なお、プリンタードライバーインストール時は、初期値として、双方向通信機能が有効に設定されています。

参考：双方向通信機能を有効にするには、プリンターのプロパティを開き、「ポート」タブの「双方向サポートを有効にする」にチェックを入れて[OK]または、[適用]をクリックしてください。(画面は Windows 7 のプリンターのプロパティです)



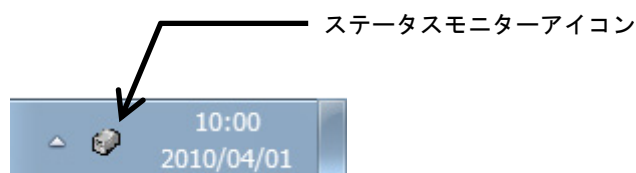
ステータス表示ウィンドウ



表示項目	内 容
タイトル	次の形式で表示されます。 [プリンタードライバー名] [インターフェース名] Status Monitor
メッセージ本文 (注)	次の形式で表示されます。 [ステータス番号 プリンター状態名]
ステータスアイコン	 印刷中、または印刷可能状態を示します。 (エラー無し状態)  印刷中、または印刷可能状態を示します。 (ワーニングメッセージ有り)  エラー発生状態を示します。 (復旧可能なエラー)  エラー発生状態を示します。 (復旧不可能なエラー)  エラー発生状態を示します。 (ハードエラー)
ユーザ名	印刷要求を行ったユーザ名
文書名	印刷中の文書名 (印刷ジョブ名)
OK ボタン	ポップアップウィンドウをタスクトレイ内にアイコンとして格納します。
印刷中止ボタン	ステータス表示中の印刷ジョブの印刷中止を行う場合にクリックします。該当印刷ジョブの印刷中止を行い、ステータス表示ウィンドウを消去します。

注) ステータス番号、プリンター状態名、プリンター状態の説明の一覧については、「ステータスマニター 状態表示一覧表 (91 ページ)」を参照してください。

アイコン表示



表示項目	内 容
ステータスアイコン	アイコンの内容は、前ページに記載のステータスアイコンと同じ表示になります。
ツールチップ表示	マウスポインタをタスクトレイ内のステータス表示アイコンに合わせることで、ツールチップにより動作概要が表示されます。

アイコン表示時のマウス操作

左ボタンダブルクリック

ステータス表示をポップアップします。

右ボタンクリック

ポップアップメニューを表示します。

メニュー内の選択項目は以下の通りです。

- ・ [元のサイズに戻す (R)] : 左ボタンダブルクリックと同じ機能です。
- ・ [印刷中止 (C)] : [印刷中止] ボタンと同じ機能です。
- ・ [ステータス表示の終了 (X)] : ステータスマニターを終了します。

ステータスマニター状態表示一覧表

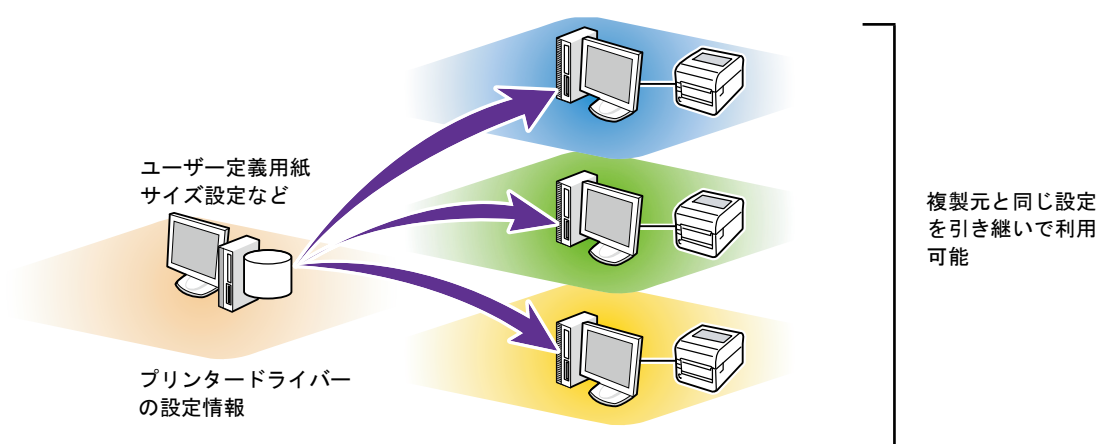
ステータス番号	プリンター状態表示	プリンター状態の説明
0000	印刷可能	印刷が可能な状態です。
0002	印刷中	印刷中です。
0100	情報取得中	ステータス情報の取得中です。
0200 【ワーニング】	オフライン	プリンターがオフラインを返しています。
0202 【ワーニング】	用紙少ない	用紙が残り少なくなっています。
0301 【復旧可能エラー】	カバーオープン	カバーが開いています。
0302 【復旧可能エラー】	用紙無し	用紙がありません。
0303 【復旧可能エラー】	ヘッドホット状態	ヘッドが高温になりました。
0304 【復旧可能エラー】	用紙レイアウトエラー	ラベル間検出または、黒マーク検出でエラーが発生しました。
0500 【復旧不可能エラー】	データエラー	不正なデータを検出しました。
0700 【ハードエラー】	ハードエラー	電圧異常、ROM/RAM エラー、サーマルヘッド未搭載、カット異常のいずれかが発生しました。
1500 【復旧不可能エラー】	通信異常	プリンターからの応答がありません。

4

プリンター ドライバー 一括設定ツール

この章では、ソフトウェア CD-ROM に収録されている「プリンタードライバー一括設定ツール」の使用方法について説明します。

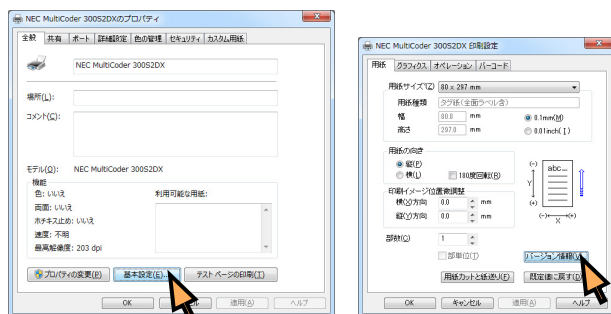
プリンタードライバー一括設定ツールは複数台のコンピューターへプリンタードライバーのインストール、設定内容の保存を一括で行うことのできるツールです。コンピューターの買い替えによる再セットアップや複数台のコンピューターをセットアップする時間を短縮するとともに、同じ設定内容を間違えることなく別のコンピューターへ複製することができ



制限事項・注意事項

プリンタードライバー一括設定ツールの使用上の制限事項や注意事項は次のとおりです。

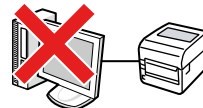
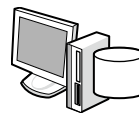
- 異なる OS への情報展開はできません。
また、ドライバーのバージョンが異なる場合も展開することはできません。
バージョンは、プリンターのプロパティの「全般」シートで「基本設定」ボタンをクリックし、印刷設定の画面上で「バージョン情報」ボタンをクリックすることで表示されます。



(例)

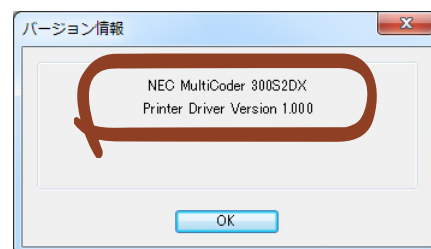
Windows XP

Windows XP 以外



Ver. 1. 2. 3xxx. 4xxx

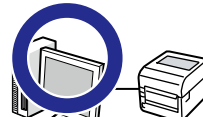
Ver. 9. 8. 7xxx. 6xxx



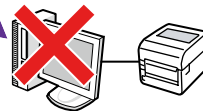
- 現在ログオンしているユーザーの設定に対して情報を展開します。別のユーザーについてはそれぞれログオンし直して、情報展開を行ってください（「プリンター設定取得」も同様です）。
（「標準の設定」（すべてのユーザーの既定のプロパティ）を設定することは可能です。）

(例)

ログオンしているユーザー



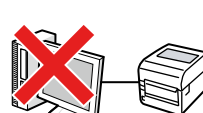
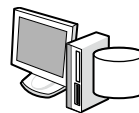
ログオンしていないユーザー



- プリンターのポートの設定は展開されません。別途設定してください。
なお、「プリンター追加」で新規にプリンタードライバーをインストールする場合、ローカルポートの「LPT1」でインストールされます。

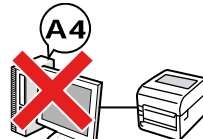
(例)

ポート情報



- 情報の展開を行うと、カスタム用紙情報も上書きされます。

(例)

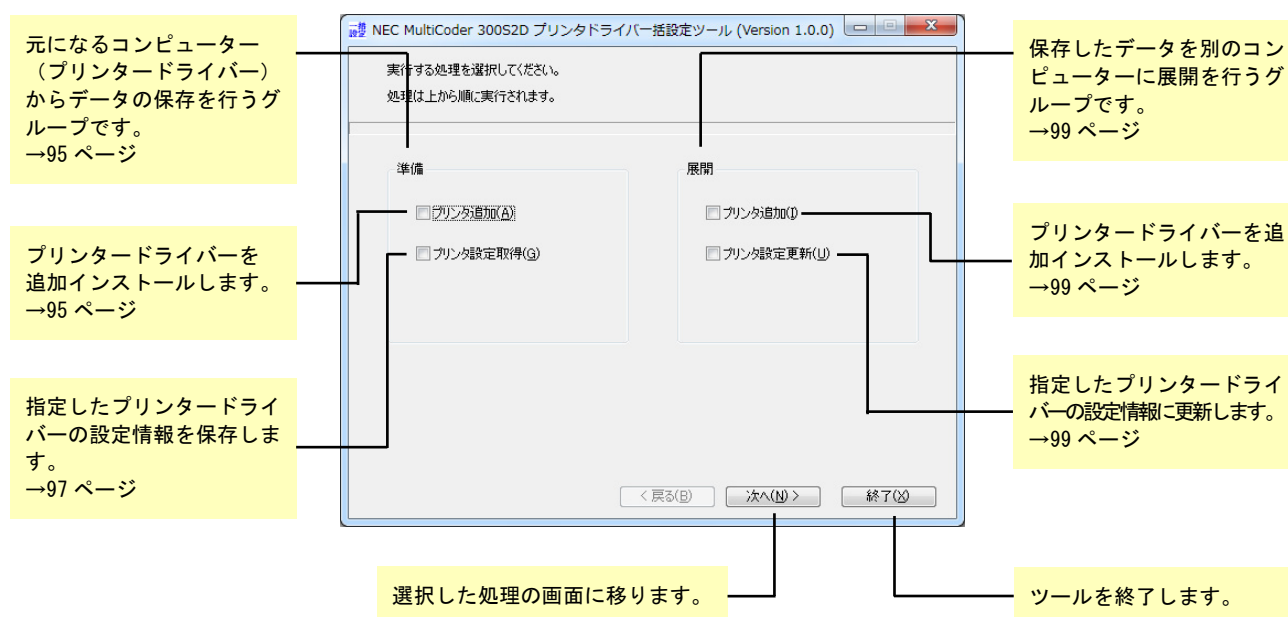


起動方法

- 1 プリンタードライバー一括設定ツールのソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入してください。
- 2 エクスプローラーにて以下のフォルダーを開き
“bssetup300s.exe” を実行してください。
“D:¥DRVSetup”

注 1) CD-ROM ドライブが D: の時の入力例です。
ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

プリンタードライバー一括設定ツールが起動します。



チェック

複数の処理にチェックをつけることができますが、「準備」と「展開」グループ内の処理を同時にチェックすることはできません。

準備

別のコンピュータに情報を展開するため、はじめに元となる設定情報が保存されているコンピュータから情報を取り出して準備をします。

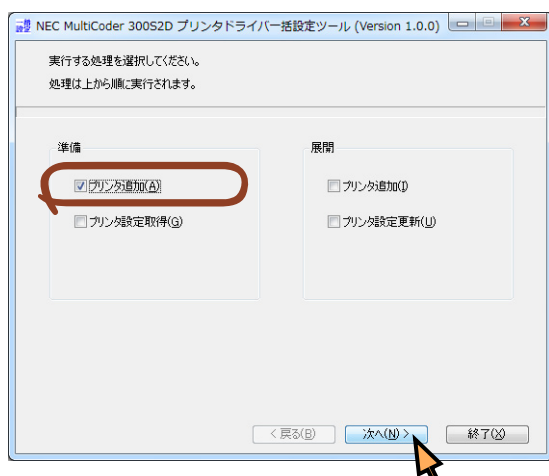
プリンターの追加

Windows のインストーラー（「デバイスとプリンター」フォルダーから行うプリンターの追加ウィザード）に代わってローカルなコンピュータにプリンターを追加します。一度に複数のプリンターをインストールすることができます。

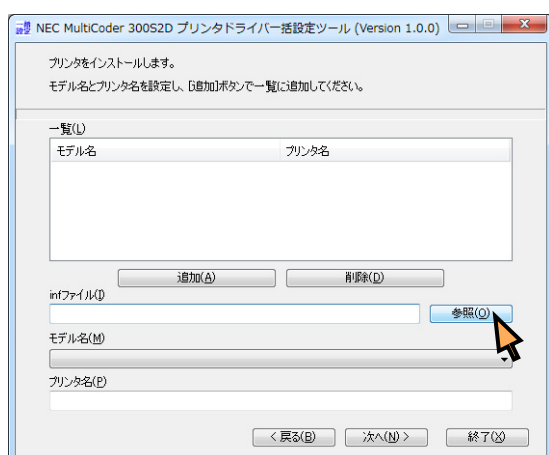
チェック

追加したプリンタードライバーの印刷先ポートは、[LPT1] に固定で設定されます。インストール完了後、必要に応じてポートを変更してください。

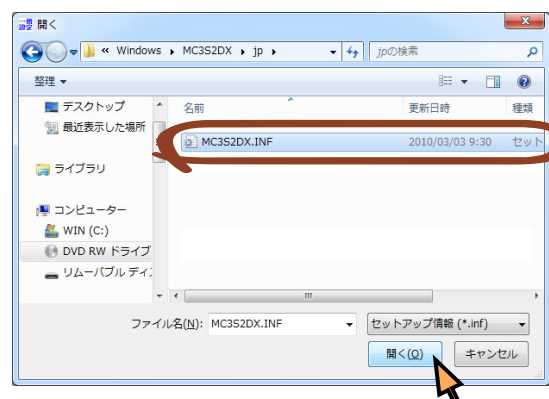
- ① 「準備」の「プリンタ追加」にチェックされていることを確認して「次へ」をクリックします。



- ② 「参照」をクリックします。



- ③ インストールしたいプリンタードライバーのセットアップ情報ファイル(.inf)が保存されている場所を指定し、「MC3S2DX.INF」ファイルを選択して「開く」をクリックします。



MultiCoder 300S2DX の場合

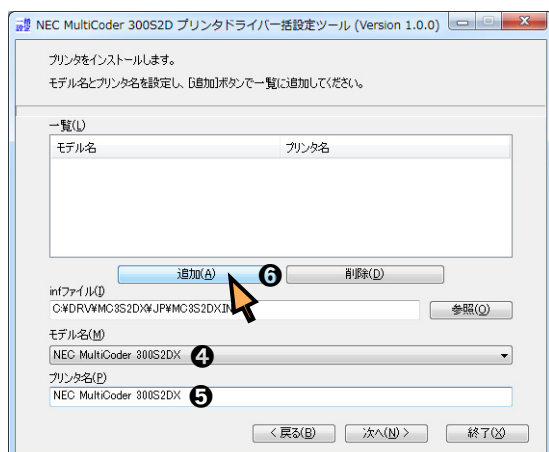
“D:¥DRV¥MC3SDX¥JP”

MultiCoder 300S2DC の場合

“D:¥DRV¥MC3SDC¥JP”

注 1) CD-ROM ドライブが D: の時の入力例です。
ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

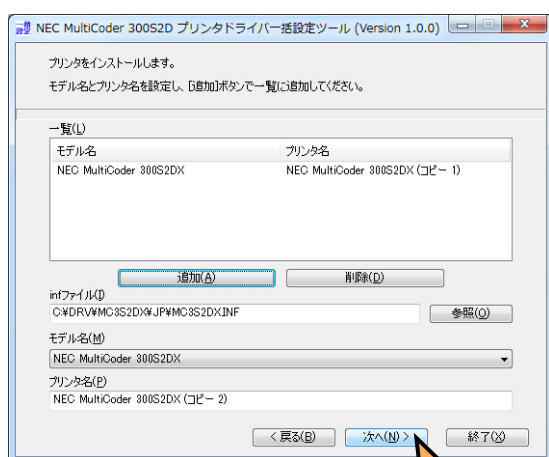
- ④ [モデル名] のプルダウンメニューからインストールしたいプリンタードライバーのモデルを選択します。
- ⑤ プリンター名を変更したい場合は [プリンター名] の入力ボックスに入力します。
- ⑥ [追加] をクリックします。
追加したプリンタードライバーが [一覧] に表示されます。



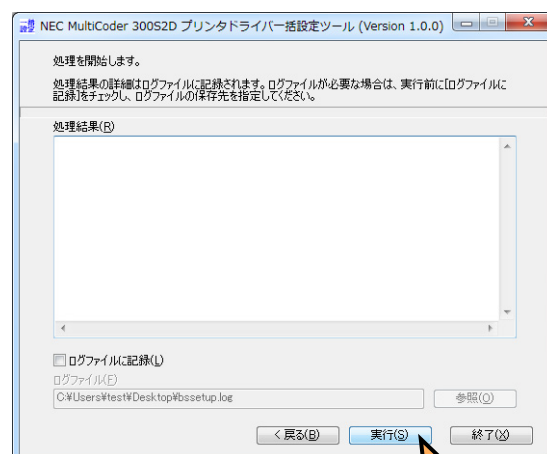
チェック

- 複数のプリンタードライバーをインストールする場合は再度、[参照] をクリックして手順③から繰り返してください。
- 一覧から削除したいプリンタードライバーがある場合は、該当のプリンタードライバーを一覧から選択して [削除] をクリックしてください。

- ⑦ [次へ] をクリックします。
追加したプリンタードライバーが [一覧] に表示されます。



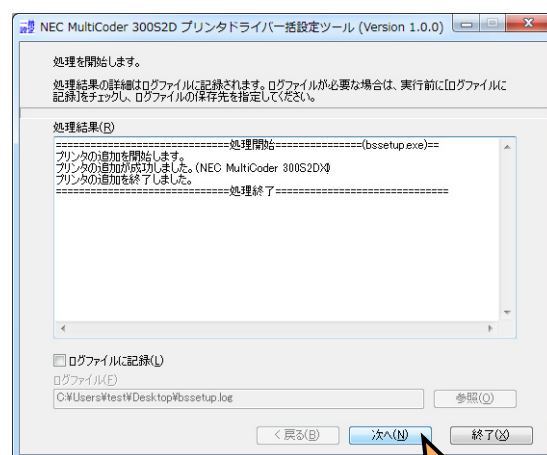
- ⑧ [実行] をクリックします。
プリンタードライバーの追加を実行します。[処理結果] には処理の進捗状況と処理結果が表示されます。



チェック

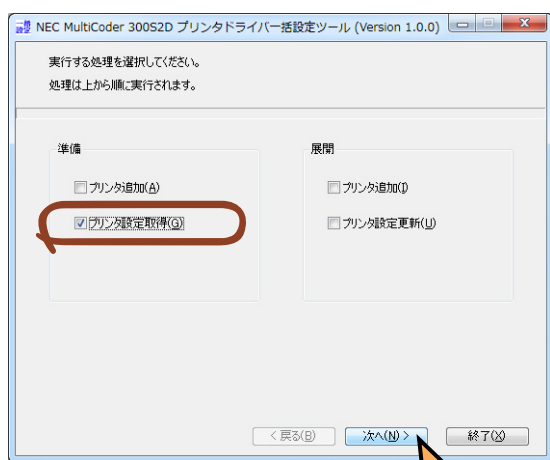
- [ログファイルに記録] にチェックしておくことで処理結果をファイルとして保存することができます。
- [処理結果] に失敗したことを示すメッセージが表示された場合は、「制限事項・注意事項」(93 ページ)に記載の内容を確認してください。

- ⑨ [次へ] をクリックします。
起動時の画面に戻ります。



プリンター設定の取得

- ① [準備] の [プリンタ設定取得] にチェックされていることを確認して [次へ] をクリックします。

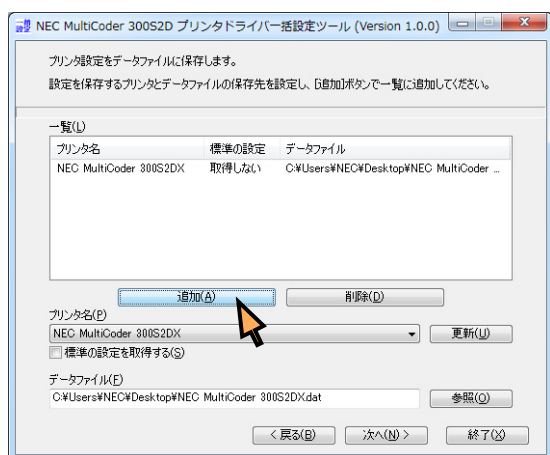


- ② [プリンター名] のリストから情報を取得したいプリンタードライバーのモデル名を選択します。

- ③ [追加] をクリックします。

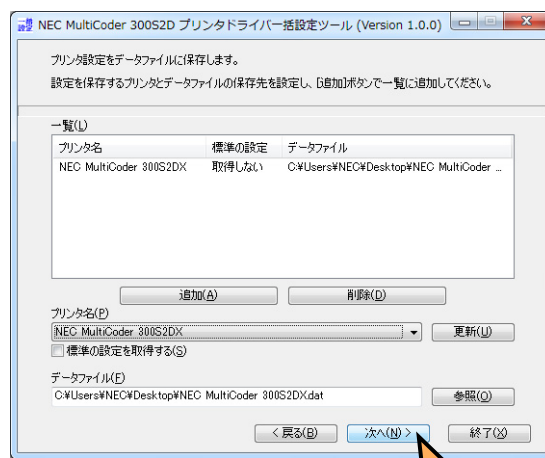
選択したプリンタードライバーが [一覧] に表示されます。

[標準の設定を取得する] にチェックをつけると、プリンタードライバーの「標準の設定」も取得します。



- 「標準の設定」とは、すべてのユーザーの規定のプロパティです。プリンターを共有している場合は、この設定がほかのユーザーの規定のプロパティになります。
- 複数のプリンタードライバーから取得する場合は再度、[プリンター名] のリストから選択して [追加] をクリックしてください。
- 一覧から削除したいプリンタードライバーがある場合は、該当のプリンタードライバーを一覧から選択して [削除] をクリックしてください。

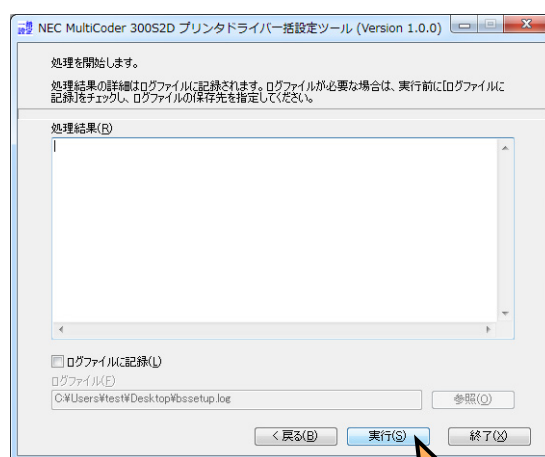
- ④ [次へ] をクリックします。



保存するファイル名と保存先は [参照] をクリックして変更することができます。

- ⑤ [実行] をクリックします。

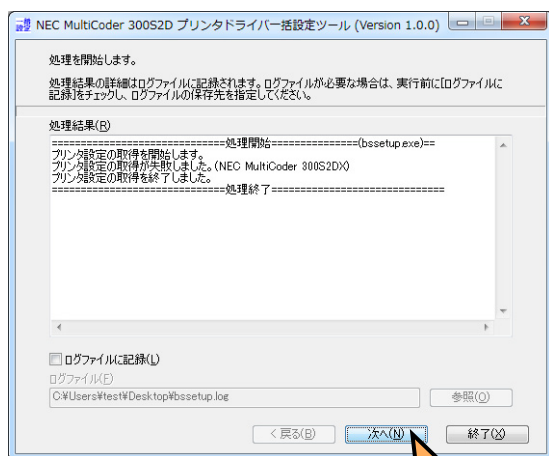
プリンター設定の取得を実行します。[処理結果] には処理の進捗状況と処理結果が表示されます。



- [ログファイルに記録] にチェックしておくことで処理結果をファイルとして保存することができます。
- [処理結果] に失敗したことを示すメッセージが表示された場合は、「制限事項・注意事項」(93 ページ) に記載の内容を確認してください。

⑥ 【次へ】をクリックします。

起動時の画面に戻ります。



展開

「準備」(95 ページ) で取得した情報を別のコンピューターへ展開します。

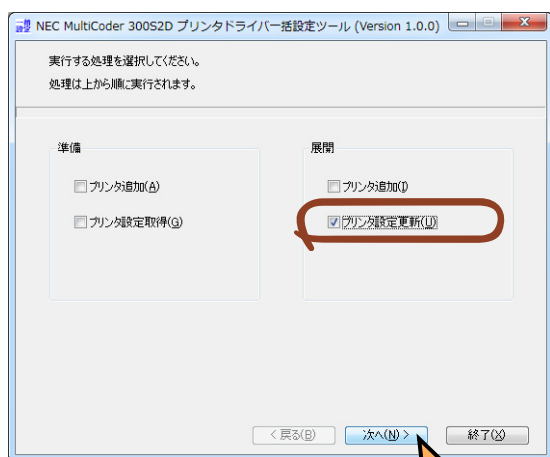
プリンターの追加

操作方法是準備の「プリンターの追加」(95 ページ) と同じです。

起動時の画面で [プリンター追加] と [プリンター設定更新] の両方にチェックをつけた場合、プリンターの追加と設定を一度に行うことが可能です。

プリンター設定の更新

- ① [展開] の [プリンタ設定更新] にチェックされていることを確認して [次へ] をクリックします。



- ② [参照] をクリックして、「プリンター設定の取得」(97 ページ) で保存したファイルを指定します。

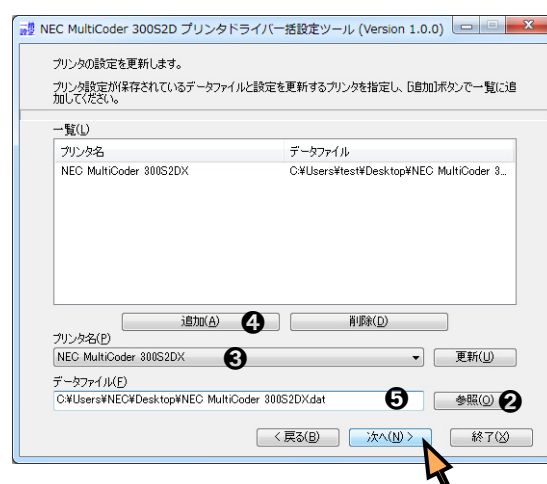
[データファイル] の入力ボックスにファイルをドラッグ・アンド・ドロップで指定することもできます。

- ③ [プリンター名] のリストから情報を取得したいプリンタードライバーのモデル名を選択します。

- ④ [追加] をクリックします。

選択したプリンタードライバーが [一覧] に表示されます。

- ⑤ [次へ] をクリックします。

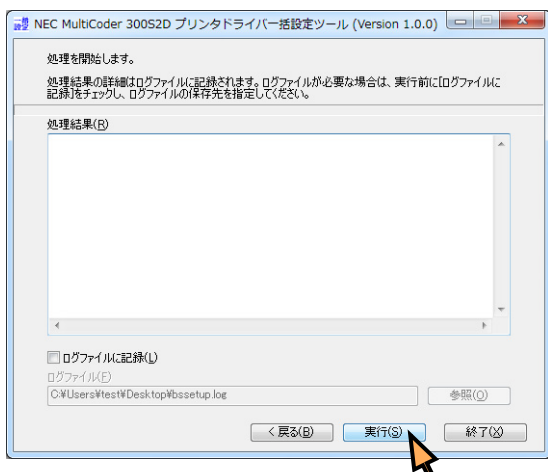


チェック

- 複数のプリンター設定を更新する場合は、該当するファイルを [データファイル] で指定して [プリンター名] のリストから選び、[追加] をクリックしてください。
- 一覧から削除したいプリンタードライバーがある場合は、該当のプリンタードライバーを一覧から選択して [削除] をクリックしてください。

⑥ [実行] をクリックします。

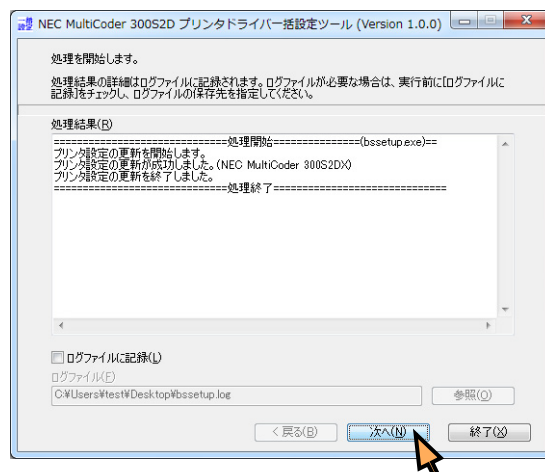
プリンター設定の更新を実行します。[処理結果] には処理の進捗状況と処理結果が表示されます。

**✓ チェック**

- 「ログファイルに記録」にチェックしておくことで処理結果をファイルとして保存することができます。
- 「処理結果」に失敗したことを示すメッセージが表示された場合は、「制限事項・注意事項」（93 ページ）に記載の内容を確認してください。

⑦ [次へ] をクリックします。

起動時の画面に戻ります。

**✓ チェック**

印刷先のポートの設定は取り込めません。別途ポートの追加または印刷先の変更を行ってください。

索引

D

DataMatrix Code 57

L

LAN インターフェース 30

M

MaxiCode 58

P

PDF417 Code 55

Q

QR コード 54

R

RS-232C インターフェース 32

U

USB インターフェース 29

ア

アンインストール
 プリンタードライバ 16
 Windows 2000 23
 Windows 7、Windows Server 2008 R2 18
 Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、
 Windows Server 2012 R2、
 Windows Server 2012 16
 Windows Vista、Windows Server 2008 20
 Windows XP、Windows Server 2003 22
 リモートパネル 64
 ステータスモニター 86

イ

[色の管理]シート 27
 印刷先の変更 28
 [印刷設定]ダイアログボックス 37
 印刷の詳細設定 37
 印刷の手順 24
 インストール
 プリンタードライバ 2, 4
 Windows 2000 14
 Windows 7、Windows Server 2008 R2 8
 Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、
 Windows Server 2012 R2、
 Windows Server 2012 6
 Windows Vista、Windows Server 2008 10
 Windows XP、Windows Server 2003 12
 リモートパネル 62
 ステータスモニター 84
 インストール／アンインストール前の注意事項 x

オ

[オペレーション]シート 47

カ

[カスタム用紙]シート 27
 [カスタムバリュー]シート 74
 カット位置補正 79

キ

[共有]シート 26

ク

[グラフィクス]シート 45

シ

[詳細設定]シート 26

ス

ステータスモニター 83
 印刷中止ボタン 89
 ステータスアイコン 89
 タイトル 89
 ～に関する注意事項 87
 ～のアンインストール 86
 ～のインストール 84

～の起動	88
文書名	89
ユーザ名	89

セ

[セキュリティ]シート	27
[全般]シート	26

ソ

ソフトウェアマニュアルの使い方	iv
-----------------	----

テ

手切り位置補正	79
---------	----

ト

動作環境	vi
------	----

ハ

バーコード	50, 60
[バーコード]シート	50
はじめに	iii
パラレルインターフェース	31

フ

プリンタードライバー	1
BM 長	35
HRI 文字	52
LAN インターフェース	30
RS-232C インターフェース	32
USB インターフェース	29
180 度回転	40
2 カラー時の黒濃度	46
新しい用紙を作成する	34
誤り訂正	55
誤り訂正レベル	54
印刷位置調整	40
印刷開始	48
印刷開始時	42
印刷終了	48
印刷終了時	43
印刷速度	46
印刷濃度	46
回転	53, 54, 56, 57, 58
カット位置	35
紙送り	42, 43
カラー	45

規定値に戻す	41
国コード	58
桁数	55
コード種類	51
コード種類別設定	51
サービスコード	58
出力サイズ	38
上端印刷位置	44
シンプルシンボル	55
正方形のサイズ	57
セルサイズ	54, 57
タイプ	57
高さ	55
単位	35
段数	55
置換元フォント	52, 54, 55, 57, 58
長方形のサイズ	57
ドロワー#1	47
ドロワー#2	47
ドロワーキック	47
ナローバーの幅	52
～の注意事項	59
バーコードの最大幅	53
バーコードの高さ	52
バージョン情報	41
ハーフトーン	45
白紙ページスキップ	44
幅	55
パルス時間	47
ブザー	48
部数	40
部単位	40
プリンターに送信	34, 38
ページ間	43
ページ先頭	48
ヘルプ	44
鳴動時間	48
モード	58
モデル番号	54
郵便コード	58
用紙	34
用紙カット	42, 43
用紙カットと紙送り	40
用紙サイズ	38
用紙種類	35
用紙節約	39
用紙高さ	35
用紙の保存	34
用紙の向き	39
用紙幅	35
用紙名	34
余白	35, 44
ラベル間	35
ラベル幅	35
ロゴの位置	49
ロゴプリント	48
プリンタードライバー一括設定ツール	92
プリンターフォルダーを表示するには	vii

ホ

[ポート]シート	26
ボタンの説明	69

マ

マニュアルの構成	iii
----------	-----

メ

メニューの説明	67
[メモリスイッチ]シート	72

ユ

ユーザーアカウント制御	vii
ユーザー定義用紙	34

ヨ

[用紙カットと紙送り]ダイアログボックス	42
[用紙]シート	38

リ

リモートパネル	61
2 色時の黒濃度	74
ACK パルス幅	76
BM 長	70
BUSY 条件	72
DSR (#6) リセット信号	72
INIT (#25) リセット信号	72
INIT (#31) リセット信号	72
PNE 検出	76
頭出し後のカット	73
印刷色	74
印刷速度	75
印刷濃度	74
印刷 MODE (COM IF)	76
印刷 MODE (OTHER IF)	76
エラー復帰	76
カット位置	70
カット位置補正	71, 79
カバーオープン	72
グラフィックメモリ	74
自動改行	72
受信エラー処理	72
受信バッファ	72
シリアル番号	76
センサ自動調整	73
操作説明	78
単位	71
低消費電力	75
手切り位置補正	71, 79
電源 ON 通知	72
電源投入後の頭出し	73
～のアンインストール	64

～の起動	65
フォーマット	75
フォント B	76
ブザー	76
プロセス ID	76
プロトコル	75
ポーレート	75
ユーザ NV メモリ	74
用紙種類	70
用紙高さ	70
用紙幅	70, 74
用紙レイアウトエラー復帰	73
ラベル間	70
ラベル幅	70
[レイアウト確定]ボタン	71
ロゴ登録	77

ロ

ロゴ登録画面の説明	77
ロゴの登録方法	81

